

鳥羽水族館年報

ANNUAL REPORT OF TOBA AQUARIUM

No.13

April 2017

鳥羽水族館
TOBA AQUARIUM

目 次 CONTENTS

1. 組織の概要	1
2. 館内地図	2
3. 入館者数	3
4. 主な出来事	4
5. 報道発表	8
6. イベント・企画展	12
7. 番組制作	15
8. 社会教育活動	17
9. 飼育動物一覧表	28
10. 研究報告	42
鳥羽水族館所蔵寺町コレクションに含まれる貝類模式標本 Type specimens of mollusks included in Toba Aquarium's Teramachi collection 磯和 誠	42
水族館の展示水槽で発見された <i>Lipkea</i> sp. (刺胞動物門, 十文字クラゲ綱) <i>Lipkea</i> sp.(Cnidaria,Stauromedusae), Confirmed in the Exhibition tank at Toba Aquarium 森滝丈也	46
コープネコゴエガエル <i>Physalaemus biligonigerus</i> の繁殖について On the breeding of the Weeping Frog <i>Physalaemus biligonigerus</i> in captivity at Toba Aquarium 三谷伸也・宮本真美	48
バイカルアザラシの餌付けについて On the feeding to Baikal seals <i>Pusa sibirica</i> newly transported to Toba Aquarium 長谷川一宏・川口直樹・北 美香・山本いず保・石原良浩	52
鳥羽水族館周辺における鯨類の記録 (2016年) Records of cetaceans in the surrounding sea of Toba Aquarium in 2016 若林郁夫	56
熊野灘で漁獲されたネズミザメ A record of the Salmon shark, <i>Lamna ditropis</i> from Kumano Sea 高村直人	60
11. 研究発表一覧	62
12. 研究発表要旨	63
13. 取水海水温	73

1. 組織の概要

2016.12.31現在

名 称 株式会社 鳥羽水族館

所 在 地 三重県鳥羽市鳥羽3-3-6

常勤役員数 123名

常 勤 役 員 代表取締役社長兼館長 浅井 宣雄
 取締役副館長 若井 嘉人
 取締役飼育研究部長 三谷 伸也
 取締役統括営業部長 谷口 憲也
 取締役飼育研究部主任 中村 文哉

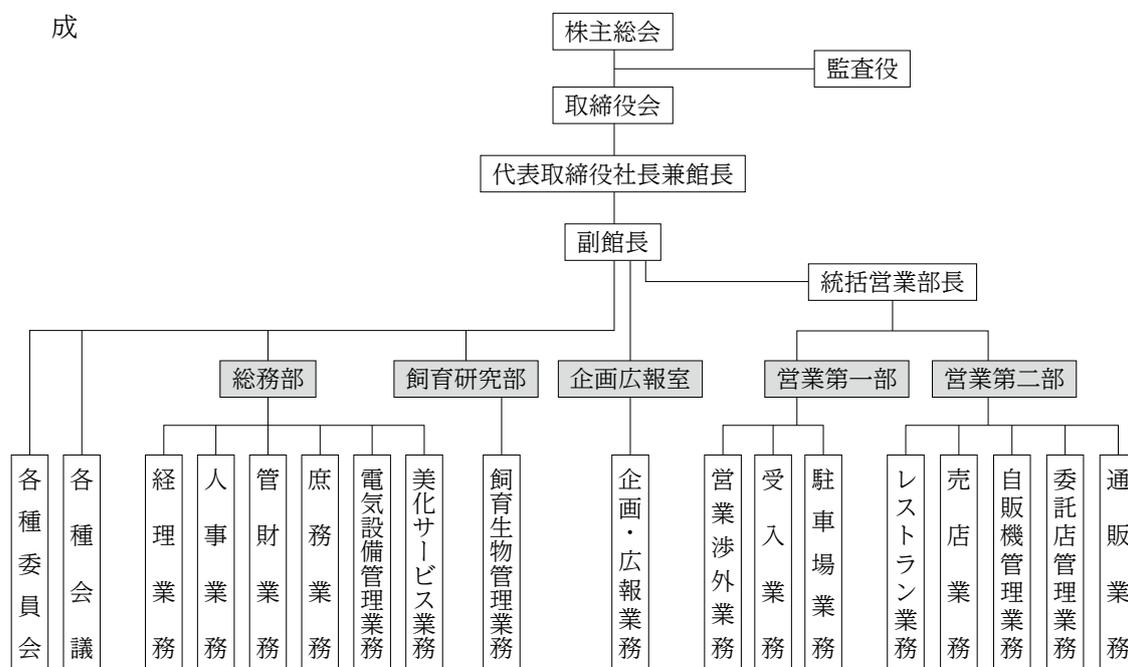
非 常 勤 役 員 取締役 小柴 眞治
 監査役 中村 正人

相 談 役 中村 昇

名 誉 館 長 中村 幸昭

学 芸 員 14名

構 成



入 館 料 金 大人2,500円 小人1,250円 幼児630円

2. 館内地図



- 売店
- AED 設置場所
- トイレ
- エスカレーター
- 喫煙所(館外)
- 飲食店
- エレベーター
- 車椅子対応トイレ
- ベビールーム
- コインロッカー

A **パフォーマンス スタジアム**
Performance Stadium 2F~3F
動物と人間のコミュニケーションをテーマにしたアシカたちのゆかいなショーをお楽しみください。

D **コーラルリーフ ダイビング**
Coral Reef Diving 2F
巨大な水槽を泳ぐ美しい魚たち。サンゴ礁の海をダイビングする気分が味わえます。

G **奇跡の森**
Woods of Miracles 3F
神秘的な滝の裏をくぐり、吊り橋を渡って珍しい生きものたちが見られるゾーンです。

J **日本の川**
Japanese River 3F
滝や急流など美しい日本の川の水辺環境を再現しています。

B **海獣の王国**
Marine Mammal Kingdom 1F~3F
自然の海岸を再現。1階ではアシカやアザラシたちのダイナミックな泳ぎを見ることができます。

E **伊勢志摩の海 日本の海**
Sea of Ise-Shima and around Japan 2F
伊勢湾と熊野灘を中心に日本の海の生きものたちを紹介します。

H **人魚の海**
Mermaid Sea 2F
人魚伝説のモデルともいわれるジュゴン。日本で見ることは鳥羽水族館だけです。

K **へんな生きもの 研究所**
Curious Creatures Laboratory 2F
深海に棲むダイオウグモクムシなど、見たことのないへんな生きものたちが大集合した研究所です。

C **古代の海**
Ancient Sea 2F
[生きてる化石]オウムガイやカブトガニたちが、太古の地球へと誘います。

F **ジャングル ワールド**
Jungle World 2F
熱帯雨林の大河に棲む魚や巨大なアフリカマナー、人気のカピバラたちはここで会えます。

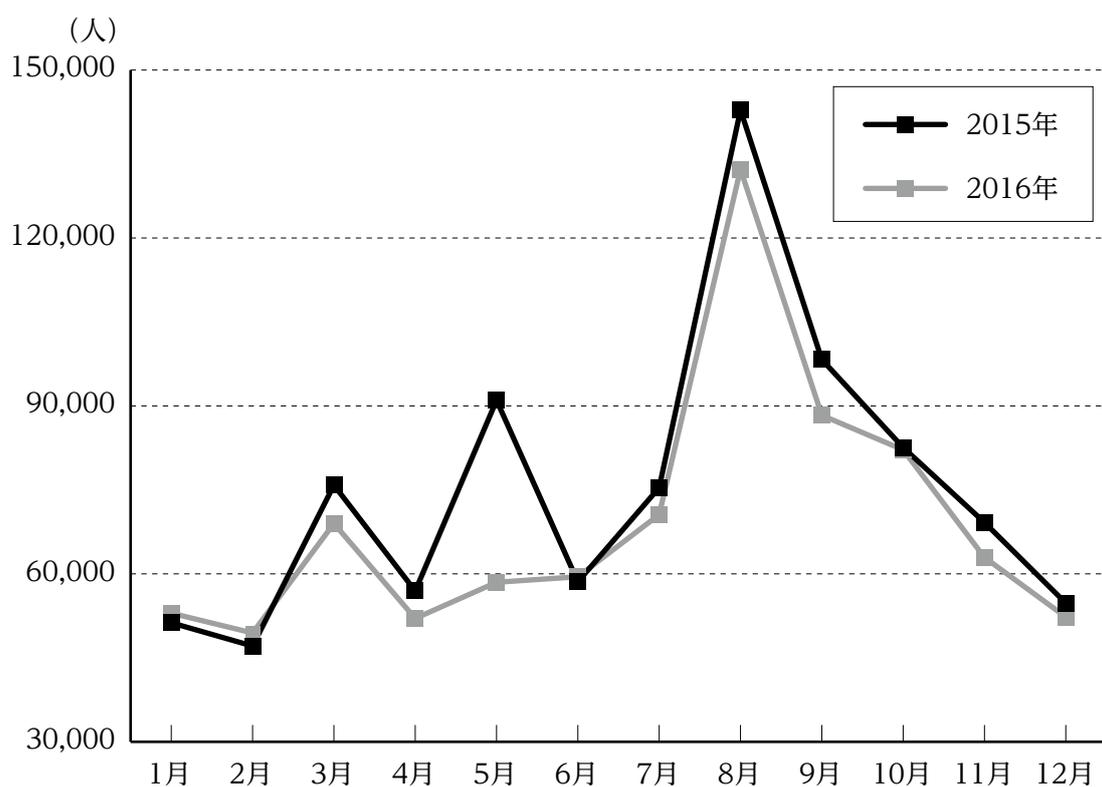
I **極地の海**
Polar Sea 2F
ラッコやイロワケイルカなど極寒の世界に生きる動物たちのたくましさをご覧ください。

L **水の回廊**
Aqua Promenade 2F
ペンギンやカワウソ、セイウチなどユモアあふれる生きものをとても間近でご覧になれます。

3. 入館者数

(人)

	2015年	2016年
1月	51,260	52,978
2月	47,107	49,439
3月	75,856	69,002
4月	56,947	52,036
5月	91,009	58,495
6月	58,587	59,475
7月	75,408	70,592
8月	142,866	132,263
9月	98,288	88,326
10月	82,567	82,150
11月	69,181	62,937
12月	54,777	52,295
年間入館者数	903,853	829,988



4. 主な出来事

【2015年】

日 時	内 容
12月27日～1月4日	お正月イベント「あけまして 60周年」
1月1日～1月3日	ラッコに氷の鏡餅をプレゼント
1月8日	ゴマファザラシ「もなか」 豊橋総合動植物園へ搬出
1月10日	セイウチショーで「110番の日」をPR
1月26日	ミズウオ入館
2月6日	ラッコの本販売開始
3月3日	ひなまつり ラッコにひし氷をプレゼント
3月17日	「奇跡の森」プレス内覧会
3月20日	オウムガイの赤ちゃん誕生
3月21日	「奇跡の森」オープニングセレモニー
3月21日	アシカショー リニューアル（60周年記念アニバーサリーショー）
3月28日	開館60周年記念 【第1回】特別“年パス”イベント
3月31日	水中入社式2015
4月1日	入館料金変更 大人2,400円 小人1,200円 幼児600円 → 大人2,500円 小人1,250円 幼児630円
4月2日	累計入館者数6000万人達成
4月17日	スナメリの「勇気」 30回目の誕生日
4月19日～4月26日	スナドリネコの愛称募集
4月25日～5月10日	GWイベント「生きもの“のぼり”」
4月25日～5月10日	GWイベント「水の中のヨロイとカブト」
4月25日	オウムガイの赤ちゃん誕生
5月2日	水槽内でリプケア発見
5月2日	モモイロペリカン「ワカ」死亡
5月3日	鳥羽水族館のLINEスタンプ販売開始
5月9日	ラッコ「メイ」 11歳の誕生日
5月15日	チェロ奏者 溝口 肇 氏による開館60周年記念コンサート
5月20日	ゴマファザラシ「セサミ」死亡
5月22日	税関が鳥羽水族館でPR活動
5月22日	ミナミアフリカオットセイに赤ちゃん誕生
6月8日	ミナミアフリカオットセイの赤ちゃん 一般公開開始
6月18日	青いアマガエル入館
6月20日	青いアマガエル展示開始
6月21日	トリップアドバイザーでエクセレンス認証の受賞と殿堂入り
7月1日	アメリカビーバー「ノンノン」 神戸どうぶつ王国へ搬出
7月5日	「へんな生きものたち」の本の販売開始
7月18日～8月31日	夏イベント「トバスイ体験クエスト」
7月22日～8月5日	ミナミアフリカオットセイの赤ちゃん 愛称募集
7月26日	カピバラ列車運行

日 時	内 容
7月31日	浅野四郎氏作の木彫スナドリネコ設置除幕式
8月1日	開館60周年記念 【第2回】特別“年パス”イベント
8月1日～11月20日	「伊勢鳥羽志摩で拾った貝」展
8月2日～8月8日	開館60周年記念 限定スペシャルナイト
8月8日	新人トレーナー（室）がショーデビュー
8月9日	イロワケイルカ「ステラ」に赤ちゃん誕生
8月9日	イロワケイルカ「リキ」死亡
8月12日	コシグロペリカン「ミィ」死亡
9月5日～9月30日	ぼのぼの展
9月12日	カピバラ列車運行
9月12日～11月3日	秋イベント「生きものたちのアートな世界」
9月24日	フンボルトペンギン「ニペル」死亡
10月1日	オリジナルカレンダー2016 販売開始
10月2日	「もっと水の惑星紀行」がケーブルフェスタ2015でグランプリ獲得
10月3日	開館60周年記念 【第3回】特別“年パス”イベント
10月5日～10月24日	オレンジ色のオニオコゼを展示
10月6日	新米飼育係が稲刈り
10月7日	バイカルアザラシ「ペチャ」死亡
10月10日	鳥羽警察がセイウチショーで「全国地域安全運動」をPR
10月28日	フンボルトペンギン「日向」死亡
11月1日	アフリカマナティー「みらい」の体重測定
11月9日～11月23日	イロワケイルカの赤ちゃん 愛称募集
11月10日	オオベソオウムガイに赤ちゃん誕生
11月21日～12月25日	クリスマスイベント「ビリビリツリーとイルミネーション」
12月1日～6月30日	【特別展示】主要国首脳「貝」議 『SHELL7』
12月5日	開館60周年記念 【第4回】特別“年パス”イベント
12月15日～12月20日	黄金のヒラメ入館・展示
12月16日～12月17日	年末大掃除（16日：海獣の王国水槽、17日：ペンギン水槽）
12月22日	「Welcome Ise-Shima Summit」横断幕を設置
12月30日～1月7日	お正月イベント「おせちになっちゃう生きものたち」

【2016年】

日 時	内 容
12月30日～1月7日	お正月イベント「おせちになっちゃう生きものたち」
1月6日	オレンジ色のオニオコゼを搬入（展示開始1/7）
1月11日	ピパが産卵
2月7日	「お寿司ナマコ」入館
2月12日	ダイオウグソクムシ No 5 脱皮に成功
2月16日	お寿司のようなマナマコ入館
2月23日	ハイロアザラシ「サンゴ」死亡
3月2日	ラッコ「ロイズ」をサンシャイン水族館より搬入
3月3日	ラッコ「ロイズ」一般公開開始
3月12日	カピバラ列車運行
3月13日	ラッコの「メイ」と「ロイズ」の同居開始
3月14日	ゴマフアザラシ「きなこ」 アドベンチャーワールドへ搬出
3月19日～4月3日	春イベント「水族館のイヌ・ネコ展」
3月21日	『奇跡の森』一周年記念 ミラクルツアー開催
3月22日	ネズミザメ斃死個体搬入⇒標本へ
3月27日	モモイロペリカン「モモ」死亡
3月31日	水中入社式2016
4月1日	セイウチ「ツララ」をおたる水族館より搬入
4月11日	T B A イヌネコ総選挙 結果発表
4月11日～4月20日	ノコギリザメを展示
4月16日	ラッコ「ロイズ」が旗を持ってサミットPRを開始
4月19日	「飼育（419）の日」スナメリとラッコの飼育係トーク
4月21日	新水槽「セイウチ・アシカ類の繁殖・親子水槽」完成及び除幕式
4月21日	フリソデウオ搬入
4月23日	鳥羽水族館で「フチ子のガチャ（完全オリジナル）」を発売開始
4月23日～5月8日	GWイベント「おさない！ 伊勢志摩の海展」
4月25日	新入社員による田植え
4月28日	カリフォルニアアシカ「リップ」海遊館より搬入
4月29日	4/21生まれのフトアゴヒゲトカゲの赤ちゃんの展示開始（4/27・4/29・4/30にも誕生）
5月2日	珍しいウニ（ミクロピガ属）が入館
5月4日	ラッコ「ロイズ」11歳の誕生日にロブスターケーキでお祝い
5月9日	ラッコ「メイ」12歳の誕生日にイセエビケーキでお祝い
5月14日～6月30日	サミット開催記念イベント「SEA7 おさかなサミット」
5月15日	ミュージアムショップ閉店&通信販売による多数の商品の販売終了
5月17日	バイカルアザラシ「ナターシャ」入館35周年
5月19日	多言語アプリ運営開始
6月6日	イロワケイルカ「スカイ」を横浜・八景島シーパラダイスへ搬出

日 時	内 容
6月8日	白いオタマジャクシ（トノサマガエル）4個体入館
6月11日～	アフリカマナティー 入館20周年イベント
6月12日	アフリカマナティー 入館20周年 特別バックヤードツアー
6月13日	白いオタマジャクシ（トノサマガエル）の一般公開開始
6月26日	セイウチ「ポウ」「クウ」に赤ちゃん誕生
6月27日	ゴマフアザラシ「大福」 伊勢シーパラダイスへ搬出
7月1日	6/26に生まれたセイウチの赤ちゃん死亡
7月3日	白いオタマジャクシ（トノサマガエル）を再び展示開始（採集は7/2）
7月16日	ミュージアムショップ跡に標本展示室オープン
7月16日～8月31日	夏イベント「魚魚（とと）リンピック2016」
7月27日	カリフォルニアアシカ「リップ」に赤ちゃん誕生
7月27日～9月25日	白いトノサマガエルを展示
8月5日	イロワケイルカ「ララ」に赤ちゃん誕生
8月14日	ミナミアフリカオットセイ「オット」死亡
8月24日	新人トレーナー（夏井・真鍋）ショーデビュー
9月10日	オリジナルカレンダー2017 販売開始
9月12日	コシベニペリカン「ベニレッド」死亡
9月12日～9月26日	イロワケイルカの赤ちゃん 愛称募集
9月14日～9月15日	ダイオウグソクムシ No13 脱皮（10/1 斃死）
9月15日	スナメリ「華輪」死亡
9月17日～10月31日	秋イベント「ファンタジックハロウィン」
9月21日	鳥羽警察署がアシカショーで秋の全国交通安全運動キャンペーンをPR
10月7日～10月10日	ニコニコ生放送 70時間中継 -ダイオウグソクムシ-
10月20日	新米飼育係による稲刈り
10月20日	オオベソオウムガイ4個体搬入 ニューカレドニアラグーン水族館より
11月1日	計量記念日にアフリカマナティー「みらい」の身体測定
11月4日～11月5日	伊勢税務署がセイウチショーで「税を考える週間」をPR
11月21日	イタチザメを搬入（11/26斃死）
11月26日～12月25日	クリスマスイベント「電撃ビリビリクリスマス2016」
12月7日～	鳥インフルエンザ予防のためペンギン散歩・猛禽のふれあいを中止
12月24日	カリフォルニアアシカ「リオ」をとべ動物園に搬出
12月25日	アメリカビーバー「ブル」死亡
12月26日	新種「トリカジカエラモグリ」の標本展示開始
12月26日～12月27日	年末の水槽大掃除（26日：海獣の王国水槽、27日：ペンギン水槽）
12月30日～1月9日	お正月イベント「にこにこ福笑い展」

5. 報道発表

【2015年】

発表日時	発表タイトル
2月7日	《全編 鳥羽水族館で撮影》 写真絵本 販売開始!! 「飼育員さんおしえて! ラッコのひみつ」
3月10日	新ゾーン『奇跡の森』OPEN前 プレス内覧会のご案内
3月19日	「奇跡の森」誕生! オープニングセレモニーのお知らせ
3月25日	《今年も2名が潜ります》 大水槽で水中入社式
4月1日	明日4月2日(木) 累計入館者数6000万人達成見込み!
4月8日	開館60周年記念コンサート 観覧者募集
4月16日	《4月19日は飼育の日》 スナドリネコ 愛称募集
4月23日	《端午の節句》 空をまう 水族館の生きもの“のぼり”
4月23日	《GWイベント》 「水の中のヨロイとカブト」開催!!
4月27日	オウムガイの赤ちゃんが誕生しました。
4月30日	スナドリネコ愛称決定!
5月13日	《おかげさまで60周年》 5月15日 開館60年目の創立記念日
5月23日	ミナミアフリカオットセイに赤ちゃん誕生!
6月5日	ミナミアフリカオットセイの赤ちゃん 6月8日(月)から 一般公開スタート
6月5日	水槽の中で珍しいクラゲを発見 飼育継続中
6月19日	《さわやかブルー 団体入館》 青いアマガエル まもなく展示へ
7月5日	鳥羽水族館の「へんな生きものたち」を集めた本が完成 《~本日7月5日より発売開始!~》
7月10日	《世界飼育最長記録を更新中!》 水族館生まれのオウムガイが飼育7年目に
7月15日	夏イベント「トバスイ体験クエスト」18日(土)より
7月22日	《7月22日で生後2カ月になりました》 オットセイの赤ちゃん 愛称募集
7月27日	《開館60周年記念イベント》 「限定スペシャルナイト」を行います
7月30日	《水族館にネコ増える…》 スナドリネコがもう一頭 お目見え?! (浅野四郎氏作の木彫スナドリネコ設置除幕式)
8月4日	オウムガイ(個体識別番号No.149)死亡について (世界飼育最長記録を更新中だったオウムガイ斃死)
8月10日	イロワケイルカに赤ちゃん誕生!!
8月12日	オットセイの赤ちゃん愛称決定『ふたば』です
9月4日	《水族館で全国初》 60th×60thコラボ展覧会開催 (「ぼのぼの展」開催)
9月12日	企画展「生きものたちのアートな世界」12日(土)より開催
9月30日	2016年 鳥羽水族館オリジナルカレンダー完成! テーマは「Shall we dance?」
10月11日	《ケーブルフェスタ2015番組コンテスト》 鳥羽水族館の番組作品がグランプリ獲得
10月29日	《11月1日「計量記念日」におこないます》 アフリカマナティー「みらい」の体重測定

発表日時	発表タイトル
11月9日	《生まれて3ヶ月 素敵な名前をつけてね♪》 イロワケイルカの赤ちゃん 愛称募集
11月13日	《国内での繁殖は鳥羽水族館だけ》 オオベソオウムガイに5年ぶりの赤ちゃん誕生
11月19日	オオベソオウムガイ死亡について
11月22日	《2015年クリスマスイベント》 ビリビリツリーとイルミネーション
11月27日	《愛称決定!!》 イロワケイルカの赤ちゃん 名前は「ライト」です
12月13日	2015年 年末大掃除のお知らせ
12月23日	《いよいよサミットに向けて準備本格化》 国道側に英語表記の横断幕を設置
12月27日	《お正月イベント まもなく》 「おせちになっちゃう生きものたち」 + 「お餅つき」

【2016年】

発表日時	発表タイトル
2月10日	《見れば見るほど…》 お寿司!?のようなナマコを展示
2月13日	ダイオウグソクムシの脱皮を国内初確認・動画撮影に成功!!
3月3日	《ラッコが1頭やってきました》 ブリーディングローンによりラッコを搬入 本日より一般公開
3月6日	《4月21日 新水槽誕生!》 「セイウチ・アシカ類の繁殖・親子水槽」まもなく完成
3月10日	ラッコの「メイ」と「ロイズ」の同居開始日 決定
3月20日	《春イベント》 【水族館のイヌ・ネコ展】 始まりました
3月23日	《今年は3名が潜ります》 大水槽で水中入社式
3月29日	《長距離の引っ越し》 北海道からセイウチ1頭がお嫁入り
4月1日	ダイオウグソクムシNo. 5 斃死のお知らせ
4月14日	《サミット開催まで40日》 ラッコが旗を持ってサミットをPR
4月18日	《4月21日 新水槽誕生!》 「セイウチ・アシカ類の繁殖・親子水槽」完成除幕式
4月20日	《GWイベント》 【おいない! 伊勢志摩の海展】 23日より開催
4月24日	《毎年恒例 新米飼育係の米作り》 水族館で明日(25日) 田植えを行います
5月4日	日本初記録! 珍しいウニが入館
5月6日	熊野灘で採集された日本初記録のウニ斃死のお知らせ
5月7日	《サミット開催記念イベント》 「SEA7 おさかなサミット」14日より開催
5月12日	《日本飼育記録更新中!》 バイカルアザラシ「ナターシャ」入館35周年
5月19日	《伊勢志摩サミットまであとわずか》 訪日観光客向け「無料館内ガイドアプリ」登場
6月9日	《日本で唯一飼育中》 アフリカマナティー 入館20周年
6月13日	《梅雨の季節といえば》 白いオタマジャクシの展示開始
6月22日	白いオタマジャクシ死亡について
6月26日	セイウチに赤ちゃん誕生!
7月2日	セイウチの赤ちゃん死亡のお知らせ
7月7日	《夏イベントまもなく始まります》 魚魚(とと) リンピック2016を開催
7月28日	カリフォルニアアシカに赤ちゃん誕生!
8月5日	イロワケイルカに赤ちゃん誕生!! お母さんは国内最高齢
9月8日	2017年 鳥羽水族館オリジナルカレンダー完成! テーマは「世界からこんにちは」
9月12日	《生まれて1ヶ月 素敵な名前をつけてね》 イロワケイルカの赤ちゃん 愛称募集
9月15日	《秋イベントまもなく始まります》 「ファンタジックハロウィン」を開催
9月30日	《愛称決定!!》 イロワケイルカの赤ちゃん 名前は「リオ」です。
10月19日	《収穫の秋!》 新米飼育係が明日(20日) 稲刈りを行います

発表日時	発表タイトル
10月27日	《11月1日「計量記念日」におこないます》 アフリカマナティー「みらい」の身体測定
11月21日	《クリスマスイベントまもなく始まります》 「電撃ビリビリクリスマス2016」を開催
12月15日	《新種が発見されました》 新称和名トリカジカエラモグリ <i>Elthusia moritakii</i> sp. nov.
12月22日	《正月イベントまもなく始まります》 「にこにこ福笑い展」を開催
12月22日	2016年 年末大掃除のお知らせ

6. イベント・企画展

【2015年】

2014年12月27日～1月4日

お正月イベント「あけまして60周年」

2015年は鳥羽水族館が開館して60周年を迎える記念の年。今までのご愛顧に感謝し、これからの発展を願って来館者をお迎え。

3月21日～4月5日

新ゾーン「奇跡の森」オープニングイベント

漫画家のいがらしみきおさんをゲストにお迎えし、スタッフの見守る中オープニングイベントがおこなわれた。



新ゾーン「奇跡の森」オープニングイベント

4月25日～5月10日

GWイベント「水の中のヨロイとカブト」

空を舞う「生きもの“のぼり”」

名前に「ヨロイ」「カブト」とついた端午の節句にちなんだ生きものたちが大集合！

7月18日～8月31日

夏イベント「トバスイ体験クエスト」

生きものとのふれあい体験他。



夏イベント「トバスイ体験クエスト」

8月2日～8月8日

「開館60周年記念限定スペシャルナイト」

60周年を記念し生きものとのふれあい体験や標本タッチ、クイズラリーなどからなる体験イベント。8月2日～8月8日の一週間は、60周年記念限定スペシャルナイト開催。

8月1日～11月20日

「伊勢志摩で拾った貝」展

伊勢・鳥羽・志摩地方の海岸で拾うことができる貝を集めた展示。また、夏休みの自由研究にも役立つように貝標本の作り方をパネルで紹介。



「開館60周年記念限定スペシャルナイト」

9月12日～11月3日

秋イベント「生きものたちのアートな世界」

特別に設置するアートな水槽で、水族館ならではの、生きものたちの生態を楽しみながら芸術鑑賞をしていただくイベント。

11月21日～12月25日

クリスマスイベント「ビリビリツリーとイルミネーション」

デンキウナギの発電クリスマスツリーや巨大バルーンツリー、イルミネーションを展示して、可愛いゆるキャラたちもサンタになって大集合。



クリスマスイベント
「ビリビリツリーとイルミネーション」

12月1日～2016年6月30日

特別展示 主要国首脳貝議「SHELL 7」

2016年5月26・27日、伊勢志摩で開催された主要国首脳会議G7（伊勢志摩サミット）参加国の貝を集めた特別展示。



特別展示 主要国首脳貝議「SHELL 7」

【2016年】

2015年12月30日～1月7日

お正月イベント「おせちになっちゃう生きものたち」

おせち料理の素材となる魚介類の生きている姿を見ていただく特別な「おせち水槽」を設置。

3月19日～4月3日

春イベント「水族館のイヌ・ネコ展」

スナドリネコ入館から1周年を記念し、スナドリネコに関する解説展示や水に棲むネコやイヌにちなんだ生きものたちを集めた。



春イベント「水族館のイヌ・ネコ展」

4月23日～5月8日

GWイベント「おいしい! 伊勢志摩の海展」

5月26・27日に行われた「伊勢志摩サミット」を意識して改めて伊勢志摩地方の豊かな魚介類を集め、その魅力を日本だけでなく世界各国から訪れる人たちに紹介する企画展。



「SEA7 おさかなサミット」

5月14日～6月30日

「SEA7 おさかなサミット」

6月11日～6月30日

アフリカマナティー入館20周年記念イベント

パネル展と特別バックヤードツアー

アフリカマナティーの「かなた」が6月13日で入館20周年を迎えることを記念した特別イベント。



夏イベント「魚魚（とと）リンピック2016」

7月16日～8月31日

夏イベント「魚魚（とと）リンピック2016」

リオデジャネイロオリンピック開催にあわせた企画。オリンピックをテーマに鳥羽水族館の多彩な能力を持った生きものたちを紹介。

9月17日～10月31日

秋イベント「ファンタジックハロウィン」

特別な装飾を施したハロウィン水槽や、水族館ならではのハロウィン生きものを通じて楽しんでいただくイベント。



秋イベント「ファンタジックハロウィン」

11月26日～12月25日

クリスマスイベント「電撃ビリビリクリスマス2016」

鳥羽水族館ですっかり恒例となった「デンキウナギの発電ツリー」や水族館ならではの「ビッグクラゲツリー」が館内を華やかに彩るイベント。

7. 番組制作

「もっと！水の惑星（ほし）紀行」

「もっと！水の惑星（ほし）紀行」は、2000年4月より始まった鳥羽水族館と地元CATVとの共同制作番組。番組編成・撮影に、水族館のスタッフが関わり、毎月ロケを実施。鳥羽水族館が館内やフィールドで撮影した豊富なVTR素材も使い、学芸員や飼育員が生物の生態を紹介。現在も中部圏エリアを中心に17社のCATVに配信され好評放送中。



【2015年】

1月 水族館クイズX

話題になった生きものや水槽裏の秘密など飼育員たちによるオリジナルクイズを出題。

2月 冷たい海で元気な生きものたち

北極や深海など世界各地の冷たい海で元気に暮らす様々な生きものたちを紹介。

3月 キーワードは「春」

桜、ひなまつり、引っ越し、新生活など春にまつわるいろいろな生きものたちを紹介。

4月 「奇跡の森」誕生！

新ゾーン「奇跡の森」と水族館初のスナドリネコなど珍しい生きものとユニークな展示を見学。

5月 硬い体で身を守る

5月の端午の節句の鎧や兜にちなみウロコや甲羅の硬い体で身を守る生きものたちを紹介。

6月 鳥羽水族館60年の歴史と舞台裏

開館当時の様子から60年後の現在までの長い歴史を貴重な古い写真や映像をもとに振り返る。

7月 夏の水族館は夜もオススメ

今回は館内の見所などをガイドしながら生きものたちの寝姿や不思議な生態を観察。

8月 海の牛 ジュゴンとマナティ

鳥羽水族館が長年にわたり飼育研究を続ける海の牛、海牛（カイギュウ）について詳しく紹介。

9月 月と生きものたち

月と海の生きものたちの生命の誕生の秘密を探る。

10月 水族館の人気者 セイウチ「水族館の人気者 セイウチ」

アシカともアザラシとも違った体の特徴やセイウチだけの特殊な能力とその素顔に迫る。

11月 水族館の鳥たち大集合！

飼育種類数が日本一の水族館で飼育されている鳥たちとその活躍ぶりを紹介。

12月 2015年 水族館ニュース「2015 水族館ニュース」

新ゾーン「奇跡の森」がオープンなど飛躍の年となった2015年のニュースを振り返る。

【2016年】

1月 2016年 水族館クイズ

干支にちなんだ生きものや水槽裏の秘密など飼育員たちによるオリジナルクイズを出題。

2月 ブームをつくった人気者の秘密を探る

かつてブームをおこした人気者たちの理由と現在の様子を紹介。

3月 水に棲むイヌ・ネコたち

犬や猫の名がついたり鳴き声を出す魚介類を紹介。

4月 おいしい 伊勢志摩の海「おいしい伊勢志摩の海」

自然に恵まれた伊勢志摩の海の魅力を、漁の様子や生きものたちを通じて伝える。

5月 水族館の取り組み ～繁殖～「水族館の取り組み ～繁殖～」

見て楽しんでもらうだけでなく野生動物の保護・繁殖や種の保存など水族館の取り組みと役割に迫る。

6月 生きものの持ち方、運び方

身近な生きものたちの触り方や持ち方、水族館での担当飼育員たちの動物の持ち方や扱い方などを紹介。

7月 世界の国からコンニチハ

サミットにちなんだ7カ国の生きものたちの特別展示生物を詳しく紹介。

8月 映画に出てくる人気者たち「映画に出てくる人気者たち」

人気のアニメ映画の登場生物の詳しい生態を解説。

9月 海の森で生きものを探してみよう

藻場と呼ばれ、魚をはじめとする生きものたちの赤ちゃんが育つ海藻（草）の森を訪ねる。

10月 水族館とハロウィン「水族館とハロウィン」

幽霊、おばけ、怖い顔、カボチャなどのキーワードをもとに生きものたちが登場。

11月 へんな生きものと変わった得意技

「へんな生きもの研究所」で新しく展示された種類や生きものたちの習性や得意技を紹介。

12月 2016年 水族館ニュース

伊勢志摩サミットや新水槽完成の他未公開のニュースから最新の出来事まで2016年を振り返る。

8. 社会教育活動

1. 教養セミナー

生物や自然環境への理解を深めることを目的として、主に修学旅行の学生を対象にしたセミナー。仕事についての考え方を学ぶキャリア学習にも対応。

2015年・教養セミナー実施記録（82件・5,524名）

実施日	団 体 名	所在地	人数	講 師
4月22日(水)	伊勢市立 倉田山中学校	三重県	144	佐野 伸哉
4月23日(木)	伊勢市立 城田中学校	三重県	56	佐野 伸哉
5月7日(木)	木津川市立 相楽台小学校	京都府	38	小川 真美
5月13日(水)	堺市立 久世小学校	大阪府	166	北浦 惇貴
5月13日(水)	笠取町立 笠取小学校・笠取第二小学校	京都府	5	笠松 雅彦
5月13日(水)	大阪市立 東井高野小学校	大阪府	66	世古 篤史
5月14日(木)	八幡市立 美濃山小学校	京都府	135	中西 孝宗
5月14日(木)	大阪市立 矢田小学校	大阪府	36	橋本 奈々
5月20日(水)	堺市立 宮園小学校	大阪府	21	大北 涼介
5月21日(木)	大阪市立 高津小学校	大阪府	21	山本いづ保
5月21日(木)	大阪市立 塚本小学校	大阪府	81	辻 晴仁
5月21日(木)	大阪市立 大宮西小学校	大阪府	63	磯原 玖美
5月24日(日)	岸和田市立 修斎小学校	大阪府	45	村上 龍
5月26日(火)	大阪市立 福小学校	大阪府	32	北浦 惇貴
5月26日(火)	大阪市立 東小橋小学校	大阪府	32	今川明日翔
5月27日(水)	城陽市立 古川小学校	京都府	51	大北 涼介
5月28日(木)	大阪市立 西中島小学校	大阪府	22	大村 智
5月28日(木)	大阪市立 味原小学校	大阪府	31	今川明日翔
5月28日(木)	大阪市立 敷津小学校	大阪府	14	佐野 伸哉
5月28日(木)	羽曳野市立 恵我之荘小学校	大阪府	63	長谷川一宏
5月29日(金)	大阪市立 今福小学校	大阪府	35	田中 侑弥
6月4日(木)	大阪市立 諏訪小学校	大阪府	136	清水 雄亮
6月4日(木)	大阪市立 築港小学校	大阪府	37	遠藤 志穂
6月5日(金)	大阪市立 豊仁小学校	大阪府	44	宮本 真美
6月11日(木)	大阪市立 高倉小学校	大阪府	124	肥田 章利
8月4日(火)	常翔啓光学園高等部	大阪府	7	濱口まゆこ
9月14日(月)	堺市立 美原西小学校	大阪府	45	大北 涼介
9月16日(水)	堺市立 津久野小学校	大阪府	77	田中 侑弥
9月17日(木)	堺市立 錦西小学校	大阪府	43	今川明日翔
9月17日(木)	大阪市立 鷹合小学校	大阪府	72	北浦 惇貴
9月17日(木)	堺市立 登美丘南小学校	大阪府	101	中西 孝宗
9月29日(火)	神戸市立 広陵小学校	兵庫県	129	磯原 玖美
9月29日(火)	大阪市立 吉野小学校	大阪府	70	肥田 章利
9月30日(水)	羽曳野市立 羽曳が丘小学校	大阪府	144	小川 真美
10月7日(水)	大阪市立 日本橋小学校	大阪府	7	小川 真美
10月7日(水)	大阪市立 加美南部小学校	大阪府	90	半田由佳理

10月8日(木)	木津川市立 木津川台小学校	京都府	116	大村 智
10月8日(木)	阪南市立 東鳥取小学校	大阪府	81	辻 晴仁
10月8日(木)	大阪市立 鶴橋小学校	大阪府	19	山本いづ保
10月13日(火)	大阪市立 みどり小学校	大阪府	64	村上 龍
10月13日(火)	大阪市立 大淀小学校	大阪府	67	笠松 雅彦
10月13日(火)	大阪市立 平林小学校	大阪府	38	宮本 真美
10月14日(水)	大阪市立 茨田東小学校	大阪府	62	上岡 岳
10月14日(水)	大阪市立 榎並小学校	大阪府	71	磯原 玖美
10月14日(水)	大阪市立 中大江小学校	大阪府	39	田中 侑弥
10月15日(木)	東部連合小学校 (木津川市立 笠置小学校・南山城小学校)	京都府	13	世古 篤史
10月15日(木)	大阪市立 三津屋小学校	大阪府	76	遠藤 志穂
10月15日(木)	阪南市立 波太小学校	大阪府	16	森滝 丈也
10月19日(月)	大阪市立 海老江西小学校	大阪府	18	大北 涼介
10月19日(月)	大阪市立 阿倍野小学校	大阪府	65	大村 智
10月20日(火)	高田中学校1年生	三重県	181	三谷 伸也
10月20日(火)	大阪市立 遠里小野小学校	大阪府	26	竹居 桃香
10月20日(火)	大阪市立 北鶴橋小学校	大阪府	29	遠藤 志穂
10月20日(火)	大阪市立 南大江小学校	大阪府	69	村上 龍
10月21日(水)	八尾市立 高美南小学校	大阪府	32	矢野 雅子
10月21日(水)	大阪市立 田辺小学校	大阪府	85	辻 晴仁
10月21日(水)	八尾市立 竹淵小学校	大阪府	39	室 葉津季
10月22日(木)	大阪市立 住吉川小学校	大阪府	78	中西 孝宗
10月22日(木)	大阪市立 恵美小学校	大阪府	20	肥田 章利
10月22日(木)	大阪市立 北田辺小学校	大阪府	77	小川 真美
10月26日(月)	大阪市立 生魂小学校	大阪府	30	大村 智
10月27日(火)	大阪市立 南百済小学校	大阪府	78	竹居 桃香
10月27日(火)	八尾市立 久宝寺小学校	大阪府	85	森滝 丈也
10月28日(水)	大阪市立 嶋野小学校	大阪府	100	今川明日翔
10月28日(水)	大阪市立 西天満小学校	大阪府	20	世古 篤史
10月28日(水)	大阪市立 茨田小学校	大阪府	64	上岡 岳
10月29日(木)	堺市立 福泉小学校	大阪府	219	佐野 伸哉
10月29日(木)	堺市立 浜寺東小学校	大阪府	87	肥田 章利
11月5日(木)	堺市立 榎小学校	大阪府	132	北浦 惇貴
11月11日(水)	大阪市立 鯉江小学校	大阪府	171	室 葉津季
11月12日(木)	堺市立 福田小学校	大阪府	72	中西 孝宗
11月12日(木)	堺市立 八田荘小学校	大阪府	101	半田由佳理
11月13日(金)	岸和田市立 東葛城小学校	大阪府	9	山本いづ保
11月16日(月)	大阪市立 榎本小学校	大阪府	129	村上 龍
11月19日(木)	堺市立 東陶器小学校	大阪府	119	北浦 惇貴
11月19日(木)	堺市立 南八下小学校	大阪府	68	笠松 雅彦
11月19日(木)	堺市立 英彰小学校	大阪府	97	今川明日翔
11月19日(木)	鳥羽高等学校 (バリアフリー研修)	三重県	4	佐野 伸哉
11月26日(木)	堺市立 福泉中央小学校	大阪府	81	佐野 伸哉
11月27日(金)	堺市立 桃山台小学校	大阪府	33	岩出 祐子
12月2日(水)	セントヨゼフ女子学園中学校2年生	三重県	75	岩出 祐子
12月2日(水)	セントヨゼフ女子学園中学校1年生	三重県	86	若林 郁夫

2016年・教養セミナー実施記録 (83件・5,332名)

実施日	団 体 名	所在地	人数	講 師
2月23日(火)	津市立 誠之小学校	三重県	69	三谷 伸也
2月29日(月)	甲子園短期大学	兵庫県	62	濱口まゆこ
4月12日(火)	高田中学校	三重県	189	三谷 伸也
4月21日(木)	伊勢市立 城田中学校	三重県	56	三谷 伸也
5月10日(火)	木津川市立 相楽台小学校	京都府	42	大北 涼介
5月11日(水)	大阪市立 東井高野小学校	大阪府	71	笠松 雅彦
5月11日(水)	宇治市立 笠取小学校・笠取第二小学校	京都府	9	小川 真美
5月30日(月)	大阪市立 高津小学校	大阪府	25	宮本 真美
5月31日(火)	大阪市立 東小橋小学校	大阪府	34	上岡 岳
5月31日(火)	大阪市立 敷津小学校	大阪府	21	室 葉津季
6月2日(木)	大阪市立 西中島小学校	大阪府	23	今川明日翔
6月2日(木)	大阪市立 北中道小学校	大阪府	36	伊藤 美穂
6月2日(木)	大阪市立 諏訪小学校	大阪府	113	中西 孝宗
6月3日(金)	木津川市立 高の原小学校	京都府	69	田中 侑弥
6月3日(金)	大阪市立 今福小学校	大阪府	29	森滝 丈也
6月3日(金)	宇治市立 南小倉小学校	京都府	46	村上 龍
6月5日(日)	岸和田市立 修斎小学校	大阪府	38	大村 智
6月6日(月)	大阪市立 豊仁小学校	大阪府	45	世古 篤史
6月7日(火)	大阪市立 味原小学校	大阪府	27	竹居 桃香
6月7日(火)	大阪市立 福小学校	大阪府	34	磯原 玖美
6月8日(水)	八幡市立 美濃山小学校	京都府	111	伊藤 美穂
6月8日(水)	城陽市立 古川小学校	京都府	44	小川 真美
6月9日(木)	大阪市立 塚本小学校	大阪府	88	辻 晴仁
6月9日(木)	大阪市立 高倉小学校	大阪府	131	北浦 惇貴
6月15日(水)	城陽市立 富野小学校	京都府	96	田中 侑弥
6月23日(木)	羽曳野市立 恵我之荘小学校	大阪府	54	山本いず保
6月28日(火)	京都市立 九条塔南小学校	京都府	47	大村 智
6月28日(火)	京都市立 九条弘道小学校	京都府	14	村上 龍
7月22日(金)	社会保険労務士会	三重県	30	若井 嘉人
9月14日(水)	堺市立 津久野小学校	大阪府	91	佐野 伸哉
9月14日(水)	大阪市立 喜連東小学校	大阪府	55	小川 真美
9月15日(木)	大阪市立 鷹合小学校	大阪府	52	山本いず保
9月15日(木)	堺市立 登美丘南小学校	大阪府	105	世古 篤史
9月26日(月)	堺市立 美原西小学校	大阪府	41	笠松 雅彦
9月27日(火)	大阪市立 田島小学校	大阪府	43	中西 孝宗
9月27日(火)	堺市立 鳳小学校	大阪府	130	村上 龍
9月27日(火)	大阪市立 吉野小学校	大阪府	60	世古 篤史
9月28日(水)	堺市立 新浅香山小学校	大阪府	47	竹居 桃香
9月28日(水)	神戸市立 広陵小学校	兵庫県	126	小川 真美
9月29日(木)	寝屋川市立 中央小学校	大阪府	87	田中 侑弥
10月4日(火)	京都市立 東山泉小学校	京都府	76	大村 智

10月5日(水)	大阪市立 北鶴橋小学校	大阪府	13	磯原 玖美
10月6日(木)	木津川市立 木津川台小学校	京都府	105	中西 孝宗
10月6日(木)	大阪市立 鶴橋小学校	大阪府	22	半田由佳理
10月6日(木)	大阪市立 下新庄小学校	大阪府	45	森滝 丈也
10月11日(火)	大阪市立 大淀小学校	大阪府	63	笠松 雅彦
10月12日(水)	大阪市立 茨田東小学校	大阪府	54	上岡 岳
10月12日(水)	大阪市立 榎並小学校	大阪府	68	伊藤 美穂
10月13日(木)	大阪市立 中大江小学校	大阪府	51	世古 篤史
10月13日(木)	大阪市立 北田辺小学校	大阪府	79	室 葉津季
10月13日(木)	東部連合小学校 (木津川市立 笠置小学校・南山城小学校)	京都府	25	今川明日翔
10月17日(月)	大阪市立 森之宮小学校	大阪府	14	村上 龍
10月17日(月)	大阪市立 海老江西小学校	大阪府	27	北浦 惇貴
10月18日(火)	八尾市立 山本小学校	大阪府	94	森滝 丈也
10月18日(火)	大阪市立 今津小学校	大阪府	127	磯原 玖美
10月18日(火)	大阪市立 平林小学校	大阪府	54	竹居 桃香
10月19日(水)	大阪市立 住吉川学校	大阪府	80	上岡 岳
10月19日(水)	八尾市立 高美南小学校	大阪府	49	夏井 智香
10月19日(水)	大阪市立 田辺小学校	大阪府	68	伊藤 美穂
10月20日(木)	大阪市立 小路小学校	大阪府	42	山本いづ保
10月20日(木)	東大阪市立 弥刀小学校	大阪府	49	岩出 祐子
10月21日(金)	志摩市立 大王中学校	三重県	45	三谷 伸也
10月24日(月)	大阪市立 生魂小学校	大阪府	27	鈴木 智大
10月24日(月)	大阪市立 大國小学校	大阪府	28	宮本 真美
10月24日(月)	大阪市立 上福島小学校	大阪府	23	磯原 玖美
10月25日(火)	八尾市立 久宝寺小学校	大阪府	90	森滝 丈也
10月25日(火)	大阪市立 橘小学校	大阪府	52	竹居 桃香
10月26日(水)	大阪市立 鴨野小学校	大阪府	100	小川 真美
10月31日(月)	大阪市立 太子橋小学校	大阪府	44	大村 智
11月1日(火)	堺市立 榎小学校	大阪府	132	宮本 真美
11月1日(火)	大阪市立 茨田小学校	大阪府	60	中村 文哉
11月7日(月)	大阪市立 榎本小学校	大阪府	144	村上 龍
11月10日(木)	堺市立 八田荘小学校	大阪府	95	小川 真美
11月11日(金)	岸和田市立 東葛城小学校	大阪府	10	半田由佳理
11月14日(月)	大阪市立 鯉江小学校	大阪府	161	鈴木 智大
11月16日(水)	鳥羽高等学校 (バリアフリー研修)	三重県	10	濱口まゆこ
11月17日(木)	堺市立 英彰小学校	大阪府	89	今川明日翔
11月17日(木)	堺市立 南八下小学校	大阪府	71	夏井 智香
11月17日(木)	堺市立 福田小学校	大阪府	86	中西 孝宗
11月21日(月)	東大阪市立 縄手南小学校	大阪府	160	北浦 惇貴
11月24日(木)	堺市立 福泉中央小学校	大阪府	79	夏井 智香
11月28日(月)	大阪市立 五条小学校	大阪府	96	磯原 玖美
11月28日(月)	富田林市立 高辺台小学校	大阪府	35	鈴木 智大

2. 職場体験学習の受け入れ

学校教育活動への協力と地域社会への貢献のため、近隣中学校の職場体験学習を受け入れている。

【2015年】	5月21日・22日	志摩市立磯部中学校	1名
	8月5日・6日	鳥羽市立神島中学校	1名
	8月25日・26日	鳥羽市立鳥羽東中学校	2名
	9月15日・16日	志摩市立文岡中学校	2名
	10月8日・9日	鳥羽市立答志中学校	2名
	10月22日・23日	鳥羽市立長岡中学校	2名
	11月26日・27日	伊勢市立港中学校	2名

【2016年】	6月9日・10日	志摩市立磯部中学校	2名
	8月23日・24日	鳥羽市立鳥羽東中学校	2名
	10月6日・7日	鳥羽市立答志中学校	2名
	10月20日・21日	鳥羽市立長岡中学校	2名
	11月16日・17日	伊勢市立港中学校	2名

(人)

3. 学生実習の受け入れ

全国の大学、専門学校生の希望者から主に飼育実習を目的として受け入れている。

	2015年		2016年	
	男	女	男	女
帯広畜産大学				1
近畿大学	2	2		5
創価大学		1		
高知大学				2
相愛大学				1
東海大学		3	1	
東京海洋大学				1
東京大学				1
東京農業大学				1
長浜バイオ大学				1
福山大学	1	1		
北海道大学		1	1	
三重大学	1	2	2	3
名城大学				1
AWS動物学院				1
大阪ECO動物海洋専門学校		1	1	1
大阪動植物海洋専門学校		1	1	
仙台コミュニケーションアート専門学校		1		
神戸動植物環境専門学校			1	3
専門学校ルネッサンス・ペットアカデミー		1		3
東京動物専門学校		1		2
名古屋コミュニケーションアート専門学校		1		1
日本ペット&アニマル専門学校		1		1
福岡ECO動物海洋専門学校		1		

4. 各学習プログラム

鳥羽水族館では、学校では学べない水族館の仕組みや実際の飼育現場を知り学ぶこと、実験や野外での観察等で生きものに実際に触れて感じるにより、生きものへの興味・関心・理解を深める各種プログラムを実施している。

①うら側探検隊

生きものたちの日常や知られざる姿、設備の工夫などのお話を交えながら、普段入ることのできない秘密のバックヤードへスタッフがご案内するツアー。一般団体向けと当日募集型（個人向け）の2パターンあり。

【2015年】

団体と個人商品、主催分で236件・292回；4,331名。

主催分は電話予約と当日募集で繁忙期以外の土日15:00に実施。

【2016年】

団体と個人商品、主催分で221件・302回；4,874名。

主催分は電話予約と当日募集で繁忙期以外の土日15:00に実施。

②生きもん!!発見教室

簡単な実験や観察を通して、身近にいるよく知っている生きものの秘密を新たに発見する教室。修学旅行と遠足の学生を対象にしている。

【2015年】

102件・4,915名 ※1日最大8コマ・1コマの実施最大人数70名まで

実施日	団 体 名	所在地	人数	講 師
2月27日(金)	松阪市立 阿坂小学校	三重県	13	道瀬 忠利
3月5日(木)	新渡戸文化小学校	東京都	39	道瀬 忠利
5月15日(金)	宇治市立 菟道第二小学校①	京都府	61	世古 則登
5月15日(金)	宇治市立 菟道第二小学校②	京都府	61	世古 則登
5月21日(木)	大阪市立 桃陽小学校①	大阪府	38	齋藤 敬介
5月21日(木)	大阪市立 桃陽小学校②	大阪府	38	齋藤 敬介
5月21日(木)	大阪市立 海老江東小学校	大阪府	45	齋藤 敬介
5月21日(木)	宇治市立 神明小学校①	京都府	55	佐野 伸哉
5月21日(木)	宇治市立 神明小学校②	京都府	56	佐野 伸哉
5月21日(木)	亀岡市立 本梅小学校	京都府	17	佐野 伸哉
5月22日(金)	清明学園初等学校①	東京都	40	世古 則登
5月22日(金)	清明学園初等学校②	東京都	40	世古 則登
5月22日(金)	亀岡市立 蕨田野小学校	京都府	16	齋藤 敬介
5月26日(火)	大阪市立 内代小学校	大阪府	30	世古 則登
5月27日(水)	大阪市立 舍利寺小学校	大阪府	48	濱口まゆこ
5月27日(水)	大阪市立 巽南小学校	大阪府	64	濱口まゆこ
5月27日(水)	大阪市立 東小路小学校	大阪府	43	齋藤 敬介
5月28日(木)	八幡市立 さくら小学校①	京都府	38	濱口まゆこ
5月28日(木)	八幡市立 さくら小学校②	京都府	37	濱口まゆこ

5月28日(木)	大阪市立 豊里南小学校	大阪府	55	齋藤 敬介
5月28日(木)	宇治市立 西大久保小学校	京都府	41	齋藤 敬介
5月28日(木)	宇治市立 菟道小学校	京都府	52	濱口まゆこ
5月29日(金)	大阪市立 玉造小学校	大阪府	67	世古 則登
5月29日(金)	大阪市立 東淡路小学校	大阪府	51	世古 則登
5月29日(金)	城陽市立 寺田西小学校	京都府	57	齋藤 敬介
5月29日(金)	宇治市立 北槇島小学校	京都府	75	齋藤 敬介
6月3日(水)	大阪市立 粉浜小学校	大阪府	62	佐野 伸哉
6月3日(水)	城陽市立 今池小学校	京都府	57	佐野 伸哉
6月4日(木)	城陽市立 青谷小学校	京都府	64	齋藤 敬介
6月5日(金)	大阪市立 清水丘小学校	大阪府	66	世古 則登
6月5日(金)	宇治市立 西小倉小学校	京都府	51	佐野 伸哉
6月5日(金)	城陽市立 寺田小学校①	京都府	44	世古 則登
6月5日(金)	城陽市立 寺田小学校②	京都府	44	世古 則登
6月11日(木)	相楽東部広域連合立 和束小学校	京都府	36	濱口まゆこ
6月18日(木)	城陽市立 寺田南小学校	京都府	55	濱口まゆこ
6月18日(木)	城陽市立 深谷小学校	京都府	42	齋藤 敬介
9月18日(金)	大阪市立 西九条小学校	大阪府	43	佐野 伸哉
9月25日(金)	明和町立 修正小学校	三重県	20	世古 則登
9月25日(金)	堺市立 金岡南小学校①	大阪府	75	佐野 伸哉
9月25日(金)	堺市立 金岡南小学校②	大阪府	75	佐野 伸哉
9月29日(火)	伊勢市立 浜郷小学校	三重県	54	世古 則登
10月2日(金)	大阪市立 野田小学校①	大阪府	54	佐野 伸哉
10月2日(金)	大阪市立 野田小学校②	大阪府	54	佐野 伸哉
10月2日(金)	大阪市立 大隅西小学校	大阪府	49	齋藤 敬介
10月6日(火)	名張市立 百合が丘小学校	三重県	72	齋藤 敬介
10月7日(水)	尼崎市立 長洲小学校	兵庫県	61	佐野 伸哉
10月7日(水)	富田林市立 久野喜台小学校	大阪府	46	濱口まゆこ
10月9日(金)	大阪市立 堀江小学校①	大阪府	61	佐野 伸哉
10月9日(金)	大阪市立 堀江小学校②	大阪府	61	佐野 伸哉
10月9日(金)	加茂町連合 恭仁小学校・南加茂台小学校	京都府	51	酒徳 竜馬
10月9日(金)	加茂町連合 加茂小学校	京都府	63	酒徳 竜馬
10月14日(水)	大阪市立 堀川小学校①	大阪府	48	齋藤 敬介
10月14日(水)	大阪市立 堀川小学校②	大阪府	48	齋藤 敬介
10月15日(木)	大阪市立 玉川小学校	大阪府	56	濱口まゆこ
10月15日(木)	大阪市立 森之宮小学校	大阪府	13	濱口まゆこ
10月15日(木)	大阪市立 成育小学校①	大阪府	50	世古 則登
10月15日(木)	大阪市立 成育小学校②	大阪府	47	世古 則登
10月15日(木)	大阪市立 古市小学校①	大阪府	37	齋藤 敬介
10月15日(木)	大阪市立 古市小学校②	大阪府	37	齋藤 敬介
10月16日(金)	大阪市立 南小学校	大阪府	39	齋藤 敬介

10月16日(金)	大阪市立 東中本小学校①	大阪府	42	酒徳 竜馬
10月16日(金)	大阪市立 東中本小学校②	大阪府	42	酒徳 竜馬
10月16日(金)	柏原市立 柏原東小学校	大阪府	44	齋藤 敬介
10月20日(火)	大阪市立 矢田北小学校	大阪府	38	濱口まゆこ
10月21日(水)	大阪市立 天王寺小学校	大阪府	48	齋藤 敬介
10月21日(水)	大阪市立 関目東小学校①	大阪府	46	佐野 伸哉
10月21日(水)	大阪市立 関目東小学校②	大阪府	46	佐野 伸哉
10月21日(水)	大阪市立 難波元町小学校	大阪府	24	佐野 伸哉
10月22日(木)	大阪市立 横堤小学校①	大阪府	58	酒徳 竜馬
10月22日(木)	大阪市立 横堤小学校②	大阪府	58	酒徳 竜馬
10月22日(木)	大阪市立 桑津小学校①	大阪府	57	佐野 伸哉
10月22日(木)	大阪市立 桑津小学校②	大阪府	58	佐野 伸哉
10月22日(木)	大阪市立 南市岡小学校	大阪府	17	齋藤 敬介
10月22日(木)	大阪市立 喜連北小学校	大阪府	72	齋藤 敬介
10月22日(木)	大阪市立 小林小学校	大阪府	44	齋藤 敬介
10月23日(金)	大阪市立 中野小学校	大阪府	72	佐野 伸哉
10月23日(金)	柏原市立 国分東小学校	大阪府	30	酒徳 竜馬
10月24日(土)	泉佐野市立 第三小学校	大阪府	17	酒徳 竜馬
10月26日(月)	泉南市立 一丘小学校①	大阪府	37	佐野 伸哉
10月26日(月)	泉南市立 一丘小学校②	大阪府	36	佐野 伸哉
10月27日(火)	大阪市立 友渕小学校①	大阪府	75	佐野 伸哉
10月27日(火)	大阪市立 友渕小学校②	大阪府	75	佐野 伸哉
10月27日(火)	大阪市立 友渕小学校③	大阪府	75	佐野 伸哉
10月27日(火)	大阪市立 東粉浜小学校	大阪府	52	齋藤 敬介
10月27日(火)	明和町立 斎宮小学校	三重県	64	齋藤 敬介
10月28日(水)	大阪市立 三軒家東小学校①	大阪府	36	齋藤 敬介
10月28日(水)	大阪市立 三軒家東小学校②	大阪府	36	齋藤 敬介
10月30日(金)	大阪市立 日吉小学校①	大阪府	57	佐野 伸哉
10月30日(金)	大阪市立 日吉小学校②	大阪府	56	佐野 伸哉
10月30日(金)	伊勢市立 今一色小学校	三重県	34	酒徳 竜馬
11月2日(月)	鳥羽市立 弘道小学校	三重県	30	濱口まゆこ
11月5日(木)	大阪市立 中央小学校①	大阪府	58	酒徳 竜馬
11月5日(木)	大阪市立 中央小学校②	大阪府	58	酒徳 竜馬
11月5日(木)	大阪市立 上福島小学校	大阪府	20	世古 則登
11月5日(木)	守口市立 錦小学校①	大阪府	60	齋藤 敬介
11月5日(木)	守口市立 錦小学校②	大阪府	60	齋藤 敬介
11月12日(木)	松阪市立 天白小学校	三重県	72	濱口まゆこ
11月19日(木)	大阪市立 大江小学校	大阪府	58	世古 則登
11月26日(木)	大阪狭山市立 南第一小学校	大阪府	43	世古 則登
11月27日(金)	松阪市立 伊勢寺小学校①	三重県	35	酒徳 竜馬
11月27日(金)	松阪市立 伊勢寺小学校②	三重県	43	酒徳 竜馬
12月17日(木)	津市立 芸濃保育園	三重県	20	酒徳 竜馬

【2016年】

64件・3,068名 ※1日最大8コマ・1コマの実施最大人数70名まで

実施日	団 体 名	所在地	人数	講 師
3月3日(木)	新渡戸文化小学校	東京都	58	世古 則登
4月21日(木)	伊勢市立 五十鈴中学校1年生①	三重県	54	酒徳 竜馬
4月21日(木)	伊勢市立 五十鈴中学校1年生②	三重県	55	酒徳 竜馬
5月19日(木)	宇治市立 神明小学校①	京都府	61	世古 則登
5月19日(木)	宇治市立 神明小学校②	京都府	62	世古 則登
5月27日(金)	清明学園初等学校	東京都	68	酒徳 竜馬
5月31日(火)	大阪市立 東小路小学校	大阪府	45	清水 優
6月1日(水)	宇治市立 西大久保小学校	京都府	40	清水 優
6月2日(木)	宇治市立 平盛小学校	京都府	28	清水 優
6月2日(木)	大阪市立 豊里南小学校	大阪府	51	世古 則登
6月2日(木)	精華町立 精北小学校	京都府	65	世古 則登
6月2日(木)	城陽市立 青谷小学校	京都府	51	酒徳 竜馬
6月3日(金)	宇治市立 西小倉小学校	京都府	55	清水 優
6月3日(金)	大阪市立 内代小学校	大阪府	40	清水 優
6月8日(水)	大阪市立 海老江東小学校	大阪府	54	清水 優
6月9日(木)	大阪市立 舍利寺小学校	大阪府	53	清水 優
6月9日(木)	大阪市立 巽南小学校	大阪府	59	清水 優
6月9日(木)	宇治市立 北槇島小学校	京都府	55	世古 則登
6月9日(木)	相楽東部広域連合立 和束小学校	京都府	26	酒徳 竜馬
6月9日(木)	宇治市立 菟道小学校	京都府	42	酒徳 竜馬
6月10日(金)	大阪市立 玉造小学校	大阪府	57	濱口まゆこ
6月16日(木)	城陽市立 寺田西小学校	京都府	59	酒徳 竜馬
6月16日(木)	城陽市立 寺田南小学校	京都府	41	濱口まゆこ
6月16日(木)	城陽市立 深谷小学校	京都府	47	清水 優
6月17日(金)	精華町立 山田荘小学校	京都府	52	清水 優
9月14日(水)	堺市立 平岡小学校	大阪府	38	清水 優
9月16日(金)	大阪市立 三津屋小学校①	大阪府	44	清水 優
9月16日(金)	大阪市立 三津屋小学校②	大阪府	43	清水 優
9月16日(金)	大阪市立 西九条小学校	大阪府	47	酒徳 竜馬
9月23日(金)	玉城町立 田丸小学校	三重県	47	酒徳 竜馬
9月28日(水)	伊勢市立 浜郷小学校	三重県	72	酒徳 竜馬
9月28日(水)	羽曳野市立 羽曳が丘小学校①	大阪府	73	清水 優
9月28日(水)	羽曳野市立 羽曳が丘小学校②	大阪府	72	清水 優
9月29日(木)	伊勢市立 城田小学校	三重県	54	清水 優
10月1日(土)	大阪市立 大隅西小学校	大阪府	59	清水 優
10月4日(火)	尼崎市立 長洲小学校	兵庫県	66	清水 優
10月5日(水)	三重県立教育支援センター ほほえみ教室	三重県	14	清水 優
10月6日(木)	大阪市立 古市小学校	大阪府	67	酒徳 竜馬
10月12日(水)	大阪市立 新今宮小学校	大阪府	54	清水 優
10月12日(水)	守口市立 三郷小学校	大阪府	22	清水 優
10月13日(木)	大阪市立 成育小学校①	大阪府	67	清水 優
10月13日(木)	大阪市立 成育小学校②	大阪府	67	清水 優

10月14日(金)	泉佐野市立 大木小学校	大阪府	3	世古 則登
10月14日(金)	大阪市立 東中本小学校①	大阪府	37	酒徳 竜馬
10月14日(金)	大阪市立 東中本小学校②	大阪府	38	酒徳 竜馬
10月18日(火)	富田林市立 久野喜台小学校	大阪府	56	酒徳 竜馬
10月21日(金)	大阪市立 中野小学校	大阪府	72	濱口まゆこ
10月21日(金)	大阪市立 西天満小学校	大阪府	26	濱口まゆこ
10月21日(金)	大阪市立 日本橋小学校	大阪府	5	酒徳 竜馬
10月22日(土)	柏原市立 国分東小学校	大阪府	17	酒徳 竜馬
10月24日(月)	泉南市立 一丘小学校	大阪府	62	濱口まゆこ
10月25日(火)	大阪市立 東粉浜小学校	大阪府	53	清水 優
10月25日(火)	大阪市立 三軒家東小学校	大阪府	53	清水 優
10月26日(水)	大阪市立 小林小学校	大阪府	44	世古 則登
10月27日(木)	大阪市立 日吉小学校①	大阪府	50	世古 則登
10月27日(木)	大阪市立 日吉小学校②	大阪府	52	世古 則登
10月28日(金)	大阪市立 矢田北小学校	大阪府	26	酒徳 竜馬
10月28日(金)	明和町立 斎宮小学校	三重県	65	酒徳 竜馬
11月1日(火)	大阪市立 西生野小学校	大阪府	27	清水 優
11月2日(水)	泉佐野市立 上之郷小学校	大阪府	27	清水 優
11月5日(土)	泉佐野市立 第三小学校	大阪府	18	酒徳 竜馬
11月7日(月)	大阪市立 東中浜小学校①	大阪府	45	世古 則登
11月7日(月)	大阪市立 東中浜小学校②	大阪府	44	世古 則登
11月18日(金)	大阪市立 大江小学校	大阪府	64	清水 優

③捕食ツアー

企画団体向けで、館内の生きものの“捕食”をテーマに特化した特別ガイドツアー。ワニ・ピラルクとラッコ・カワウソの2パターンあり。

【2015年】

5件・102名

実施日	団体名	人数	講師
7月21日(火)	飛鳥クルーズ (ラッコ・カワウソ)	23	濱口まゆこ
7月25日(土)	KNT個人企画商品 (ワニ・ピラルク)	4	濱口まゆこ
8月18日(火)	飛鳥クルーズ (ラッコ・カワウソ)	38	濱口まゆこ
8月22日(土)	KNT個人企画商品 (ワニ・ピラルク)	18	濱口まゆこ
8月29日(土)	KNT個人企画商品 (ワニ・ピラルク)	19	佐野 伸哉

【2016年】

2件・68名

実施日	団体名	人数	講師
7月29日(金)	飛鳥クルーズ (ラッコ・カワウソ)	22	濱口まゆこ
8月18日(木)	飛鳥クルーズ (ラッコ・カワウソ)	46	清水 優

④磯観察講師派遣

臨海学習の一環で志摩市に滞在している京都市立の小学4・5年生を対象とした海の生きもの観察会。志摩町および大王町の海岸で実施。

【2015年】

8件・669名 ※下記以外で要望あったが、雨天・荒天で実施できず：6件

実施日	団 体 名	所在地	人数	講 師
5月19日(火)	京都市立 勸修小学校	京都府	95	濱口まゆこ
6月30日(火)	京都市立 檜原小学校	京都府	131	佐野 伸哉
9月8日(火)	京都市立 錦林小学校	京都府	84	齋藤 敬介
9月14日(月)	京都市立 嵐山小学校	京都府	68	佐野 伸哉
9月26日(土)	京都市立 朱雀第八小学校	京都府	55	齋藤 敬介
10月8日(火)	京都市立 桃山小学校	京都府	82	濱口まゆこ
10月8日(火)	京都市立 東山泉小学校	京都府	75	齋藤 敬介
10月29日(木)	京都市立 桂徳小学校	京都府	79	齋藤 敬介

【2016年】

8件・602名

※伊勢志摩サミット前後の日程変更により予約件数は例年より少なかった。

※上記以外で要望あったが、雨天・荒天で実施できず：2件

実施日	団 体 名	所在地	人数	講 師
7月15日(金)	京都市立 朱雀第八小学校	京都府	63	佐野 伸哉
9月2日(金)	京都市立 嵯峨野小学校	京都府	102	濱口まゆこ
9月4日(日)	京都市立 嵯峨小学校	京都府	89	濱口まゆこ
9月10日(土)	京都市立 錦林小学校	京都府	81	佐野 伸哉
9月13日(火)	京都市立 嵐山小学校	京都府	71	清水 優
10月16日(日)	京都市立 御室小学校	京都府	58	清水 優
10月27日(木)	京都市立 竹の里小学校	京都府	39	佐野 伸哉
11月7日(月)	京都市立 勸修小学校	京都府	99	清水 優

9. 飼育動物一覧表

2016年飼育取扱種 (1,412種)

◆哺乳類 17種

アフリカマナティー *Trichechus senegalensis*
 ジュゴン *Dugong dugon*
 アメリカビーバー *Castor canadensis*
 カピバラ *Hydrochoerus hydrochaeris*
 イロワケイルカ *Cephalorhynchus commersonii*
 スナメリ *Neophocaena asiaeorientalis*
 コツメカワソ *Aonyx cinerea*
 アラスカラッコ *Enhydra lutris kenyoni*
 ミナミアフリカオットセイ *Arctocephalus pusillus pusillus*
 トド *Eumetopias jubatus*
 オタリア *Otaria byronia*
 カリフォルニアアシカ *Zalophus californianus*
 タイヘイヨウセイウチ *Odobenus rosmarus divergens*
 ハイロアザラシ *Halichoerus grypus*
 ゴマフアザラシ *Phoca largha*
 バイカルアザラシ *Pusa sibirica*
 スナドリネコ *Prionailurus viverrinus*

◆鳥類 16種

アイガモ *Anas platyrhynchos var.domesticus*
 オシドリ *Aix galericulata*
 カルガモ *Anas zonorhyncha*
 キングロハジロ *Aythya fuligula*
 コシグロペリカン *Pelecanus conspicillatus*
 コシベニペリカン *Pelecanus rufescens*
 ショウジョウトキ *Eudocimus ruber*
 チョウゲンボウ *Falco tinnunculus*
 フンボルトペンギン *Spheniscus humboldti*
 ペキンアヒル *Anas platyrhynchos var.domesticus*
 ベニロフラミンゴ *Phoenicopterus ruber*
 モモアカノスリ *Parabuteo unicinctus*
 モモイロペリカン *Pelecanus onocrotalus*
 ユーラシアワシミズク *Bubo bubo*
 ヨーロッパフラミンゴ *Phoenicopterus roseus*
 ルリコンゴウインコ *Ara ararauna*

◆爬虫類 58種

アオウミガメ *Chelonia mydas*
 アオカナヘビ *Takydromus smaragdinus*
 アカアシガメ *Chelonoidis carbonarius*
 アミメミズベトカゲ *Amphiglossus reticulatus*
 アルダブラゾウガメ *Aldabrachelys gigantea*
 アンボイナホカケトカゲ *Hydrosaurus amboinensis*
 イタリアファイアサラマンダー *Salamandra salamandra*
 インドホシガメ *Geochelone elegans*
 エボシカメレオン *Chamaeleo calyptratus*

オオミズヘビ *Subessor bocourti*
 オオヤマガメ *Heosemys grandis*
 カミツキガメ *Chelydra serpentina*
 キタインドハコスッポン *Lissemys punctata andersoni*
 クサイシガメ *Mauremys reevesii* × *Mauremys japonica*
 グリーンイグアナ *Iguana iguana*
 クロハラモエギハコガメ *Cuora galbinifrons galbinifrons*
 ケヅメリクガメ *Centrochelys sulcata*
 ジーベンロックナガクビガメ *Chelodina siebenrocki*
 ジェフロアカエルガメ *Phrynops geoffroanus*
 ジャノメイシガメ *Sacalia bealei*
 ジャワハコガメ *Cuora amboinensis couro*
 スジミズヘビ *Enhydris enhydris*
 スッポンモドキ *Carettochelys insculpta*
 スペングラーヤマガメ *Geoemyda spengleri*
 セマルハコガメ *Cuora flavomarginata*
 タイマイ *Eretmochelys imbricata*
 トウブハコガメ *Terrapene carolina carolina*
 トッケイヤモリ *Gekko gekko*
 ナスタカエルガメ *Mesoclemmys nasuta*
 ニシキマゲクビガメ *Emydura subglobosa*
 ニホンイシガメ *Mauremys japonica*
 ニューギニアカブトガメ *Elseya novaeguineae*
 ハナガメ *Mauremys sinensis*
 ヒジリガメ *Heosemys annandalei*
 ヒョウモンガメ *Stigmochelys pardalis*
 ヒョウモントカゲモドキ *Eublepharis macularius*
 ヒラリーカエルガメ *Phrynops hilarii*
 ヒロクチミズヘビ *Homalopsis buccata*
 フタユビアンフューマ *Amphiuma means*
 フトアゴヒゲトカゲ *Pogona vitticeps*
 フトヒゲカメレオンモドキ *Chamaeleolis barbatus*
 ベンガルオオトカゲ *Varanus bengalensis*
 ボールパイソン *Python regius*
 ボルネオカワガメ *Orlitia borneensis*
 マコードナガクビガメ *Chelodina mccordi*
 マタマタ *Chelus fimbriata*
 マレーハコガメ *Cuora amboinensis*
 マレーミナミ *Cuora amboinensis* × *Mauremys mutica mutica*
 ミシシippアカミミガメ *Trachemys scripta elegans*
 ミシシippワニ *Alligator mississippiensis*
 ミツユビハコガメ *Terrapene carolina triunguis*
 ミドリニシキヘビ *Morelia viridis*
 ミナマイシガメ *Mauremys mutica mutica*
 モンキヨコクビガメ *Podocnemis unifilis*
 ヤエヤマミナマイシガメ *Mauremys mutica kami*
 ヨーロッパヌマガメ *Emys orbicularis*
 ヨツメイシガメ *Sacalia quadriocellata*
 ワニガメ *Macrochelys temminckii*

◆両生類 36種

アカハライモリ *Cynops pyrrhogaster*
アカメアマガエル *Agalychnis callidryas*
アフリカウシガエル *Pyxicephalus adspersus*
アマガエル科の一種 *Scinax fuscovaria*
イエアメガエル *Litoria caerulea*
イヌガエル *Hylarana guentheri*
ウシガエル *Lithobates catesbeianus*
オオサンショウウオ *Andrias japonicus*
オオヒキガエル *Bufo marinus*
キオビヤドクガエル *Dendrobates leucomelas*
キノボリスキアシヒメ *Scaphiophryne boribory*
キャハンヒキガエル *Rhinella schneideri*
クツワアメガエル *Litoria infrafrenata*
コープネコゴエガエル *Physalaemus biligonigerus*
コバルトヤドクガエル *Dendrobates tinctorius*
コロラドリバーヒキガエル *Incilius alvarius*
サビトマトガエル *Dyscophus guineti*
ソロモンコノハガエル *Ceratobatrachus guentheri*
ダルマガエル *Pelophylax porosus*
デニスアオガエル *Rhacophorus dennysi*
トノサマガエル *Rana nigromaculata*
ナンベイウシガエル *Leptodactylus pentadactylus*
ニホンアマガエル *Hyla japonica*
ニホンヒキガエル *Bufo japonicus japonicus*
ネコガエル *Physalaemus albonotatus*
ネットイツメガエル *Xenopus tropicalis*
ピーターツメガエル *Xenopus petersii*
ヒラタピパ *Pipa pipa*
フタイロネコメアマガエル *Phyllomedusa bicolor*
ベルツノガエル *Ceratophrys ornata*
マダラヤドクガエル *Dendrobates auratus*
マルメタピオカガエル *Lepidobatrachus laevis*
ミイロヤドクガエル *Epipedobates tricolor*
ミナミガエル科の一種 *Leptodactylus* sp.
ミヤコヒキガエル *Bufo gargarizans miyakonis*
メキシコサラマンダー *Ambystoma mexicanum*

◆淡水魚類 133種

アーチャーフィッシュ(セブンスポット) *Toxotes chatareus*
アイスポット・シクリッド *Cichla ocellaris*
アカヒレ *Tanichthys albonubes*
アジアアロワナ *Scleropages formosus*
アブラハヤ *Phoxinus lagowskii steindachneri*
アブラボテ *Tanakia limbata*
アベニーパファー *Carinotetraodon travancoricus*
アマゴ *Oncorhynchus masou ishikawae*
アユモドキ *Parabotia curtus*
アリゲーターガー *Atractosteus spatula*
アルジーター *Gyrinocheilus aymonieri*
イチモンジタナゴ *Acheilognathus cyanostigma*
ウグイ *Tribolodon hakonensis*
ウシモツゴ *Pseudorasbora pugnax*
ウッドキャット *Trachelyopterus fisheri*

ウロハゼ *Glossogobius olivaceus*
エンペラーテトラ *Nematobrycon palmeri*
オイカワ *Opsariichthys platypus*
オオクチバス *Micropterus salmoides*
オーストラリアハイギョ *Neoceratodus forsteri*
オーストラリアンレインボー *Melanotaenia nigrans*
オキシドラス *Pseudodoras niger*
オスカー(アストロノータス・オセレータス) *Astronotus ocellatus*
オスフロネームスグーラミー *Osphronemus goramy*
オトシングル *Otocinclus vittatus*
オヤニラミ *Coreoperca kawamebari*
オランダシシガシラ *Carassius auratus auratus*
カーディナルテトラ *Paracheirodon axelrodi*
カイヤン *Pangasianodon hypophthalmus*
カネヒラ *Acheilognathus rhombus*
カマツカ *Pseudogobio esocinus*
カムルチー *Channa argus*
ガラルファ *Garra rufa*
カワバタモロコ *Hemigrammocypripis neglectus*
カワヒガイ *Sarcocheilichthys variegatus variegatus*
カワムツ *Candidia temminckii*
カワヨシノボリ *Rhinogobius flumineus*
キッシンググラミー *Helostoma temminckii*
キャリコデメキン *Carassius auratus auratus*
ギンブナ *Carassius* sp.
グッピー *Poecilia reticulata*
クラウンローチ *Botia macracantha*
グラスブラッドフィン *Prionobrama filigera*
グリーンネオンテトラ *Paracheirodon simulans*
グローライトテトラ *Hemigranmus erythrozonus*
クロデメキン *Carassius auratus auratus*
ゲンゴロウブナ *Carassius cuvieri*
ゴーストフィッシュ *Apteronotus albifrons*
ゴールデンテトラ *Hemigrammus armstrongi*
コチョウザメ *Acipenser ruthenus*
コブラ・スネークヘッド *Channa marulius*
コリドラス・コンコロール *Corydoras concolor*
コリドラス・トリリネアートゥス *Corydoras trilineatus*
コリドラス・ハラルドシュルツィ *Corydoras haraldschultzi*
コロソマ *Colossoma macropomum*
サーペ *Hyphessobrycon callistus*
シマヨシノボリ *Rhinogobius nagoyae*
ジャウ *Paulicea luetkeni*
シュブンキン *Carassius auratus auratus*
ショートノーズガー *Lepisosteus platostomus*
シロチョウザメ *Acipenser transmontanus*
スカラエゼンゼル *Pterophyllum scalare*
スネークヘッド *Channa micropeltes*
スポッテッドバラムンディ *Scleropages leichardti*
スポッテッドガー *Lepisosteus oculatus*
スミウキゴリ *Gymnogobius petschiliensis*
セイブングィョ *Carassius auratus auratus*
セルフィンプレコ *Glyptoperichthys gibbiceps*
タイガープレコ *Peckoltia vittata*
タイリクバラタナゴ *Rhodeus ocellatus ocellatus*
タイワンキンギョ *Macropodus opercularis*

ダトニオプラスワン *Datnioides microlepis*
 ダトニオイデス *Datnioides pulcher*
 タモロコ *Gnathopogon elongatus elongatus*
 ダルマメダカ *Oryzias latipes*
 タンチョウ *Carassius auratus auratus*
 ツチフキ *Abbottina rivularis*
 デンキウナギ *Electrophorus electricus*
 ドジョウ *Misgurnus anguillicaudatus*
 トランスルーセントグラスキャットフィッシュ *Kryptopterus bicirrhis*
 ナノストマス・マジナタス *Nannostomus marginatus*
 ナマズ *Silurus asotus*
 ニシシマドジョウ *Cobitis* sp. BIWAE type B
 ニッコウイワナ *Salvelinus leucomaenis pluvius*
 ニューギニアダトニオイデス *Datnioides campbelli*
 ヌマチチブ *Tridentiger brevispinis*
 ヌمامツ *Candidia sieboldii*
 ノーザンバラムンディ *Scleropages jardinii*
 パーカーホー *Catlocarpio siamensis*
 バーグレイグランディー *Arius* sp.
 パーターホー *Pangasius larnaudii*
 パールム *Pangasius sanitwongsei*
 ハゲギギ *Pseudobagrus nudiceps*
 ピラニア *Pygocentrus nattereri*
 ピラルク *Arapaima gigas*
 ピンタード *Pseudoplatystoma coruscans*
 ブッシーブレコ *Ancistrus* sp.
 ブラインドケーブカラシン *Astyanax jordani*
 ブラックネオン *Hyphessobrycon herbertaxelrodi*
 ブラックファントムテトラ *Hyphessobrycon megalopterus*
 フラミンゴシクリッド *Amphiphophus citrinellus*
 プリステラ *Pristella maxillaris*
 ブルーギル *Lepomis macrochirus macrochirus*
 ブルーグラミー *Trichogaster trichopterus*
 ブルドックキャット *Trachelyichthys exilis*
 フロリダガー *Lepisosteus platyrhincus*
 ベステル *Huso huso* × *Acipenser ruthenus*
 ペンギンテトラ *Thayeria boehlkei*
 ボウズハゼ *Sicyopterus japonicus*
 ホトケドジョウ *Lefua echigonia*
 ボトルノーズフィッシュ *Mormyrus longirostris*
 ボドワード *Pterodoras granulosus*
 ポリプテルス・エンドリケリー *Polypterus endlicheri endlicheri*
 マハゼ *Acanthogobius flavimanus*
 ミナミトビハゼ *Periophthalmus argentilineatus*
 ミナミメダカ *Oryzias latipes*
 ミミズハゼ *Luciogobius guttatus*
 ムギツク *Pungtungia herzi*
 モツゴ *Pseudorasbora parva*
 ヤマメ *Oncorhynchus masou masou*
 ヤリタナゴ *Tanakia lanceolata*
 ヨシノボリ属の一種 *Rhinogobius* sp.
 ラミノーズテトラ *Hemigrammus bleheri*
 ランチュウ *Carassius auratus auratus*
 リュウキン *Carassius auratus auratus*
 レッドテールキャットフィッシュ *Phractocephalus hemiliopterus*
 レッドファントムテトラ *Hyphessobrycon sweglesi*

レッドプラティ *Xiphophorus maculatus*
 レモラキャット *Auchenipterichthys thoracatus*
 レモンテトラ *Hyphessobrycon pulchripinnis*
 ワキン *Carassius auratus auratus*
 ワラゴレーリー *Wallago leerii*
 中国産チョウザメ *Acipenser* sp.

◆海水魚類 522種

アイゴ *Siganus fuscescens*
 アイナメ *Hexagrammos otakii*
 アオハタ *Epinephelus awoara*
 アオブダイ *Scarus ovifrons*
 アカエイ *Dasyatis akajei*
 アカオビハナダイ *Pseudanthias rubrizonatus*
 アカグツ *Halieutaea stellata*
 アカハタ *Epinephelus fasciatus*
 アカハチハゼ *Valenciennea randalli*
 アカハラヤッコ *Centropyge ferrugatus*
 アカマツカサ *Myripristis berndti*
 アカメフグ *Takifugu chrysops*
 アカモンガラ *Odonus niger*
 アサヒアナハゼ *Pseudoblennius cottoides*
 アデウツボ *Gymnothorax nudivomer*
 アデヤッコ *Pomacanthus xanthometapon*
 アナハゼ *Pseudoblennius percoides*
 アブラヤッコ *Centropyge tibicen*
 アフリカンフレイムバック *Centropyge acanthops*
 アマミスズメダイ *Chromis chrysur*
 アミウツボ *Gymnothorax reticularis*
 アミメウツボ *Gymnothorax pseudothyrsoides*
 アミメチョウチョウウオ *Chaetodon xanthurus*
 アミメハギ *Rudarius ercodes*
 アミメフエダイ *Lutjanus decussatus*
 アヤコシヨウダイ *Plectorhinchus lineatus*
 アラ *Nippon spinosus*
 アレンズダムゼル *Chromis alleni*
 アンダマンフォックスフェイス *Siganus magnificus*
 イエローベリーダムゼル *Pomacentrus auriventris*
 イサキ *Parapristipoma trilineatum*
 イシガキダイ *Oplegnathus punctatus*
 イシガキフグ *Chilomycterus reticulatus*
 イシガレイ *Kareius bicoloratus*
 イシダイ *Oplegnathus fasciatus*
 イズカサゴ *Scorpaena neglecta*
 イスズミ *Kyphosus vaigiensis*
 イセゴイ *Magalops cyprinoides*
 イソカサゴ *Scorpaenodes littoralis*
 イタチウオ *Brotula multibarata*
 イッテンフエダイ *Lutjanus monostigma*
 イットウダイ *Sargocentron spinosissimum*
 イトヒキアジ *Alectis ciliaris*
 イトヒキテンジクダイ *Apogon leptacanthus*
 イトヒキベラ *Cirrhilabrus temminckii*
 イトフエフキ *Lethrinus genivittatus*
 イトベラ *Suezichthys gracilis*

イナズマヤッコ *Pomacanthus navarchus*
 イヌザメ *Chiloscyllium punctatum*
 イネゴチ *Cociella crocodila*
 イラ *Choerodon azurio*
 インディアンイエローテールエンゼルフィッシュ *Apolemichthys xanthurus*
 インディアンダッシラス *Dascyllus carneus*
 インドカエルウオ *Atrosalarias fuscus*
 インドスダレチョウ *Chaetodon ulietensis*
 ウィーディーシードラゴン *Phyllopteryx taeniolatus*
 ウケグチイトウダイ *Neoniphon sammara*
 ウスバハギ *Aluterus monoceros*
 ウスメバル *Sebastes thompsoni*
 ウチワザメ *Platyrrhina sinensis*
 ウツボ *Gymnothorax kidako*
 ウマヅラアジ *Alectis indicus*
 ウマヅラハギ *Thamnaconus modestus*
 ウミスズメ *Lactoria diaphana*
 ウミタナゴ *Ditrema temmincki temmincki*
 ウミヒゴイ *Parupeneus chrysopleuron*
 ウメイロモドキ *Caesio teres*
 エイブリータン *Acanthurus tristis*
 エイブルズエンゼルフィッシュ *Centropyge eibli*
 エイラクブカ *Hemistriakis japonica*
 エゾイソアイナメ *Physiculus maximowiczi*
 エゾメバル *Sebastes taczanowskii*
 エバンスアンティアス *Pseudanthias evansi*
 エビスダイ *Ostichthys japonicus*
 オウゴンニジギンポ *Meiacanthus atrodorsalis*
 オオカミウオ *Anarhichas orientalis*
 オオスジイシモチ *Apogon doederleini*
 オオモンハタ *Epinephelus areolatus*
 オキエソ *Trachinocephalus myops*
 オキゴンベ *Cirrhitichthys aureus*
 オキナヒメジ *Parupeneus spilurus*
 オキナメジナ *Girella mezina*
 オキノシマウツボ *Gymnothorax ypsilon*
 オキフエダイ *Lutjanus fulvus*
 オクヨウジ *Urocampus nanus*
 オジサン *Parupeneus multifasciatus*
 オトメベラ *Thalassoma lunare*
 オニオコゼ *Inimicus japonicus*
 オニカサゴ *Scorpaenopsis cirrhosa*
 オニダルマオコゼ *Synanceia verrucosa*
 オハグロベラ *Pteragogus flagellifer*
 オヤビツチャ *Abudefduf vaigiensis*
 ガーディナーズバタフライフィッシュ *Chaetodon melapterus*
 カイワリ *Kaiwarinus equula*
 カエルアンコウ *Antennarius striatus*
 カクレクマノミ *Amphiprion ocellaris*
 カゴカキダイ *Microcanthus strigatus*
 カサゴ *Sebastes marmoratus*
 カザリキュウセン *Halichoeres melanurus*
 カスザメ *Squatina japonica*
 カスミアジ *Caranx melampygus*
 カスミチョウチョウウオ *Hemitaurichthys polylepis*
 カスミフグ *Arothron immaculatus*
 カニハゼ *Signigobius biocellatus*
 カミナリベラ *Stethojulis interrupta terina*
 カワハギ *Stephanolepis cirrhifer*
 カンパチ *Seriola dumerili*
 カンムリベラ *Coris aygula*
 キイロハギ *Zebrosoma flavescens*
 キジハタ *Epinephelus akaara*
 キダイ *Dentex tumifrons*
 キタマクラ *Canthigaster rivulata*
 キチヌ *Acanthopagrus latus*
 ギチベラ *Epibulus insidiator*
 キヌカジカ *Furcina osimae*
 キヌバリ *Pterogobius elapoides*
 キホウボウ *Peristedion orientale*
 ギマ *Triacanthus biaculeatus*
 キュウセン *Halichoeres poecilopterus*
 ギンガメアジ *Caranx sexfasciatus*
 キンギョハナダイ *Pseudanthias squamipinnis*
 キンチャクダイ *Chaetodontoplus septentrionalis*
 キントキダイ *Priacanthus macracanthus*
 ギンユゴイ *Kuhlia mugil*
 クィーンエンゼルフィッシュ *Holacanthus ciliaris*
 クエ *Epinephelus bruneus*
 クギベラ *Gomphosus varius*
 クサフグ *Takifugu niphobles*
 クジメ *Hexagrammos agrammus*
 クマザサハナムロ *Pterocaesio tile*
 クマノミ *Amphiprion clarkii*
 クラカオスズメダイ *Amblyglyphidodon curacao*
 クラカケエビス *Sargocentron caudimaculatum*
 クラカケトラギス *Parapercis sexfasciata*
 クロイシモチ *Apogon niger*
 クロオビエビス *Sargocentron praslin*
 クログチニザ *Acanthurus pyroferus*
 クロコバン *Remora brachyptera*
 クロソイ *Sebastes schlegeli*
 クロダイ *Acanthopagrus schlegeli*
 クロヌタウナギ *Paramyxine atami*
 クロハギ *Acanthurus xanthopterus*
 クロヘリイトヒキベラ *Cirrhilabrus cyanopleura*
 クロホシイシモチ *Apogon notatus*
 クロホシフエダイ *Lutjanus russellii*
 クロメバル *Sebastes ventricosus*
 クロモンツキハギ *Acanthurus nigricaudus*
 クロユリハゼ *Ptereleotris evides*
 ケラマハナダイ *Pseudanthias hypselosoma*
 ゲンロクダイ *Chaetodon modestus*
 コウベダルマガレイ *Crossorhombus kobensis*
 コウライトラギス *Parapercis snyderi*
 コーレタン (キンリンサザナミハギ) *Ctenochaetus strigosus*
 コガシラベラ *Thalassoma amblycephalum*
 コガネキュウセン *Halichoeres chrysus*
 コガネシマアジ *Gnathanodon speciosus*
 コガネヤッコ *Centropyge flavissimus*
 コクチフサカサゴ *Scorpaena miostoma*
 コクテンサザナミハギ *Ctenochaetus binotatus*

コケウツボ *Enchelycore lichenosa*
 コシヨウダイ *Plectorhinchus cinctus*
 コスジイシモチ *Apogon endekataenia*
 コトヒキ *Terapon jarbua*
 コバンアジ *Trachinotus bailloni*
 コバンザメ *Echeneis naucrates*
 コブダイ *Semicossyphus reticulatus*
 ゴマアイゴ *Siganus guttatus*
 ゴマハギ *Zebrasoma scopas*
 コモンカスベ *Raja kenoei*
 コモンフグ *Takifugu poecilonotus*
 コロダイ *Diagramma pictum*
 コンゴウフグ *Lactoria cornuta*
 ゴンズイ *Plotosus japonicus*
 コンペイトウ *Eumicrotremus birulai*
 サカタザメ *Rhinobatos schlegelii*
 サギフエ *Macroramphosus scolopax*
 サクラダイ *Sacura margaritacea*
 サザナミトサカハギ *Naso vlamingii*
 サザナミハギ *Ctenochaetus striatus*
 サザナミフグ *Arothron hispidus*
 サザナミヤッコ *Pomacanthus semicirculatus*
 ササムロ *Caesio caerulea*
 サツキハゼ *Parioglossus dotui*
 サツマカサゴ *Scorpaenopsis neglecta*
 サドルバックバタフライフィッシュ *Chaetodon falcula*
 サビウツボ *Gymnothorax thyrsoideus*
 サビハゼ *Sagamia geneionema*
 サラサゴンベ *Cirrhitichthys falco*
 サンゴアイゴ *Siganus coralinus*
 シイラ *Coryphaena hippurus*
 シチセンチョウチョウウオ *Chaetodon punctatofasciatus*
 シビレエイ *Narke japonica*
 シマアジ *Pseudocaranx dentex*
 シマイサキ *Rhyncopelates oxyrhynchus*
 シマウシノシタ *Zebrias zebra*
 シマキンチャクフグ *Canthigaster valentini*
 シマスズメダイ *Abudefduf sordidus*
 シマハギ *Acanthurus triostegus*
 シマフグ *Takifugu xanthopterus*
 ショウサイフグ *Takifugu snyderi*
 シリキルリスズメダイ *Chrysiptera parasema*
 シロブチハタ *Epinephelus maculatus*
 シロメバル *Sebastes cheni*
 シロワニ *Carcharias taurus*
 シンジュアナゴ属の一種 *Gorgasia maculata*
 スイ *Vellitor centropomus*
 スギ *Rachycentron canadum*
 スクリブルドアンティアス *Pseudanthias bimaculatus*
 スジハナダイ *Pseudanthias fasciatus*
 スジベラ *Coris dorsomacula*
 スズキ *Lateolabrax japonicus*
 スズメダイ *Chromis notata notata*
 スダレチョウチョウウオ *Chaetodon ulietensis*
 スパインチークアネモネフィッシュ(シロミスジ) *Premnas biaculeatus*
 スプリンガーズダムゼル *Chrysiptera springeri*
 スミツキカノコ *Sargocentron melanospilos*
 スミレナガハナダイ *Pseudanthias pleurotaenia*
 スレッドフィンアティアス *Nemanthias carberryi*
 セグロチョウチョウウオ *Chaetodon ephippium*
 セダカスズメダイ *Stegastes altus*
 セダカヤッコ *Pomacanthus maculosus*
 セナスジベラ *Thalassoma hardwickii*
 セバーンズラス *Pseudojuloides severnsi*
 ゼブラハゼ *Ptereleotris zebra*
 セミホウボウ *Dactyloptena orientalis*
 ソウシハギ *Aluterus scriptus*
 ソメワケヤッコ *Centropyge bicolor*
 ソラスズメダイ *Pomacentrus coelestis*
 ダイナンウミヘビ *Ophisurus macrorhynchus*
 ダイナンギンボ *Dictysoma burgeri*
 タイリクスズキ *Lateolabrax sp.*
 タカクラタツ *Hippocampus trimaculatus*
 タカサゴ *Pterocaesio digramma*
 タカノハダイ *Goniistius zonatus*
 タケノコメバル *Sebastes oblongus*
 タツノオトシゴ *Hippocampus coronatus*
 タテジマヤッコ *Genicanthus lamarck*
 タマガシラ *Parascloopsis inermis*
 ダンゴウオ *Lethotremus awae*
 チカメキントキ *Cookeolus japonicus*
 チダイ *Eyynnus japonica*
 チョウチョウウオ *Chaetodon auripes*
 チョウチョウコシヨウダイ *Plectorhinchus chaetodonoides*
 チョウハン *Chaetodon lunula*
 チリメンヤッコ *Chaetodontoplus mesoleucus*
 チンアナゴ *Heteroconger hassi*
 ツチホゼリ *Epinephelus cyanopodus*
 ツノダシ *Zanclus canescens*
 ツバクロエイ *Gymnura japonica*
 ツバメウオ *Platax teira*
 ツボダイ *Pentaceros japonicus*
 ツマリテングハギ *Naso brevirostris*
 ツムブリ *Elagatis bipinnulata*
 ツユベラ *Coris gaimard*
 デバスズメダイ *Chromis viridis*
 テングハギ *Naso unicornis*
 テングハギモドキ *Naso hexacanthus*
 テンス *Xyrichtys dea*
 トカラベラ *Halichoeres hortulanus*
 トゲカナガシラ *Lepidotrigla japonica*
 トゲチョウチョウウオ *Chaetodon auriga*
 トゴットメバル *Sebastes joyneri*
 トサカハギ *Naso tuberosus*
 ドチザメ *Triakis scyllium*
 トノサマダイ *Chaetodon speculum*
 トミニサージョンフィッシュ *Ctenochaetus tominiensis*
 トラウツボ *Muraena pardalis*
 トラギス *Parapercis pulchella*
 トラザメ *Scyliorhinus torazame*
 トラフグ *Takifugu rubripes*
 ナガサキスズメダイ *Pomacentrus nagasakiensis*

ナガニザ *Acanthurus nigrofuscus*
 ナヌカザメ *Cephaloscyllium isabellum*
 ナミダクロハギ *Acanthurus japonicus*
 ナメダンゴ *Eumicrotremus taranetzi*
 ナメラヤッコ *Centropyge vroliki*
 ナンヨウツバメウオ *Platax orbicularis*
 ナンヨウハギ *Paracanthurus hepatus*
 ニザダイ *Prionurus scalprum*
 ニジエビス *Sargocentron diadema*
 ニシキアナゴ *Gorgasia preclara*
 ニシキカワハギ *Pervagor janthinosoma*
 ニシキテグリ *Pterosynchirpus splendidus*
 ニシキハゼ *Pterogobius virgo*
 ニシキベラ *Thalassoma cupido*
 ニシキヤッコ *Pygoplites diacanthus*
 ニジハギ *Acanthurus lineatus*
 ニセカンランハギ *Acanthurus dussumieri*
 ニセクラカオスズメダイ *Amblyglyphidodon ternatensis*
 ニセクロホシフエダイ *Lutjanus fulviflamma*
 ニセゴイシウツボ *Gymnothorax melanospilus*
 ヌタウナギ *Eptatretus burgeri*
 ネコザメ *Heterodontus japonicus*
 ネットアイスズメダイ *Pomacentrus moluccensis*
 ネンブツダイ *Apogon semilineatus*
 ノコギリダイ *Gnathodentex aureolineatus*
 パープルクイーン *Pseudanthias tuka*
 パープルタン *Zebrasoma xanthurum*
 バイカラードティーバック *Pseudochromis paccagnellae*
 パウダーブルータンク *Acanthurus leucosternon*
 ハオコゼ *Hypodytes rubripinnis*
 ハコフグ *Ostracion immaculatus*
 ハシキンメ *Gephyroberyx japonicus*
 ハタタテダイ *Heniochus acuminatus*
 ハナアイゴ *Siganus argenteus*
 ハナオコゼ *Histrio histrio*
 ハナゴンベ *Serranocirrhites latus*
 ハナビラクマノミ *Amphiprion perideraion*
 ババガレイ *Microstomus achne*
 ハマフエフキ *Lethrinus nebulosus*
 ハモ *Muraenesox cinereus*
 バラフエダイ *Lutjanus bohar*
 ハリセンボン *Diodon holocanthus*
 ハワイウツボ *Gymnothorax berndti*
 ヒガンフグ *Takifugu pardalis*
 ヒゲソリダイ *Hapalogenys nitens*
 ヒゲダイ *Hapalogenys nigripinnis*
 ヒゲツノザメ *Cirrhitaleus barbifer*
 ヒゲハギ *Chaetodermis penicilligera*
 ヒフキアイゴ *Siganus unimaculatus*
 ヒブダイ *Scarus ghobban*
 ヒメ *Aulopus japonicus*
 ヒメアイゴ *Siganus virgatus*
 ヒメオコゼ *Minous monodactylus*
 ヒメジ *Upeneus japonicus*
 ヒメツバメウオ *Monodactylus argenteus*
 ヒメテングハギ *Naso annulatus*
 ヒメフエダイ *Lutjanus gibbus*
 ヒラスズキ *Lateolabrax latus*
 ヒラタエイ *Urolophus aurantiacus*
 ヒラニザ *Acanthurus mata*
 ヒラマサ *Seriola lalandi*
 ヒラメ *Paralichthys olivaceus*
 ヒレグロコシヨウダイ *Plectorhinchus lessonii*
 ヒレナガスズメダイ *Neoglyphidodon nigroris*
 ヒレナガハギ *Zebrasoma veliferum*
 フウセンウオ *Eumicrotremus pacificus*
 フウライチョウチョウウオ *Chaetodon vagabundus*
 フエダイ *Lutjanus stellatus*
 フエフキダイ *Lethrinus haematopterus*
 フエヤッコダイ *Forcipiger flavissimus*
 フォックスフェイスラビットフィッシュ *Siganus vulpinus*
 フサカサゴ *Scorpaena onaria*
 フサギンポ *Chirolophis japonicus*
 ブダイ *Calotomus japonicus*
 フタイロカエルウオ *Ecsenius bicolor*
 フタイロハナゴイ *Pseudanthias bicolor*
 フタホシキツネベラ *Bodianus bimaculatus*
 ブチアイゴ *Siganus punctatus*
 フチドリハナダイ *Pseudanthias randalli*
 プテラポゴン・カウデルニイ *Pterapogon kauderni*
 ブリ *Seriola quinqueradiata*
 フレームエンゼルフィッシュ *Centropyge loriculus*
 フレンチエンゼルフィッシュ *Pomacanthus paru*
 ヘコアユ *Aeoliscus strigatus*
 ヘダイ *Sparus sarba*
 ベニカエルアンコウ *Antennarius nummifer*
 ベニゴンベ *Neocirrhites armatus*
 ヘラルドコガネヤッコ *Centropyge heraldi*
 ヘリシロウツボ *Gymnothorax albimarginatus*
 ペルクラウンアネモネフィッシュ *Amphiprion percula*
 ホウキハタ *Epinephelus morrhua*
 ボウズカジカ *Ebinania brephocephala*
 ホウボウ *Chelidonichthys spinosus*
 ホウライヒメジ *Parupeneus ciliatus*
 ホシガレイ *Verasper variegatus*
 ホシササノハベラ *Pseudolabrus sieboldi*
 ホソスジマンジュウイシモチ *Sphaeramia orbicularis*
 ホタテウミヘビ *Pisodonophis zophistius*
 ホッケ *Pleurogrammus azonus*
 ポットベリーシーホース *Hippocampus abdominalis*
 ホテイウオ *Aptocyclus ventricosus*
 ボラ *Mugil cephalus cephalus*
 ホワイトダムゼル *Dischistodus perspicillatus*
 ホンソメワケベラ *Labroides dimidiatus*
 ホンベラ *Halichoeres tenuispinnis*
 マアジ *Trachurus japonicus*
 マアナゴ *Conger myriaster*
 マコガレイ *Pleuronectes yokohamae*
 マゴチ *Platycephalus sp.2*
 マジリアイゴ *Siganus puellus*
 マダイ *Pagrus major*
 マツカサウオ *Monocentris japonica*

マツカワ *Verasper moseri*
 マハタ *Epinephelus septemfasciatus*
 マルコバン *Trachinotus blochii*
 マルシアズアンティアス *Pseudanthias marcia*
 マンジュウイシモチ *Sphaeramia nematoptera*
 ミスジリュウキュウスズメダイ *Dascyllus aruanus*
 ミゾレウツボ *Gymnothorax neglectus*
 ミゾレチョウチョウウオ *Chaetodon kleinii*
 ミツボシクロスズメダイ *Dascyllus trimaculatus*
 ミナミゴンベ *Cirrhitichthys aprinus*
 ミノカサゴ *Pterois lunulata*
 ミヤコテングハギ *Naso lituratus*
 ムーンライター *Tilodon sexfasciatum*
 ムシガレイ *Eopsetta grigorjewi*
 ムシフグ *Takifugu exascurus*
 ムスジコショウダイ *Plectorhinchus orientalis*
 ムスメベラ *Coris picta*
 ムネアカクチビ *Lethrinus xanthochilus*
 ムラサキヌタウナギ *Eptatretus okinoseanus*
 ムラソイ *Sebastes pachycephalus pachycephalus*
 ムレハタタテダイ *Heniochus diphreutes*
 ムロランギンポ *Pholidapus dybowskii*
 メイタガレイ *Pleuronichthys cornutus*
 メイチダイ *Gymnocranius griseus*
 メガネクロハギ *Acanthurus nigricans*
 メガネゴンベ *Paracirrhites arcatus*
 メガネモチノウオ *Cheilinus undulatus*
 メゴチ *Suggrundus meerdervoortii*
 メジナ *Girella punctata*
 メラネシアンアンシアス *Pseudanthias huchtii*
 モバウツボ *Gymnothorax richardsonii*
 モヨウフグ *Arothron stellatus*
 モンガラドウシ *Ophichthus erabo*
 モンツキハギ *Acanthurus olivaceus*
 モンツキベラ *Bodianus diana*
 ヤエヤマギンポ *Salarias fasciatus*
 ヤギシリカジカ *Eurymen gyrinus*
 ヤシャベラ *Cheilinus fasciatus*
 ヤセオコゼ *Minous pusillus*
 ヤマブキスズメダイ *Amblyglyphidodon aureus*
 ヤマブキベラ *Thalassoma lutescens*
 ヤンセンニシキベラ *Thalassoma janseni*
 ユメウメイロ *Caesio cuning*
 ユメカサゴ *Helicolenus hilgendorfi*
 ユリウツボ *Gymnothorax leucostigma*
 ヨウジウオ *Syngnathus schlegeli*
 ヨコスジイシモチ *Apogon cathetogramma*
 ヨコスジカジカ *Hemilepidotus gilberti*
 ヨコスジフエダイ *Lutjanus ophuysenii*
 ヨスジフエダイ *Lutjanus kasmira*
 ヨスジリュウキュウスズメダイ *Dascyllus melanurus*
 ヨソギ *Paramonacanthus japonicus*
 ヨメヒメジ *Upeneus tragula*
 ヨロイメバル *Sebastes hubbsi*
 ラクダハコフグ *Tetrosomus gibbosus*
 ルリスズメダイ *Chrysiptera cyanea*
 レスブレンデントアンティアス *Pseudanthias pulcherrimus*
 レモンズメダイ *Chrysiptera rex*
 レモンチョウチョウウオ *Chaetodon semeion*
 ロイヤルダムゼル *Chrysiptera hemicyanea*
 ロクセンスズメダイ *Abudefduf sexfasciatus*
 ロクセンヤッコ *Pomacanthus sexstriatus*
 ワカウツボ *Gymnothorax eurostus*
 ワヌケヤッコ *Pomacanthus annularis*
 アイブリ *Seriolina nigrofasciata*
 アオサハギ *Brachaluteres ulvarum*
 アオミシマ *Xenocephalus elongatus*
 アカイサキ *Caprodon schlegelii*
 アカエソ *Synodus ulae*
 アカササノハベラ *Pseudolabrus eoethinus*
 アカヒメジ *Mulloidichthys vanicolensis*
 アケボノチョウチョウウオ *Chaetodon melannotus*
 アミチョウチョウウオ *Chaetodon rafflesi*
 アミモンガラ *Canthidermis maculata*
 イシダイ×イシガキダイ *Oplegnathus fasciatus* × *Oplegnathus punctatus*
 イソスズメダイ *Abudefduf notatus*
 イタチザメ *Galeocerdo cuvier*
 イッセンタカサゴ *Pterocaesio trilineata*
 イヤゴハタ *Epinephelus poecilonotus*
 ウミテング *Eurypegus draconis*
 オオクチイシナギ *Stereolepis doederleini*
 オビアナハゼ *Pseudoblennius zonostigma*
 キスジヒメジ *Upeneus moluccensis*
 キハツソク *Diploprion bifasciatum*
 グルクマ *Rastrelliger kanagurta*
 ケムシカジカ *Hemitripterus villosus*
 ゲンコ *Cynoglossus interruptus*
 コウリンハナダイ *Pseudanthias parvirostris*
 コクテンフグ *Arothron nigropunctatus*
 ゴマヒレキントキ *Heteropriacanthus cruentatus*
 ゴマフグ *Takifugu stictonotus*
 ザラガレイ *Chascanopsetta lugubris*
 シマウミスズメ *Lactoria fornasini*
 シマゾイ *Sebastes trivittatus*
 シマヒメヤマノカミ *Dendrochirus brachypterus*
 シラコダイ *Chaetodon nippon*
 シロコバン *Remora albescens*
 ソウシカエルアンコウ *Antennarius scriptissimus*
 アカボシハナゴイ *Pseudanthias lori*
 タカサゴヒメジ *Parupeneus heptacanthus*
 タチウオ *Trichiurus japonicus*
 ダルマオコゼ *Erosa erosa*
 ツキチョウチョウウオ *Chaetodon wiebeli*
 テンジクガレイ *Pseudorhombus arsius*
 テンジクスズメダイ *Abudefduf bengalensis*
 ナミマツカサ *Myripristis kochiensis*
 ニジギンポ *Petroscirtes breviceps*
 ニシン *Clupea pallasii*
 ニセタカサゴ *Pterocaesio marri*
 ニホンウナギ *Anguilla japonica*
 ヌノサラシ *Grammistes sexlineatus*
 ヌメリゴチ *Repomucenus lunatus*

ノコギリザメ *Pristiophorus japonicus*
 バーゲスバタフライフィッシュ *Chaetodon burgessi*
 パーブルダン *Zebrasoma xanthurus*
 ハナアナゴ *Ariosoma anago*
 ハナキンチャクフグ *Canthigaster axiologa*
 ハナアイゴ *Siganus argenteus*
 ハナタツ *Hippocampus sindonis*
 ハナミノカサゴ *Pterois volitans*
 ヒメキンチャクフグ *Canthigaster compressa*
 フリソデウオ *Desmodema polystictum*
 ベニカワムキ *Triacanthodes anomalus*
 ベニハナダイ *Pseudanthias* sp.
 ホシハゼ *Asteropteryx semipunctata*
 ホソフジクジラ *Etmopterus brachyurus*
 マルアジ *Decapterus maruadsi*
 ミナミハコフグ *Ostracion cubicus*
 メガネウマツラハギ *Cantherhines fronticinctus*
 ヤスジチョウチョウウオ *Chaetodon octofasciatus*
 ヤマトシビレエイ *Torpedo tokionis*
 ヤライシモチ *Cheilodipterus quinquelineatus*
 ユウダチタカノハ *Goniistius quadricornis*
 ルソンハナダイ *Pseudanthias luzonensis*
 ルリハタ *Aulacocephalus temmincki*
 イロカエルアンコウ *Antennarius pictus*
 ネズミフグ *Diodon hystrix*
 ハチビキ *Erythrocles schlegelii*
 ホソフサアンコウ *Chaunax fimbriatus*

◆腔腸動物 188種

アカウミサボテン属の一種 *Veretillum* sp.
 アカクラゲ *Chrysaora pacifica*
 アカヤギ *Echinogorgia rigida*
 アカヤギ属の一種 *Echinogorgia* sp.
 アサガオサンゴ *Desmophyllum* sp.
 アザミサンゴ *Galaxea facicularis*
 アザミヤギ属の一種 *Echinomuricea* sp.
 イソギンチャクモドキ属の一種 *Discosoma* sp.
 イソバナ *Melithaea flabellifera*
 イタアナサンゴモドキ *Millepora platyphylla*
 イボハタゴイソギンチャク *Stichodactyla haddoni*
 イボヤギ *Tubastraea coccinea*
 ウスエダミドリイシ *Acropora tenuis*
 ウスチャクメイシ *Favia pallida*
 ウネコモンサンゴ *Montipora undata*
 ウミイチョ *Eleutherobia rubra*
 ウミウチワ *Anthogorgia bocki*
 ウミエラ *Leioptilus fimbriatus*
 ウミエラヒドラ科の一種 *Ptilocodiidae* sp.
 ウミカラマツ *Myriopathes japonica*
 ウミキノコ *Sarcophyton acutangulum*
 ウミサボテン *Cavernularia obesa*
 ウミバラ *Physophyllia ayleni*
 ウミヒバ *Callogorgia flabellum*
 ウモレイソギンチャクモドキ *Discosoma inchoata*
 ウリクラゲ *Beroe cucumis*

ウルトラキクメイシ *Dipsastraea maxima*
 エダイソハナビ *Acabaria ramulosa*
 エダイボサンゴ *Hydnophora rigida*
 エダイボヤギ *Tubastraea robusta*
 エダクダクラゲ *Proboscicactylia flavicirrata*
 エダコモンサンゴ *Montipora digitata*
 エダムチャギ *Ellisella plexauroides*
 エナガトサカ *Pacifiphyton* sp.
 エンタクミドリイシ *Acropora solitaryensis*
 オウギウミヒドラ *Solanderia secunda*
 オウギフトヤギ *Euplexaura erecta*
 オウギヤギ *Verrucella umbella*
 オオイボヤギ *Dendrophyllia coccinea*
 オオエダキサンゴ *Cotostylus mosaicus*
 オオカメノコキクメイシ *Favites flexuosa*
 オオカワリギンチャク *Halcurias levis*
 オオスリパチサンゴ *Turbinaria peltata*
 オオタバサンゴ *Blastomussa wellsi*
 オオナガレハナサンゴ *Catalaphyllia jardinei*
 オオハナガタサンゴ *Lobophyllia hemprichii*
 オオハナサンゴ *Physogyra lichtensteini*
 オオバナトゲナシヤギ *Acalycigorgia grandiflora*
 オトメミドリイシ *Acropora pulchra*
 オノミチキサンゴ *Dendrophyllia cribrata*
 カギノテクラゲ *Gonionemus vertens*
 カクオオトゲキクメイシ *Acanthastrea lordhowensis*
 カニハサミイソギンチャク *Bunodeopsis prehensa*
 カブトクラゲ *Bolinopsis mikado*
 カメノコキクメイシ *Favites abdita*
 カラージェリー *Catostylus mosaicus*
 カワリギンチャク *Halcurias carlgreni*
 カンムリハナサンゴ *Euphyllia cristata*
 キイロトゲトサカ *Dendronephthya aurea*
 キクメイシ属の一種 *Favia* sp.
 キクメマメスナギンチャク *Zoanthus sansibaricus*
 キサンゴ *Dendrophyllia ijimai*
 キサンゴ属の一種 *Dendrophyllia ehrenbergiana*
 キッカサンゴ *Echinophyllia aspera*
 キノコセトモノイソギンチャク *Actinostola callosa*
 キバナアカヤギ *Echinogorgia regularis*
 ギヤマンクラゲ *Tima formosa*
 ギンカクラゲ *Porpita porpita*
 キンシサンゴ *Flabellum deludens*
 クサビライシ属の一種 *Fungia* sp.
 コエダミドリイシ *Acropora microphthalma*
 コクボミコモンサンゴ *Montipora caliculata*
 コハナガタサンゴ *Cynarina lacrymalis*
 コマイハナゴケ *Cervera komaii*
 コマルキクメイシ *Plesiastrea versipora*
 コモンキクメイシ *Goniastrea retiformis*
 コモンサンゴ属の一種 *Montipora samarensis*
 コモンサンゴ属の一種 *Montipora* sp.
 コンボウイソギンチャク科の一種 *Haloclavidae* sp.
 サカサクラゲ *Cassiopea ornata*
 サカズキウミキノコ *Sarcophyton cinereum*
 サクラチヂミトサカ *Nephtea albida*

サボテンミドリイシ *Acropora florida*
 サンゴイソギンチャク *Entacmaea actinostoloides*
 シコロサンゴ *Pavona decussata*
 シタザラクサビライシ *Fungia fungites*
 シモフリカメノコキクメイシ *Favites russelli*
 ジュウジキサンゴ *Dendrophyllia arbuscula*
 シロクダサンゴ *Goniocorella dumosa*
 シロクラゲ *Eutonina indicans*
 シロバナトゲナシヤギ *Acalycigorgia radians*
 スギノキミドリイシ *Acropora formosa*
 スジチヂミトサカ *Nephthea striata*
 スズナリイソギンチャク *Mesactinia ganensis*
 スリバチサンゴ *Turbinaria mesenterina*
 センジュイソギンチャク *Radianthus ritteri*
 センナリウミヒドラ *Solanderia misakiensis*
 センナリスナギンチャク *Parazoanthus gracilis*
 ダイノウサンゴ *Symphyllia radians*
 タコクラゲ *Mastigias papua*
 タチハナガサミドリイシ *Acropora selago*
 タテジマイソギンチャク *Haliplanella lineata*
 タバネサンゴ *Caulastrea tumida*
 タマイタダキイソギンチャク *Entacmaea ramsayi*
 チヂミウスコモンサンゴ *Montipora aequituberculata*
 チヂミトサカ *Nephthea chabrolii*
 チヂミトサカ属の一種 *Nephthea* sp.
 ツクシヤギ *Acanella japonica*
 ツツハナガサミドリイシ *Acropora loripes*
 ツツユビミドリイシ *Acropora humilis*
 ツボヤギ *Calicogorgia granulosa*
 トクサモドキの仲間 *Parisipora* sp.
 トゲウミエラ *Pteroeides sparmannii*
 トゲウミエラ属の一種 *Pteroeides* sp.
 トゲキクメイシ *Cyphastrea microphthalma*
 トゲサンゴ *Seriatopora hystrix*
 トゲスギミドリイシ *Acropora nobilis*
 トゲトサカ属の一種 *Dendronephthya* sp.
 トゲナシヤギ *Acalycigorgia inermis*
 ドフラインイソギンチャク *Exocoelactis actinostoloides*
 ドフラインクラゲ *Nemopsis dofleini*
 ナガレハナサンゴ *Euphyllia ancora*
 ナシジイソギンチャク *Nemanthus* sp.
 ナスビイソギンチャク *Halcampella maxima*
 ネジレタバネサンゴ *Caulastrea furcata*
 ハイマツミドリイシ *Acropora millepora*
 ハタゴイソギンチャク *Stichodactyla gigantea*
 ハナガサミドリイシ *Acropora nasuta*
 ハナガタサンゴ *Symphyllia velenciennesii*
 ハナゴケの仲間 *Cervera* sp.
 ハナサンゴ *Euphyllia glabrescens*
 ハナブサツツマルハナサンゴ *Euphyllia yaeyamaensis*
 ハナフタヤギ属の一種 *Anthomuricea* sp.
 ハナヤサイサンゴ属の一種 *Pocillopora* sp.
 ヒオウギヤギ *Verrucella umbraculum*
 ヒダベリイソギンチャク *Metridium senile*
 ヒメイソギンチャク *Anthopleura asiatica*
 ヒメイワホリイソギンチャク *Telmatactis decora*

ヒメキンカライソギンチャク *Isadamsia* sp.
 ヒメトゲキクメイシ *Cyphastrea ocellina*
 ヒメヤドカリスナギンチャク *Epizoanthus* aff. *indicus*
 ヒユサンゴ *Trachyphyllia geoffroyi*
 ヒラサンゴ *Australomussa rowleyensis*
 ビロードトゲトサカ *Dendronephthya habereri*
 フタリビワガラシ *Cyathelia axillaris*
 フトヤギ *Euplexaura crassa*
 ベニウミトサカ *Alcyonium gracillimum*
 ベニクラゲ *Turritopsis* sp.
 ベリルイソギンチャク *Anthopleura inornata*
 ベルベットサンゴ *Psammocora superficialis*
 ボシュマキサンゴ *Dendrophyllia boschmai*
 ホソウミエラ *Scytalium martensii*
 ホソエダミドリイシ *Acropora valida*
 ホソトゲナシヤギ *Acalycigorgia densiflora*
 マルカメノコキクメイシ *Favites halicora*
 マルツツハナガサミドリイシ *Acropora loripes*
 ミズクラゲ *Aurelia aurita*
 ミズタマサンゴ *Plerogyra sinuosa*
 ミドリイシ属の一種 *Acropora abrolhosensis*
 ミドリイシ属の一種 *Acropora azurea*
 ミドリイシ属の一種 *Acropora batunai*
 ミドリイシ属の一種 *Acropora caroliniana*
 ミドリイシ属の一種 *Acropora macrostoma*
 ミドリイシ属の一種 *Acropora multiacuta*
 ミドリイシ属の一種 *Acropora plana*
 ミドリイシ属の一種 *Acropora rambleri*
 ミドリイシ属の一種 *Acropora seriata*
 ミドリイシ属の一種 *Acropora stoddarti*
 ミドリイシ属の一種 *Acropora subulata*
 ミドリイシ属の一種 *Acropora suharnosoi*
 ミドリイシ属の一種 *Acropora tenuis*
 ミドリイシ属の一種 *Acropora walindii*
 ミドリイシ属の一種 *Acropora yongei*
 ミドリイシ属の一種 *Acropora* sp.
 ミナミウミサボテン *Cavernulina orientalis*
 ムギノホミドリイシ *Acropora cerealis*
 ムレフトヤギ *Euplexaura robusta*
 ヤエヤマカワラサンゴ *Podabacia crustacea*
 ヤスリキクメイシ *Favia laxa*
 ヤスリサンゴ *Coscinaraea columna*
 ヤッコミドリイシ *Acropora divaricata*
 ヤドカリスナギンチャク *Epizoanthus paguriphilus*
 ヤワタコアシカタトサカ *Sinularia mollis*
 ユビエダハマサンゴ *Porites cylindrica*
 ヨツバカワリギンチャク *Isactinernus quadrilobatus*
 リプケア属の一種 *Lipkea* sp.
 リュウキュウキッカサンゴ *Echinopora lamellosa*
 レースウミバラ *Pectinia paeonia*

◆節足動物 201種

アカイシガニ *Charybdis miles*
 アカゲカムリ *Lauridromia intermedia*
 アカザエビ *Metanephrops japonicus*

アカシマシラヒゲエビ *Lysmata amboinensis*
アカツノチュウコシオリエビ *Munida andamanica*
アカテガニ *Chiromantes haematocheir*
アカフジツボ *Megabalanus rosa*
アカボシカニダマシ *Neopetrolisthes ohshimai*
アカマンジュウガニ *Atergatis subdentatus*
アカモンオキヤドカリ *Parapagurus monstrosus*
アサヒガニ *Ranina ranina*
アシナガツノガニ *Phalangipus hystrix*
アシナガマメヘイケガニ *Geothelphusa dehaani*
アシハラガニ *Helice tridens*
アフリカミナミイセエビ *Jasus edwardsii*
アメリカカブトガニ *Limulus polyphemus*
アメリカザリガニ *Procambarus clarkii*
アメリカンロブスター *Homarus americanus*
アロークラブ *Stenorhynchus seticornis*
アワツブホンヤドカリ *Propagurus miyakei*
イジマオキヤドカリ *Sympagurus dofleini*
イガグリガニ *Paralomis hystrix*
イシダタミヤドカリ *Dardanus crassimanus*
イズヘイケガニ *Eithusa izuensis*
イセエビ *Panulirus japonicus*
イソギンチャクモエビ *Thor amboinensis*
イソクズガニ *Tiarinia cornigera*
イソスジエビ *Palaemon pacificus*
イソヘラムシ *Cleantiella isopus*
イチョウガニ *Cancer japonicus*
イバラモエビ (イバラエビ) *Lebbeus groenlandicus*
イボアシヤドカリ *Dardanus impressus*
イボイチョウガニ *Cancer gibbosulus*
イボガザミ *Portunus haani*
ウシエビ *Penaeus monodon*
ウチダザリガニ *Pacifastacus leniusculus trowbridgii*
ウチワエビ *Ibacus ciliatus*
ウミエラカニダマシ *Porcellanella triloba*
エダツノガニ *Naxioides mammillata*
エボシガイ *Lepas anatifera*
エボシガイ科の一種 *Octolasmis dawsoni*
エンコウガニ *Carcinoplax surgensis*
オオキンセンモドキ *Mursia aspera*
オオグソクムシ *Bathynomus doederleini*
オオクワガタ *Dorcus hopei binodulosus*
オオケブカガニ *Pilumnus tomentosus*
オオコシオリエビ *Cervimunida princeps*
オオバウチワエビ *Ibacus novemdentatus*
オオホモラ *Paromola japonica*
オオワレカラ *Caprella kroyari*
オカダシンカイコシオリエビ *Munidopsis cylindrophthalma*
オキナワハクセンシオマネキ *Uca perplexa*
オキヤドカリ科の一種 *Parapaguridae* sp.
オトヒメエビ *Stenopus hispidus*
カイカムリ *Lauridromia dehaani*
カイガラカツギ *Porcellanopagurus japonicus*
カイメンガニ *Thacanophrys longispinus*
ガザミ *Portunus trituberculatus*
カノコイセエビ *Panulirus longipes*

カメノテ *Capitulum mitella*
カルパガザミ *Carupa tenuipes*
カンザシヤドカリ *Paguritta gracilipes*
キイケアシガニ *Maya miersii*
キシノウエモエビ *Birulia kishinouyei*
キタンヒメセミアエビ *Galearctus kitanoviriosus*
キメンガニ *Dorippe sinica*
キンチャクガニ *Lybia tessellata*
クマエビ *Penaeus semisulcatus*
クモガニ科の一種 *Majidae* sp.
クルミエボシガイ属の一種 *Temnaspis* sp.
クロゲンゴロウ *Cybister brevis*
クロズマメゲンゴロウ *Agabus conspicuus*
クロベンケイガニ *Chiromantes dehaani*
ケアシガニ *Maja spinigera*
ケブカアワツブガニ *Gaillardiiellus orientalis*
ケブカイセエビ *Panulirus homarus*
ケブカエンコウガニ *Carcinoplax vestita*
ケブカオウギガニ *Pilumnus vespertilio*
ケブカカニダマシ *Petrolisthes pubescens*
ケブカヒメヨコバサミ *Paguristes ortmanni*
ケフサイソガニ *Hemigrapsus penicillatus*
ゲンゴロウ *Cybister japonicus*
コガラシエビ *Leander plumosus*
ゴシキエビ *Panulirus versicolor*
コシマガリモエビ *Heptacarpus geniculatus*
コツノキンセンモドキ *Mursia danigoi*
コノハガニ *Huenia heraldica*
コブセミアエビ *Scyllarides haanii*
コマチガニ *Harrovia japonica*
サガミモガニ *Pugettia sagamiensis*
サナダミズヒキガニ *Latreillia valida*
サメハダヘイケガニ *Paradorippe granulata*
ザリガニ *Cambaroides japonicus*
サワガニ *Geothelphusa dehaani*
シバエビ *Metapenaeus joyneri*
シマウミグモ *Ammothea hilgendorfi*
シマエビ *Pandalopsis japonica*
シマゲンゴロウ *Hydaticus bowringii*
シャコ *Oratosquilla oratoria*
ジャノメガザミ *Portunus sanguinolentus*
ショウグンエビ *Enoplometopus occidentalis*
ショウジンガニ *Plagusia dentipes*
シロスジコマチガニ *Harrovia albolineata*
シロボシアカモエビ *Lysmata debelius*
シンカイコシオリエビ属の一種 *Munidopsis* sp.
ジンゴロウヤドカリ *Parapagurodes doederleini*
スエヒロガニ *Medaeopus granulatus*
スジエビ *Palaemon paucidens*
スナギンチャクヒメヨコバサミ *Paguristes albimaculata*
スベスベマンジュウガニ *Atergatis floridus*
セミエビ *Scyllarides squamosus*
セルプラヤドカリ *Lophopagurus triserratus*
ゾウリエビ *Parribacus japonicus*
ソコウオノエ *Ceratothoa oxyrrhynchaena*
ソバガラガニ *Trigonoplax unguiformis*

ソメンヤドカリ *Dardanus pedunculatus*
 ダイオウグソクムシ *Bathynomus giganteus*
 タイコウチ *Laccotrephes japonensis*
 タイワンタイコウチ *Laccotrephes maculatus*
 ダウニーパープルリーフロブスター *Enoplometopus daumi*
 タカアシガニ *Macrocheira kaempferi*
 タガメ *Lethocerus deyrollei*
 タランドスオオツヤクワガタ *Mesotopus tarandus*
 ダルマハダカエボシ *Paralepas globosa*
 チェンマイコガタノゲンゴロウ *Cybister tripunctatus orientalis*
 ツダナナフシ *Megacrana alpheus*
 ツノガイヤドカリ *Pomatocheles jeffreysii*
 ツノガニ *Hyastenus diacanthus*
 ツノガニ属の一種 *Hyastenus* sp.
 ツノナガコブシ *Leucosia anatum*
 テナガエビ *Macrobrachium nipponense*
 テナガオオホモラ *Paromola macrochira*
 テナガコブシガニ *Myra fugax*
 ドウケツエビ *Spongicola venusta*
 ドラゴンオサデエビ *Thaumastocheles dochmiodon*
 トラフカラッパ *Calappa lophos*
 ナキエンコウガニ *Psopheticus stridulans*
 ニシオーストラリアイセエビ *Panulirus cygnus*
 ニシキエビ *Panulirus ornatus*
 ニッポンモガニ *Pugettia nipponensis*
 ニホンスナモグリ *Nihonotrypaea japonica*
 ノコギリガニ *Schizophrys aspera*
 ハダカエボシ *Heteralepas japonica*
 ハリカイメンガニ *Thacanophrys harmandi*
 ヒシガニ *Platylambrus validus validus*
 ヒメエボシ *Poecilasma kaempferi*
 ヒメゲンゴロウ *Rhantus suturalis*
 ヒメコシマガニ *Leptomithrax bifidus*
 ヒメセミアエビ *Scyllarus cultrifer*
 ヒラアシクモガニ *Platymaia alcocki*
 ヒライソガニ *Gaetice depressus*
 ヒラコブカラッパ *Calappa capelloni*
 ヒラタクワガタ *Dorcus titanus*
 ヒラツメガニ *Ovalipes punctatus*
 ヒラホモラ *Homolomannia sibogae*
 フタツメイソウミグモ *Ammothella biunguiculata*
 フタバベニツケガニ *Thalamita sima*
 フトユビシャコモドキ *Gonodactylaceus falcatus*
 フリソデエビ *Hymenocera picta*
 ブルーマロン *Cherax cainii*
 フロリダハマー *Procambarus alleni*
 ヘイケガニ *Heikea japonicum*
 ベニオウギガニ *Liomera venosa*
 ベニツケガニ *Thalamita pelsarti*
 ベニホシマンジュウガニ *Liagore rubromaculata*
 ベニホンヤドカリ *Pagurus similis*
 ヘリトリマンジュウガニ *Atergatis reticulatus*
 ベンケイガニ *Sesarmops intermedia*
 ホッコクエビ *Metapenaeopsis lamellata*
 ホンドオニヤドカリ *Aniculus miyakei*
 マーブルクレイフィッシュ *Procambarus* sp.

マツバガニ *Hypothalassia armata*
 マルタマオウギガニ *Calvactaea tumida*
 マロン *Cherax cainii*
 ミカワエビ *Eugonatonotus chacei*
 ミステリークレイフィッシュ *Procambarus fallax*
 ミズヒキガニ *Eplumula phalangium*
 ミゾレヌマエビ *Caridina leucosticta*
 ミツハキンセンモドキ *Mursia trispinosa*
 ミツハコマチガニ *Ceratocarcinus trilobatus*
 ムラサキハダカエボシ *Heteralepas quadrata*
 メガネカラッパ *Calappa philargius*
 メナグソクムシ *Aega antillensis*
 モエビ *Metapenaeus moyebi*
 モエビ科の一種 *Hippolytidae* sp.
 モクスガニ *Eriocheir japonica*
 モクスショイ *Camposcia retusa*
 モンハナシャコ *Odontodactylus scyllarus*
 ヤスリヤドカリ *Strigopagurus strigimanus*
 ヤツアシエビ *Paracrangon abei*
 ヤドリアミ属の一種 *Heteromysis* sp.
 ヤハズモガニ *Pugettia incisa*
 ヤマトエバリア *Ebalia tuberculosa*
 ヤマトトックリウミグモ *Ascorhynchus japonicus*
 ヤマトヌマエビ *Caridina japonica*
 ヤマトホンヤドカリ *Pagurus japonica*
 ヨコスジヤドカリ *Dardanus arrosor*
 ヨコヤホンヤドカリ *Propagurus obtusifrons*
 ヨツハモガニ *Pugettia quadridens*
 ヨロイウミグモ *Pycnogonida tenue*

◆軟体動物 101種

アオウミウシ *Hypselodoris festiva*
 アオクチキセワタ *Philinopsis gardineri*
 アオリイカ *Sepioteuthis lessoniana*
 アカガイ *Scapharca broughtonii*
 アカニシ *Rapana venosa*
 アカフチリュウグウウミウシ *Nembrotha kubaryana*
 アズマニシキ *Chlamys farreri*
 アマクサアメフラシ *Aplysia juliana*
 アヤボラ *Fusitriton oregonensis*
 アラレガイ *Nassarius conoidalis*
 イツカクダコ *Scaevargus patagiatus*
 イボベッコウタマガイ *Coriocella nigra*
 ウコンハネガイ *Ctenoides ales*
 ウミフクロウ *Pleurobranchaea maculata*
 オウムガイ *Nautilus pompilius pompilius*
 オオナルトボラ *Tutufa bufo*
 オオベソオウムガイ *Nautilus macromphalus*
 オオヘビガイ *Serpulorbis imbricatus*
 カコボラ *Monoplex parthenopeum*
 カドリナウミウシ *Cadlina japonica*
 カブトアヤボラ *Fusitriton galea*
 カミナリイカ *Sepia lycidas*
 クボガイ *Chlorostoma lischkei*
 クマサカガイ *Xenophora pallidula*

クリヤイロウミウシ *Mexichromis festiva*
 クロアワビ *Haliotis discus discus*
 クロシタナシウミウシ *Dendrodoris fumata*
 ケハダヒザラガイ *Acanthochitona defilippii*
 ケムシヒザラガイ *Cryptoplax japonica*
 コイボウミウシ *Phyllidiella pustulosa*
 コウイカ *Sepia esculenta*
 コブシメ *Sepia latimanus*
 コモンウミウシ *Chromodoris aureopurpurea*
 サザエ *Turbo cornutus*
 サメハダテナガダコ *Octopus luteus*
 サラサバテイ *Tectus niloticus*
 シマミクリガイ *Siphonalia signa*
 シャゴウガイ *Hippopus hippopus*
 シライトウミウシ *Chromodoris magnifica*
 シラクキウミウシ *Noumea nivalis*
 シリヤケイカ *Sepiella japonica*
 シロウミウシ *Chromodoris orientalis*
 シロスギノハウミウシ *Dendronotus gracilis*
 スガイ *Lunella coronata*
 ゼニガタフシエラガイ *Pleurobranchus forskalii*
 タコブネ *Argonauta hians*
 チマキボラ *Thatcheria mirabilis*
 ツノマタナガニシ *Fusinus nigrirostratus*
 ツノモチダコ *Octopus tenuicirrus*
 トゲアメフラシ *Bursatella leachii*
 ナガカズラガイ *Phalium flammiferum*
 ナガニシ *Fusinus perplexus*
 ナンヨウダカラ *Cypraea aurantium*
 ニクイロヒタチオビ *Musashia hirasei*
 ニシキウズガイ *Trochus maculatus maculatus*
 ニシキウミウシ *Ceratosoma trilobatum*
 ニシキヒタチオビ *Psephaea concinna*
 ネズミウミウシ *Platydorid tabulata*
 ハダカカメガイ *Clione limacina*
 ハッキガイ *Siratus pliciferoides*
 ハナビラダカラ *Cypraea annulus*
 ババガセ *Placiphorella stimpsoni*
 ヒカリウミウシ *Plocamopherus tilesii*
 ヒトエガイ *Umbraculum umbraculum*
 ヒメイカ *Idiosepius paradoxus*
 ヒメエゾボラモドキ *Neptunea kuroshio*
 ヒメコウイカ *Sepia (Doratosepion) kubiensis*
 ヒョウモンダコ *Hapalochlaena fasciata*
 ヒラサザエ *Pomaulax japonicus*
 ヒレシャコガイ *Tridacna squamosa*
 ヒロウミウシ *Okenia hiroi*
 フカヅメヒザラガイ *Nierstraszella lineata*
 フジタウミウシ *Polycera fujitai*
 フタモチヘビガイ *Dendropoma maximum*
 フレリトゲアメフラシ *Bursatella leachii*
 ヘソアキクボガイ *Chlorostoma turbinatum*
 ベッコウヒカリウミウシ *Plocamopherus imperialis*
 ボウシュウボラ *Charonia lampus sauliae*
 ホシダカラ *Cypraea tigris*
 マガキガイ *Conomurex luchuanus*

マクラガイ *Oliva mustelina*
 マダコ *Octopus vulgaris*
 マダコ科の一種 1 *Octopodidae* sp. 1
 マダコ科の一種 2 *Octopodidae* sp. 2
 マダコ科の一種 3 *Octopodidae* sp. 3
 マツカサガイ *Pronodularia japonensis*
 マツカワガイ *Biplex perca*
 マンリョウウミウシ *Hoplodoris armata*
 ミガキボラ *Kelletia lischkei*
 ミカドウミウシ *Hexabranchus lacera*
 ミズダコ *Octopus dofleini*
 ミドリウミウシ *Marinia olivacea*
 ミミイカ *Euprymna morsei*
 ミヤコウミウシ *Dendrodoris denisoni*
 メダカラ *Purpuradusta gracilis*
 メンダコ *Opisthoteuthis depressa*
 モミジボラ *Clathrodrillia jeffreysii*
 ヤクシマダカラ *Mauritia arabica*
 ヤツシロガイ *Tonna luteostoma*
 ヤマトウミウシ *Homoiodoris japonica*
 ヨフバイ *Telasco sufflatus*

◆棘皮動物 96種

アオスジクモヒトデ *Ophiothrix (Keystonea) nereidina*
 アオヒトデ *Linckia laevigata*
 アカウニ *Pseudocentrotus depressus*
 アカハコクモヒトデ *Stegophiura sladeni*
 アカヒトデ *Certonaroda semiregularis*
 アカミシキリ *Holothuria edulis*
 アデヤカキンコ *Pseudocolochirus violaceus*
 イイジマフクロウニ *Asthenosoma ijimai*
 イシナマコ *Holothuria nobilis*
 イソコモチクモヒトデ *Amphipholis squamata*
 イトマキヒトデ *Asterina pectinifera*
 イボヒトデ *Nardoa tuberculata*
 ウチダニチリンヒトデ *Solaster uchidai*
 ウデナガゴカクヒトデ *Mediaster brachiatus*
 ウニの一種 *Prionechinus forbesianus*
 エゾヒトデ *Aphelasterias japonica*
 オウサマウニ科の一種 *Eucidaris tribuloides*
 オオイカリナマコ *Synapta maculata*
 オオウミシダ *Tropiometra atra*
 オオクモヒトデ *Ophiarachna incrassata*
 オオシマヒメヒトデ *Henricia ohshimai*
 オキナマコ *Parastichopus nigripunctatus*
 オトメガゼ *Caenopedina mirabilis*
 カサアシガンガゼ属の一種 *Micropyga* sp.
 カワテブクロ *Choriaster granulatus*
 カワライトマキヒトデ *Asterina anomala*
 ガンガゼ *Diadema setosum*
 カンムリヒトデ *Coronaster volsellatus*
 クマサカナマコ *Mesothuria parva*
 クロクモヒトデ *Ophiocoma erinaceus*
 クロスジラツパウニ *Toxopneustes elegans*
 クロナマコ *Holothuria atra*

ゴカクヒトデ科の一種 *Anthenoides epixanthus*
コシダカウニ *Mespilia globulus*
コブヒトデ *Protoreaster nodosus*
コブヒトデモドキ属の一種 *Pentacaster* sp.
コマチクモヒトデ *Ophionaza cacaotica*
コモミジガイ *Astropecten gisselbrechti*
サツマヒトデ属の一種 *Sclerasterias* sp.
サメハダテヅルモヅル *Astroboa arctos*
サンショウウニ *Temnopleurus toreumaticus*
ジイガセキンコ *Psolus squamatus*
シマウミシダ *Cyllometra manca*
シラヒゲウニ *Tripneustes gratilla*
シロウニ *Echinus lucidus*
スナヒトデ *Luidia quinaria*
セノテヅルモヅル *Astrocladus coniferus*
ダイオウゴカクヒトデ *Mariaster giganteus*
タイセイヨウマツカサウニ *Eucidaris tribuloides*
タコクモヒトデ *Ophiocreas caudatus*
タコノマクラ *Clypeaster japonicus*
チビイトマキヒトデ *Asterina minor*
チブサナマコ *Holothuria fuscogilva*
トゲクモヒトデ属の一種 *Ophiothrix* sp.
トゲモミジガイ *Astropecten polyacanthus*
トヤマヤツデヒトデ *Calasterias toyamensis*
トラフナマコ *Holothuria pervicax*
ナマコの一種 *Pseudostichopus hyalegerus*
ニセクロナマコ *Holothuria leucospirata*
ニセモミジガイ *Ctenopleura fisheri*
ニチリンヒトデ *Solaster paxillatus*
ニチリンヒトデ科の一種 *Lophaster* sp.
ニッポンウミシダ *Oxycomanthus japonicus*
ニッポンヒトデ *Distolasterias nipon*
ニホンクモヒトデ *Ophioplocus japonicus*
ヌノメイトマキヒトデ *Asterina batheri*
ヌメハダヒメヒトデ *Henricia pachyderma*
ノコギリウニ *Prionocidaris baculosa*
ハナウミシダ *Comanthina nobilis*
バフンウニ *Hemicentrotus pulcherrimus*
ヒゲウミシダ *Heliometra glacialis*
ヒトデの一種 *Rosaster* sp.
ヒメカンテンナマコ *Laetmogone maculata*
ヒメヒトデ属の一種 *Henricia* sp.
フサトゲニチリンヒトデ *Crossaster papposus*
フジナマコ *Holothuria decorata*
フジヤマカシパン *Laganum fudsiyama*
ベンテンウニ *Coelopleurus maculatus*
ボウズウニ *Stereocidaris japonica*
マナマコ (含むアカナマコ) *Apostichopus japonicus*
マヒトデ *Asterias amurensis*
ムラサキウニ *Anthocidaris crassispina*
ムラサキヒトデ *Linckia guildingi*
モミジガイ *Astropecten scoparius*
モミジヒトデ属の一種 *Astropecten* sp.1
モモイロウデナガクモヒトデ *Ophiogymna elegans*
モモイロソコナマコ *Bathyplotes goldenhindi*
ヤツデスナヒトデ *Luidia maculata*

ヤツデヒトデ *Coscinasterias acutispina*
ヤマトアカモンヒトデ *Neoferdina japonica*
ヤマトベンテンウニ *Coelopleurus undulatus*
ヤマトホシヒトデ *Hippasteria imperialis*
ユミヘリゴカクヒトデ *Mediaster acuatus*
ラツパウニ *Toxopneustes pileolus*
リュウコツクモヒトデ *Ophiochiton fastigatus*
ワモンクモヒトデ *Ophiolepis superba*

◆原索動物 5種

サボテンボヤ *Halocynthia cactus*
ナメクジウオ *Branchiostoma japonicum*
ハルトボヤ *Microcosmus hartmeyeri*
ヒガシナメクジウオ *Branchiostoma belcheri*
マボヤ *Halocynthia roretzi*

◆環形動物 10種

イバラカンザシ *Spirobranchus giganteus*
ウミケムシ *Chloelia flava*
ウロコムシの仲間 1 不詳
ウロコムシの仲間 2 不詳
ウロコムシの仲間 3 不詳
ニホンウロコムシ *Laetmonice japonica*
ニホンコガネウロコムシ *Aphrodita japonica*
スイクチムシ目の一種 *Astromyzostomum* sp.
オウギゴカイ *Nectoneanthes oxypoda*
ダルマゴカイ *Sternaspis scutata*

◆海綿動物 10種

チョコガタイシカイメン *Discodermia calyx*
エダガタイシカイメン *Discodermia japonica*
ユズダマカイメン *Tethya aurantium*
タマカイメン属の一種 *Tethya* sp.
ダイダイイソカイメン *Halichondria japonica*
ゴウシュウマルカイメン *Craniella australiensis*
ザラカイメン *Callyspongia confederata*
ジクネカイメン属の一種 *Rhizaxinella* sp.
ツノマタカイメン *Raspailia hirsuta*
ホネマガリカイメン *Acanthella simplex*

◆緩歩動物 1種

ヨコヅナクマムシ *Ramazottius varieornatus*

◆外肛動物 2種

シメジヤワコケムシ *Alcyonidium mamillatum*
ミサキアミコケムシ *Rateporellina denticulata*

◆珍無腸動物 2種

コンボルータ科の一種 *Convolutiloba longifissura*

ホフステニア科の一種 *Hofstenia* sp.

◆内肛動物 5種

スズコケムシ *Barentsia discreta*

ペディケリナ属の一種 *Pedicellina* sp.

ロクソソメラ属の一種 1 *Loxosomella* sp.1

ロクソソメラ属の一種 2 *Loxosomella* sp.2

ロクソミトラ属の一種 *Loxomitra* sp.

◆扁形動物 8種

ミサキヒモムシ *Lineus geniculatus*

フェカンピア属の一種 *Fecampia* sp.

イイジマヒラムシ *Stylochus ijimai*

ウスコケムシ *Microporella orientalis*

ヒモムシの一種 不詳

ヒラムシの一種 不詳

ブデロウラ カンジタ *Bdelloura candida*

ミドリヒモムシ *Lineus fuscoviridis*

◆星口動物 1種

サメハダホシムシ *Phascolosoma scolops*

鳥羽水族館所蔵寺町コレクションに含まれる貝類模式標本

磯和 誠

鳥羽水族館

Type specimens of mollusks included in Toba Aquarium's Teramachi collection

Makoto Isowa

Toba Aquarium

ABSTRACT

Mr. Akifumi Teramachi (1898 - 1978) was one of the leading mollusk collectors in Japan, having collected them for more than 50 years. Among this collection are the type specimens used for describing new species. Toba Aquarium possesses most of the collection. I would like to make a list of them to make future research easier.

寺町昭文氏(1898年-1978年)は、50年以上に渡って貝類を蒐集し続けた日本有数のコレクターである。そのコレクションの大半は、鳥羽水族館に寄贈され1975年には「寺町コレクションホール」が完成し、約3800種類が展示された。現在は、マリンギャラリーにて寺町コレクションを含む貝類約1000種類を展示している。

寺町コレクションの中には、新種記載の際に使用された模式標本が含まれている。それらは断片的に紹介されることはあったが、まとまったものが無かったためリストを作成し、今後の研究に便宜を図りたい。

なお、かつては模式標本自体をさほど重要視していなかったようで、10年以上他の貝類と共に展示されていた。また、寺町氏が所蔵していた模式標本のすべてを鳥羽水族館が所蔵しているわけではない。そのため、標本が確認出来た種類のみ記すことにした。

謝 辞

本稿製作において協力頂いた鳥羽水族館の岩崎絢子氏に深く感謝いたします。

引用文献

- 奥谷喬司編著. 2017. 日本近海産貝類図鑑第二版. 東海大学出版部
- 肥後俊一・後藤芳央. 1993. 日本及び周辺地域産軟体動物総目録. エル貝類出版局
- 熊本県地域振興部文化企画課編. 2008. 立志徹郎貝類標本目録 I. 熊本県地域振興部文化企画課
- 浅沼博編. 1975. 貝-美しい自然のデザイン. 日本放送出版協会
- 肥後俊一・後藤芳央. 2001. CATALOGUE and BIBLIOGRAPHY of the MARINE SHELL-BEARING MOLLUSCA of JAPAN. (株)アン エル出版部

寺町コレクション模式標本リスト

Pleurotomariidae オキナエビスガイ科

<i>Baeretrochus africanus teramachii</i>	Kuroda, 1955	テラマチオキナエビス 豊後水道
--	--------------	--------------------

Fissurellidae スカシガイ科

<i>Emarginula tosaensis</i>	Habe, 1953	トサスソキレ No.1531 土佐 70fms
<i>Emarginula hosoyai</i>	Habe, 1953	ホソヤスソキレ No.1529 土佐 70fms
<i>Laeviemarginula kimberi</i>	Cotton, 1930	スソカケコザルアワビ (スソカケサルアワビ) No.1552 琉球
<i>Emarginula okinawaensis</i>	Habe, 1953	クズヤスソキレ No.1947 琉球
<i>Emarginula teramachii</i>	Habe, 1953	テラマチスソキレ No.1532 土佐
<i>Emarginula compta</i>	Habe, 1953	ホクロスソキレ No.1543 琉球
<i>Tugalina radiata</i>	Habe, 1953	ヒノデサルアワビ No.1554 琉球
<i>Scutus virgo</i>	Habe, 1951	サオトメガサ No.1559 琉球
<i>Puncturella dorcas</i>	Kira & Habe, 1951	オクガタスカシガイ No.1565 土佐
<i>Puncturella teramachii</i>	Kira & Habe, 1949	テラマチスカシガイ No.1566 土佐 150fms
<i>Cranopsis tosaensis</i>	Habe, 1951	トサコウダカスカシガイ No.1569 土佐
<i>Diodora semilunata</i>	Habe, 1953	ミカツキテンガイ No.1582 琉球

Trochidae ニシキウズガイ科

<i>Lischkeia galea</i>	(Habe, 1953)	カブトハリエビス (カブトシタダミ) No.1191 土佐 120fms
------------------------	--------------	---

Cypraeidae タカラガイ科

<i>Palmulacypraea katsuae</i>	(Kuroda, 1960)	ヒメダカラ No.795 沖縄県
-------------------------------	----------------	---------------------

Cassidae トウカムリ科

<i>Oocorys japonica</i>	Kuroda & Teramachi, 1952	タマゴボラ No.422 土佐 120fms
-------------------------	--------------------------	---------------------------

Eulimidae ハナゴウナ科

<i>Niso dorcas</i>	Kuroda & Habe, 1950	オトヒメヘソアキゴウナ No.3112 土佐 100fms
--------------------	---------------------	----------------------------------

Muricidae アッキガイ科

<i>Typhis teramachii</i>	Keen & Campbell, 1964	テラマチパイプヨウラク No.1011 紀伊 50fms
<i>Typhis imperialis</i>	Keen & Campbell, 1964	ミカドパイプヨウラク No.1013 土佐 80fms
<i>Siphonochelus nipponensis</i>	KEEN & CAMPBELL, 1964	ヤマトエントツヨウラク(ニッポンエントツヨウラク) No.1012 土佐 100fms
<i>Babelomurex oyamai</i>	(Kosuge, 1985)	オオヤマカセン No.1928 高知県 200m
<i>Babelomurex nakamigawai</i>	(Kuroda, 1959)	ナカミガワカセン No.1968 土佐 100fms
<i>Babelomurex teramachii</i>	(Kuroda, 1959)	テラマチカセン No.1974 土佐 100fms
<i>Babelomurex nakamurai</i>	Kosuge, 1985	ナカムラカセン No.1927 高知県 160m
<i>Coralliophila sugitanii</i>	Kosuge, 1985	スギタニミズスイ No.1930 土佐 100fms
<i>Coralliophila matsumotoi</i>	Kosuge, 1985	マツモトミズスイ No.1925 高知県 200m
<i>Coralliofusus acus</i>	Kuroda, 1953	ヤジリサンゴヤドリ No.1919 土佐 100fms
<i>Rhizochilus antipathum</i>	Steenstrup, 1850	クチナシサンゴヤドリ No.1921 土佐 100fms

Tubinellidae オニコブシガイ科

<i>Ceratoxancus teramachii</i>	Kuroda, 1952	フデガイモドキ No.585 土佐 200fms
--------------------------------	--------------	-----------------------------

Buccinidae エゾバイ科

<i>Microfusus turbinata</i>	(Kuroda, 1961)	コブシアラレバイ No.335 土佐 100fms
-----------------------------	----------------	------------------------------

Conidae イモガイ科

<i>Profundiconus teramachii</i>	(Kuroda, 1956)	テラマチイモ No.0018 土佐 200fms
<i>Profundiconus profundorum</i>	(Kuroda, 1956)	ヨモスガライモ No.72 土佐 150fms
<i>Conus stupa</i>	(Kuroda, 1956)	ブットウイモ No.0001 土佐 70fms
<i>Conus stupella</i>	(Kuroda, 1956)	コブットウイモ No.0002 高知県 200m

Turridae クダマキガイ科

<i>Buccinaria martini</i>	(Koperberg, 1931)	ギボシクダマキ No.2984 土佐 200fms
<i>Buccinaria jonkeri</i>	(Koperberg, 1931)	テラマチギボシクダマキ No.2987 土佐 200fms

Neilonellidae ハトムギソデガイ科

<i>Neilonella coix</i>	Habe, 1951	ハトムギソデ 土佐 100fms
------------------------	------------	---------------------

Vesicomysidae オトヒメハマグリ科

<i>Vesicomys katsuae</i>	Kuroda, 1938	オトヒメハマグリ No.6742 土佐 100fms
--------------------------	--------------	-------------------------------

Xylophaginidae キクイガイ科

<i>Xyloredo teramachii</i>	(Taki & Haba, 1950)	テラマチキクイガイ No.7097 土佐 100fms
----------------------------	---------------------	--------------------------------

Periplomatidae リュウグウハゴロモガイ科

<i>Periploma plane</i>	Ozaki, 1958	リュウグウハゴロモ
------------------------	-------------	-----------

Verticordiidae オトヒメゴコロガイ科

<i>Harilis pygmaea</i>	Kuroda, 1952	ヒナノオトヒメゴコロ 土佐 100fms
------------------------	--------------	-------------------------

<i>Vertambitus cuneatus</i>	(Kuroda, 1952)	クサビオトヒメゴコロ No.1152 土佐 100fms
-----------------------------	----------------	---------------------------------

水族館の展示水槽で発見された *Lipkea* sp. (刺胞動物門, 十文字クラゲ綱)

森滝丈也

鳥羽水族館

Lipkea sp.(Cnidaria,Stauromedusae), Confirmed in the Exhibition tank
at Toba Aquarium

Takeya Moritaki

Toba Aquarium

ABSTRACT

We discovered *Lipkea* sp. (Cnidaria,Stauromedusae) from the Exhibition tank of the "Laboratory of Peculiar Creatures" in Toba Aquarium on May 2, 2015. This is the second record of discovery in the North Pacific.

リプケア (*Lipkea*属) は十文字クラゲ類の1群で、これまでに地中海産の2種、南アフリカ産の1種の計3種のみが記載されている。近年、オーストラリアとニュージーランドでも生息が確認されているが、生態情報は非常に少ないため、その生態の多くは謎に包まれている。日本では2012年に千葉県立中央博物館分館 海の博物館の飼育水槽中で *Lipkea* sp. が見付き、これが北太平洋初の発見例となった(平野・柳 2013)。しかしながら、これ以降、日本近海におけるリプケア類の確認情報は無い。

著者は2015年5月2日に鳥羽水族館内にある「へんな生きもの研究所」ゾーンの水槽内から見慣れない十文字クラゲを発見した。このクラゲは形態学的特徴から *Lipkea* sp. と同定され、北太平洋で2例目の発見記録となったためここに報告する。

Lipkea sp. (図1) を確認したのは小型水槽(高さ25×幅40×奥行20cm)を10基つなげた組み水槽で、このうちの1基に配置してあった小型の岩の裏側に2個体が付着していた。この岩は2013年5

月に三重県志摩市御座のイセエビ刺し網によって水深30-40mから採集された。採集場所は特定されていないが、付着が確認された岩と共にキサング類も採集されている。岩は2013年7月から水槽内に導入されていたが、クラゲの付着に気付いたのは導入からおおよそ2年経過後であった。同じ水槽の飼育生物は鳥羽湾内で採集されたセノテヅルモヅル *Astrocladus coniferus* だけであり、岩も含めて全て三重県内のものであった。また、十文字クラゲ類の幼生は広範囲に拡散することは少ない(柳 私信)ことから、補給水に幼生が混入していた可能性も低いと考えられた。このことから発見された *Lipkea* sp. は目に留まりにくいサイズで付着していた岩と一緒に水槽内に持ち込まれて、この中で成長したものであり、三重県海域に由来するものと推察された。

Lipkea sp. の体は葉状部(腕)を持つ萼部と、岩などに付着するための柄部からなる。萼部の葉状部は周囲に鋸歯状突起を有する。葉状部は発見時は8本であったが、2016年12月までに11本に増加し

た。萼部中央には口があり、この付近を刺激すると巾着袋のように萼部を閉じる行動が確認された(図2)。冷凍コペポダやオキアミ小片、生きたイサザアミを与えると萼部を閉じて捕食する。柄部は短く付着部は不定形である。

一般的にクラゲの仲間は短命な種が多いが、*Lipkea* sp. は発見時から1年半経過した現在(2017年2月)も同一個体が生存中である。このことから*Lipkea* sp. の寿命は比較的長期であると思われる。また、再生力も強いようで、飼育途中で大きく欠損した体が元に戻る様子が観察された。

これまでに有性生殖による繁殖報告は知られていないが、千葉県立中央博物館分館 海の博物館の飼育個体において無性生殖による繁殖が報告されている(平野・柳2013)。無性生殖は伸長したクラゲの基部が切り離されて“肉団子”状になり、それが、クラゲ、中間型、ポリプの3つの形態に変化し成長する過程を経る。鳥羽の個体では2016年の12月にクラゲ基部の伸張が観察されているが(図3)、本稿執筆中である現時点(2017年2月)では無性生殖は確認していない。また、当館では飼育途中で体

が崩れた個体の生殖腺から卵を得たが、卵径は34 μm であった(図4)。

Lipkea sp. はこれまでに日本国内では野外で確認されておらず、千葉県と三重県の2箇所の施設の飼育水槽だけで確認された非常に珍しいクラゲであるが、遠く離れた2地点で発見されていることから、今後、他の地域でも発見される可能性はあると考えられる。今後も水族館で飼育観察を継続しつつ、野外における*Lipkea* sp. の発見にも期待したい。

謝 辞

Lipkea sp. を同定するにあたり、千葉県立中央博物館分館・海の博物館共同研究員の平野弥生氏と同博物館の主任上席研究員である柳研介氏には大変お世話になった。謹んでお礼を申し上げる。

引用文献

平野弥生 柳研介, 2013. 本邦未記録の珍しい十文字クラゲ *Lipkea* sp. (Staurozoa:Stauromedusae:Lipkeidae) の発見 動物学会関東支部会発表ポスター



図1 水槽内で発見された*Lipkea* sp.



図3 伸張する柄部



図2 傘を閉じた姿



図4 卵

コープネコゴエガエル *Physalaemus biligonigerus* の繁殖について

三谷伸也・宮本真美

鳥羽水族館

On the breeding of the Weeping Frog *Physalaemus biligonigerus* in captivity
at Toba Aquarium

Shinya Mitani and Mami Miyamoto

Toba Aquarium

ABSTRACT

We got 24 Weeping frogs from Paraguay on 20th March, 2014. We had kept them under dry condition for one year. And we moved them to wet condition on 17th March, 2015. On 19th March, they spawned the eggs in spherical foam nests that float on the water. Next day, hundreds of tadpoles hatched out. Their mean total length was 4.74mm at that time. We fed compound feed to them. 2 months later, 1745 tadpoles had metamorphosed to young frogs. Their mean length of snout-vent was 9.16mm. We fed crickets to young frogs every day. 10 months later, 300 of them were alive.

はじめに

コープネコゴエガエル *Physalaemus biligonigerus* はアルゼンチン、ブラジル、ウルグアイ、パラグアイに分布する体長35~40mmのユビナガガエル科のカエルである。本種のアドバタイズメントコールはネコの鳴き声に似ていることが和名の由来である。

鳥羽水族館では本種を2004年から断続的に飼育してきたが、2014年3月に自家採集により複数頭入手した。それらを親個体として2015年3月に繁殖させ、2016年1月には約300個体の幼蛙を得ることができた。繁殖に至る経緯とその後の育成について報告する。

材料と飼育方法

2014年3月11日にパラグアイのチャコ地方のマ

リスカル・エスティガリビア近郊において本種を複数頭採集し、3月20日に成体24個体を鳥羽水族館へ輸送した。到着後はキーパーヤードにて飼育を開始した。これらの個体は図1のようにヤシガラマットを敷いたプラスチックケース(43×34×H 23cm)を3個に分けて飼育した。これらの飼育ケースには特に水場を設けず、1日1~2回散水することで乾期の状態を保った。乾季の期間は2014年3月20日から2015年3月17日までである。室温は最高最低計で朝夕1日2回計測した。図2に示したとおり、最高室温は7月の31.5℃で、最低室温は2月の20.9℃である。餌にはカルシウムを散布した2~3令のフタホシコオロギを週2回与えた。



図1 キーパーヤードでの成体飼育ケース

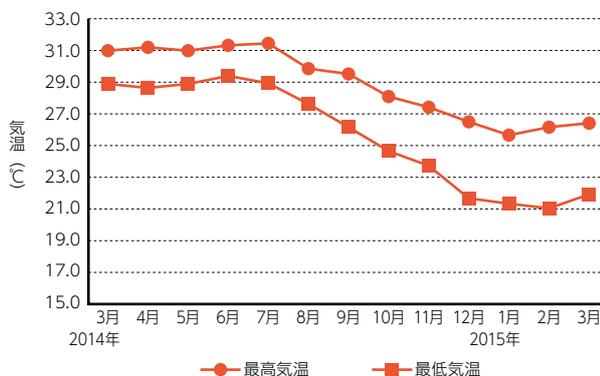


図2 キーパーヤードでの室温の変化

繁殖経過

2015年3月17日に10個体を展示水槽へ移した。展示水槽は幅70cm, 奥行き60cm, 高さ90cmで水深3cmほどの水場と陸場にわかれている。ここでは1日2回, 降雨装置にて雨期を再現したところ, 3月19日に1ペアの抱接(図3)と泡巣(図4)を確認した。卵はほぼ球形で直径は1.08mm (n=4)(図5)であった。3月20日には泡巣の外に流出する個体が見られた。これをふ化とした。ふ化直後は外鰓が観察されたが, 翌日には消失していた。ふ化直後の幼体の全長は3.3mm (n=2)(図6)であった。3月21日には幼体の全長は4.74mm (n=4)(図7)であった。この時点では水底で静止していることが多かった。3月21日に展示水槽から泡巣ごとバックヤードのプラスチックケース(43×34×H23cm)に移した。水深は約14cmとし, 底にパネルヒーターを入れ, 水温は約26~30℃を保った。ふ化个体数が多かったため, 同サイズのプラスチックケースに加えて89×44×H32cmのガラス水槽に分けて

飼育を開始した。このガラス水槽の水深は約5cmとした。3月24日には活発に泳ぐ様子が観察された。幼体の全長は7.48mm (n=5)(図8)であった。幼体には配合餌料(セラミックロンパウダーフード)を毎日与え, 換水は3分の1程度, 底掃除も兼ねて毎日行った。4月11日には2820尾の幼体が確認され, 図9に示したように後肢をもつ個体が散見された。4月14日には1個体目が上陸した。その後, 順次上陸が見られ, 7月31日に全てが幼蛙となった。上陸時の幼蛙(図10)の体長は9.16mm (n=16)で, 総数は1745個体であった。幼蛙は順次, プラスチックケース(43×34×H23cm)6個に収容した。ケース内はヤシガラマットを床材とし, 流木, 水入れを設置した。幼蛙には成長に合わせてカルシウムを塗布した1~3令のフタホシコオロギ *Gryllus bimaculatus* とヨーロッパイエコオロギ *Acheta domesticus* を2~3日に1回与えた。2016年1月14日には約300個体が生存していた。さらに2017年1月6日には30個体が生存している。



図3 抱接中の成体

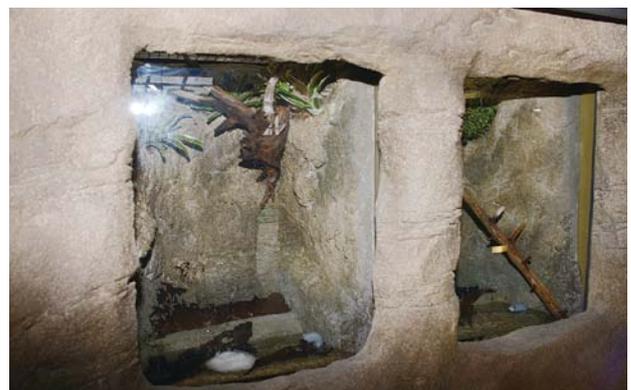


図4 展示水槽の中央に泡巣

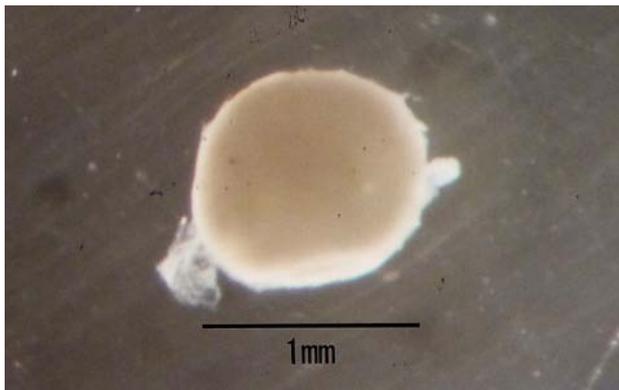


図5 卵

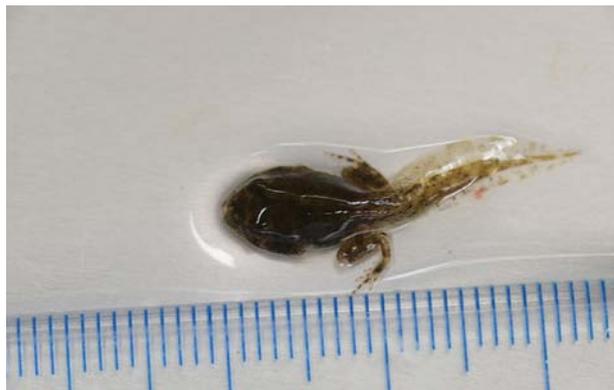


図9 後肢の出た幼体

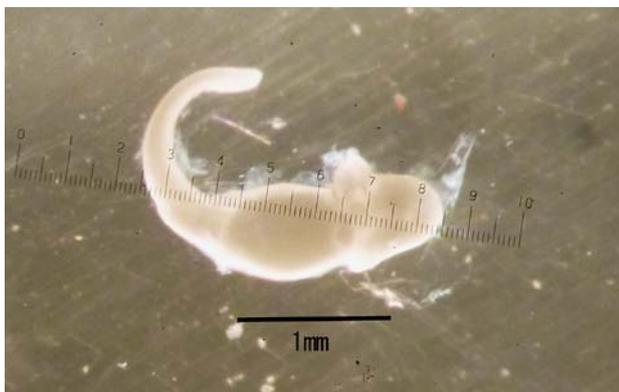


図6 ふ化直後



図10 ふ化後60日目の幼蛙

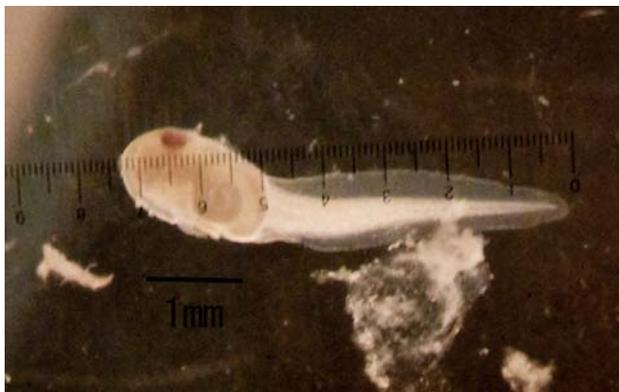


図7 ふ化後1日目

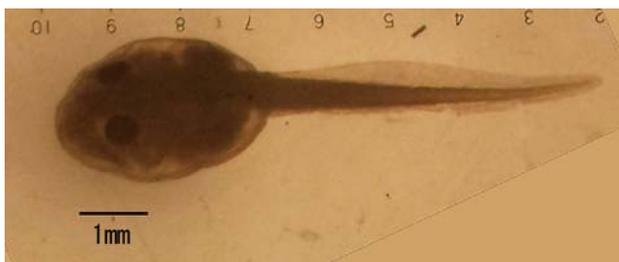


図8 ふ化後4日目

考 察

コープネコゴエガエルの採集地であるパラグアイのマリスカル・エスティガリビアはサバナ気候に区分けされている。図11，図12にマリスカル・エスティガリビアの降雨量と気温のデータを示した。これから本種の繁殖期である11月から3月までの降雨量が95.9mmから139.6mmである。それに反して4月から10月までは75.6mmから9.4mmである。気温は雨量の多い1月で最高気温35.4℃，最低気温22.9℃である。また，雨量の少ない7月は26.4℃，12.6℃となっている。これらのことから自然下での繁殖の要因の一つとして，降雨とそれに伴う気温の変動が推測される。本研究では気温の変動が繁殖要因になっていることは確認できなかったが，乾燥期間と湿潤期間を作為的に設けることで繁殖させることができると示唆された。

本種の産卵数は1000粒以上と多く，幼体の世話，上陸直後の幼蛙の餌の確保に困難な場合がある。餌がすべての個体に行き渡っているかを確認すること

は難しく、その後の成長にも影響すると思われる。本研究でも早い個体で4月14日に上陸したが、最も遅い個体では7月30日であった。また、上陸が遅い個体は成体になっても小型であった。このことから、幼蛙の成長の差を縮める給餌方法を考えなければいけないと思われる。

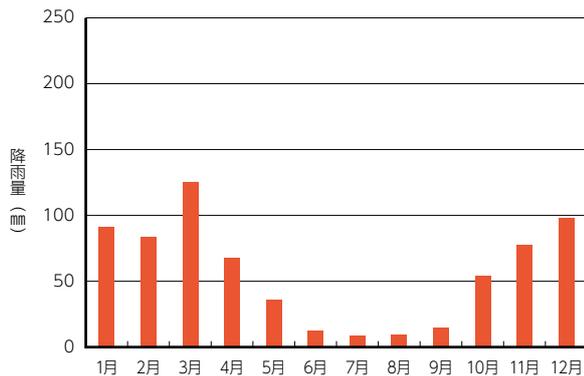


図11 マリスカル・エスティガリビアの降雨量の変化

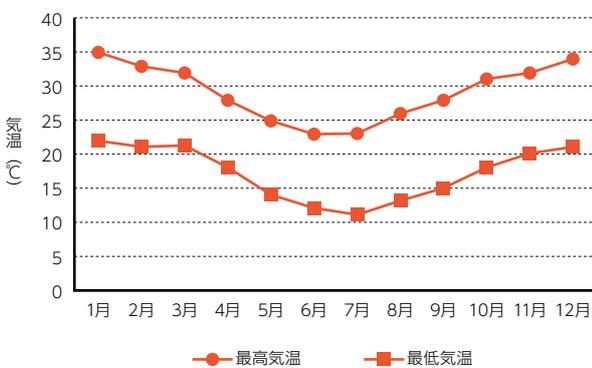


図12 マリスカル・エスティガリビアの気温の変化

謝 辞

パラグアイでの現地調査にあたり、MIES.A. 川出光生氏 山脇孝司氏 中山エンリケ氏 株式会社岩出菌学研究所 隅谷利光氏 森園智浩氏には多大なるご支援、ご協力を頂いた。深く感謝致します。また、親個体、幼蛙の飼育にご協力頂いた鳥羽水族館飼育研究部魚類チーム淡水班の皆さまに御礼申し上げます。

引用文献

- David R. Norman, 1994. Amphibians and Reptiles of the Paraguayan Chaco, vol.1, pp.160-161.
- Fauna Paraguay. <http://www.faunaparaguay.com/physalaemusbiligonijerus.html>. (accessed on 2017-February-16)
- 旅行のとも、ZenTeck 世界の気温 パラグアイ. http://www2m.biglobe.ne.jp/ZenTech/world/kion/Paraguay/Paraguay_MariscalJoseFelixEstigarribia.htm (accessed on 2017-February-16)
- AmphibiaWeb. <http://www.amphibiaweb.org/> (accessed on 2017-February-16)
- William E. Duellman and Linda Trueb, 1986. Biology of Amphibians, pp.68, pp.114.

バイカルアザラシの餌付けについて

長谷川一宏・川口直樹・北 美香・山本いず保・石原良浩

鳥羽水族館

On the feeding to Baikal seals *Pusa sibirica* newly transported to Toba Aquarium

Kazuhiro Hasegawa, Naoki Kawaguchi, Mika Kita, Izuho Yamamoto
and Yoshihiro Ishihara

Toba Aquarium

ABSTRACT

8 Baikal seals (4 males and 4 females) were transported to Toba Aquarium from Russia since 1990. 6 seals ate fishes by themselves within 3 days after arrival. Force feeding was done to 2 females, and one female ate by herself 17 days after arrival, and another ate after 8 days. 7 species of fishes were eaten by 8 seals for the first time after their arrival at Toba Aquarium.

はじめに

鳥羽水族館では、1990年以降3度ロシアからバイカルアザラシ *Pusa sibirica* を搬入しており、最近では2014年の事例がある。また近年国内でもいくつかの園館が本種の飼育を始め、当館に飼育研修に来られる場合もある。その時には新入個体の餌付け方法が話題になることが多い。今後当館を含め、本種を搬入する際の参考にできるように1990年以降の新入個体の餌付け方法をまとめておきたい。

搬入個体と飼育環境

1990年4月28日に4個体、2003年4月15日と2014年8月29日にそれぞれ2個体、合計8個体（オス4、メス4）のバイカルアザラシをロシアから鳥羽水族館に搬入した（表1）。このうちNo.11-16については、搬入後最初に測定した体長から搬入時の年齢を0歳と推定した（山岸ほか、1993）。一方No.17と18については、搬入した前年に捕獲して畜養して

いたことがわかっており、搬入時には1歳以上であった。

この8個体は搬入後餌付けが終了するまでは、同時に搬入した個体のみを同居させた。No.11-14については、長径約2.7m、短径約1.8mのだ円形に近い水槽に水深約50cmに水をはって飼育した。その中に水槽面積の約1/4を占め、水面上に約10cm出る台を陸場として設置した。この水槽は元々屋内に設置したが、さらに水槽を囲う簡易な小屋を作成し、その小屋内を空調で冷房した。No.15-18については展示プールに隣接した治療室で飼育した。治療室には面積2.3m²水深0.5mのプールに面積4.0m²の陸場が付属しており、飼育水の冷却と空調による冷房が可能であった。搬入当日から搬入後20日目までの飼育温度は、No.11-14が気温9.8-15.3℃、水温14.0-16.1℃、No.15, 16は気温10.5-13.4℃、水温9.0-12.3℃、No.17, 18については気温14.8-17.5℃、水温12.1-15.2℃であった。

結果と考察

表2にそれぞれの個体の餌付けの経過をまとめ、表3に各個体が初めて食べたエサの種類を示した。8個体のうちNo.13とNo.15を除く6個体が、搬入後3日目（搬入当日を搬入後1日目とする）までに自力で摂餌した。No.13と15を含めて雌雄を比べるとオスのほうが早い傾向がみられた。No.13は搬入後3日目に強制給餌を開始し、15日間を経て（実際に強制給餌を行ったのは15日のうち14日）搬入後17日目に自力でエサを食べた。No.15は搬入後6日目に強制給餌を始め、2日間行った後搬入後8日目に自力で摂餌した（表2）。

強制給餌を行わなかった6個体のうちNo.18以外の5個体が、最初はプールに投入したエサを食べた。この5個体は、摂餌開始以降スタッフの手からエサを食べるまでに7-17日を要した（表2）。No.18は最初にエサを食べた日にスタッフの手から摂餌したが、これは現地における長期間の畜養が関係していたと思われる。

強制給餌を行わなかった6個体のうちNo.17を除く5個体（No.11, 12, 14, 16, 18）が最初に食べたエサは、1尾あるいは1切れの重さが10g前後だと考えられた（表3, No.11が食べたエサは正確には測定しなかったが、27切れで261gであったことから10g弱だと思われた。No.14が食べたエサは、その切り方から明らかに10g未満だと考えられた）。No.17だけは最初から20g以上のエサを食べたが、これには現地における長い畜養が関係しているかもしれない。また8個体が最初に食べた魚種は7種で（表3）、あまり嗜好性がないと思われた。シロギス以外は一度冷凍した後解凍して与えた。

強制給餌を行った2個体のうちNo.13は、強制給餌の体勢から自力で摂餌するようになった。係員が陸場に乗るとNo.13は自ら上陸してきた。さらに係員がNo.13の口角に人差し指を軽く当てると自分で口を開き、差し出したエサを飲み込んだ。したがって最初に食べたエサは強制給餌用のマアジで、20gを越えていた。一方No.15については、強制給餌に使用したエサのほとんどが1尾2-3gのキビナゴと4gのアユであった。そして2日間の強制給餌の後、プ

ールに投入した7gのイカナゴと2gのアユを自力で食べた。

謝 辞

稿を終わるにあたりバイカルアザラシの飼育に協力していただいた鳥羽水族館飼育研究部の皆様に心から感謝いたします。

要 約

鳥羽水族館では、1990年以降3度に分けて8個体のバイカルアザラシ（オス4、メス4）をロシアから搬入した。強制給餌を行わなかった6個体が、搬入後3日目までに自力で摂餌した。強制給餌を行った2個体は、それぞれ搬入後17日目と8日目に自力でエサを食べた。8個体が最初に食べた魚種は7種で、そのうちの6個体については最初に1尾あるいは1切れ10g前後のエサを食べた。

引用文献

- (社)日本水産物貿易協会編. 2005. 商用魚介名ハンドブック (3訂版). 330pp. 成山堂書店.
山岸里美・山本清・長谷川一宏・羽山伸一. 1993. 飼育下におけるバイカルアザラシの成長について. 動水誌, 35, 1-6.

表1. 1990年以降にロシアから鳥羽水族館に搬入したバイカルアザラシ.

個体番号	性別	搬入年月日	搬入時体重 (kg)	搬入後最初に 測定した体長 (cm)	体長の 測定日	搬入時 推定年齢 (歳)
11	オス	1990/4/28	19.6	74.5	1990/5/31	0
12	オス	1990/4/28	13.5	66	1990/5/31	0
13	メス	1990/4/28	16.5	70.5	1990/5/31	0
14	メス	1990/4/28	16.4	70.3	1990/5/31	0
15	メス	2003/4/15	13	62	2003/5/16	0
16	オス	2003/4/15	20	70.5	2003/5/16	0
17	オス	2014/8/29	29.8	90	2014/8/29	1 ≤
18	メス	2014/8/29	28.7	88	2014/8/29	1 ≤

表2. 各個体の餌付けの経過.

個体	性別	搬入年月日	初めて自力で 摂餌した日*	初めてスタッフの 手から摂餌した日*	強制給餌 開始日*	強制給餌 期間(日)
11	オス	1990/4/28	1	11		
12	オス	1990/4/28	2	11		
13	メス	1990/4/28	17	17	3	15**
14	メス	1990/4/28	3	20		
15	メス	2003/4/15	8	10	6	2
16	オス	2003/4/15	3	10		
17	オス	2014/8/29	2	11		
18	メス	2014/8/29	3	3		

* : 搬入日を搬入後1日目として, 搬入後何日目かで示した.

** : 15日間の強制給餌期間のうち, 実際に強制給餌を行ったのは14日であった.

表3. 各個体が最初に自力で食べた魚種とその切り方.

個体	最初に自力で食べた魚種	切り方	1尾あるいは1切れの重さ
11	マルアジ (<i>Decapterus maruadsi</i>) シロギス (<i>Sillago japonica</i>)	切り身 (注1) 切り身 (注1)	測定せず (注2) 測定せず (注2)
12	シロギス	切り身 (注1)	5g
13	マアジ (<i>Trachurus japonicus</i>)	丸ごと	測定せず (注3)
14	マアジ	三枚におろした切り身を数mm角に切ったもの	測定せず
15	イカナゴ (<i>Ammodytes personatus</i>) アユ (<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>)	丸ごと 丸ごと	7g 2g
16	イカナゴ キビナゴ (<i>Spratelloides japonicus</i>) マアジ	丸ごと 丸ごと 三枚におろした切り身を1/3に切ったもの	8g 3g 5g
17	マアジ カラフトシシャモ (<i>Mallotus villisus</i>)	丸ごと 丸ごと	27g 25g
18	マアジ カラフトシシャモ	輪切り 輪切り	6g 測定せず (注4)

注1: 切り方が記録されていない.

注2: マルアジの切り身24切れとシロギスの切り身3切れとの合計が261gであった. したがって1切れあたり10g弱だと思われる.

注3: 前日に強制給餌を行ったマアジが1尾あたり23gであった. 強制給餌用のマアジを自力で食べ始めたので, それに近い重さだと思われる.

注4: 翌日には1切れあたり11gのカラフトシシャモを食べた.

鳥羽水族館周辺における鯨類の記録 (2016年)

若林郁夫

鳥羽水族館

Records of cetaceans in the surrounding sea of Toba Aquarium in 2016

Ikuo Wakabayashi

Toba Aquarium

ABSTRACT

We have been collecting the records of dolphins and whales in the surrounding sea of Toba Aquarium since 1955. In 2016, we have confirmed the stranding of one humpback whale and nine narrow-ridged finless porpoises.

鳥羽水族館では1955年の開館以来、周辺海域に出現する海洋生物の情報収集に努めてきた。鯨類に関しても、海岸へ漂着した個体、河口や漁港に迷入した個体、魚網に混獲された個体などのいわゆるストランディング個体、および周辺海域へ来遊した個体などの情報収集に取り組んでおり、過去の記録については若林 (1990)、古田 (1994) などに紹介してきた。

今回は、2016年に鳥羽水族館が情報を入手し、現地調査を行った周辺海域における鯨類の記録を整理した。

調査方法

2016年1~12月の期間中に鳥羽水族館に寄せられた鯨類に関する情報のうち、当館職員が現地へ出向き、種の同定・外部形態の計測・写真撮影などの調査を行った記録を整理した。なお、スナメリについては当館周辺へ頻繁に来遊しているため、来遊の記録は含めずストランディングの記録のみを扱うことにした。

結 果

2016年に鳥羽水族館が周辺海域において確認した鯨類は、ザトウクジラ *Megaptera novaeangliae* (Borowski) のストランディング1件 (1頭)、スナメリ *Neophocaena asiaeorientalis* (Pilleri & Gühr) のストランディング9件 (9頭) の合計10件 (10頭) であった (表1)。

ザトウクジラのストランディング1件は、海岸への死亡漂着であった (図1)。地元漁業者によると約1ヶ月前から本個体と思われるクジラが英虞湾内で目撃されていたとの情報がある。本個体はオスで、体長からは亜成獣と考えられた。

スナメリのストランディング9件の内訳は、海岸への死亡漂着が6件、魚網による混獲が3件であった。ストランディングが発生した季節は3月が3件、4月が1件、5月が3件、9月が1件、12月が1件であり、9件中6件が春季に集中していた。また、ストランディング個体の体長は73.3~177cmの範囲で、生後間もない新生仔サイズから成獣サイズまで様々で

あった(図2-10)。ここ数年、ストランディングするスナメリの胸鰭や尾鰭にエボシフジツボ *Xenobalanus globicipitis* Steenstrup の付着がよく見られるが、今回確認した9頭のうち新鮮な4頭には本種の付着が確認された(図11)。なお、スナメリが通常見られる海域は大王崎以北の伊勢湾内であるが、2016年4月には尾鷲市沖の熊野灘においてメス1頭が定置網によって混獲された。これまで当館が確認した伊勢湾外でのスナメリの最南下の記録は南伊勢町贅浦であったが(若林, 1990)、今回はそれよりもさらに南方の記録である。

謝 辞

調査および本稿をまとめるにあたっては、三重県水産室、伊勢市水産課、明和町役場、および漁業関係者の方々にたいへんお世話になった。この場をお借りして、お礼申し上げます。

引用文献

- 古田正美. 1994. 三重県の海産哺乳類. 289-292. 三重生物教育会
若林郁夫. 1990. 三重県周辺で確認された海産哺乳類, 三重動物学会, 13: 42-52.

表1

種	年月日	場 所	頭数	体長 (cm)	性別	状 況	備 考	図
ザトウクジラ	2016.04.09	志摩市浜島町宝路浦	1	795	オス	海岸へ死亡漂着		1
スナメリ	2016.03.10	伊勢市村松町の海岸	1	177	オス	海岸へ死亡漂着	ややミイラ化が進む。	2
スナメリ	2016.03.11	志摩市阿児町安乗沖	1	130.5	メス	定置網による混獲	胸鰭, 尾鰭にエボシフジツボが付着する。	3
スナメリ	2016.03.30	鳥羽市安楽島町沖	1	167.2	メス	刺し網による混獲	胸鰭にエボシフジツボが付着する。	4
スナメリ	2016.04.26	尾鷲市沖	1	160	メス	定置網による混獲	入網時は生存。腹内にやや腐敗した胎児(82.1cm)1頭を確認。胸鰭, 尾鰭にエボシフジツボが付着する。	5
スナメリ	2016.05.20	明和町大淀海岸	1	117	メス	海岸へ死亡漂着		6
スナメリ	2016.05.23	明和町大淀海岸	1	76.1	オス	海岸へ死亡漂着	臍の緒あり。	7
スナメリ	2016.05.24	明和町大淀海岸	1	77.3	メス	海岸へ死亡漂着		8
スナメリ	2016.09.21	伊勢市二見町神前海岸	1	約151	オス	海岸へ死亡漂着	腐敗激しい。	9
スナメリ	2016.12.01	鳥羽市浦村町白浜海水浴場	1	140	メス	海岸へ死亡漂着	尾鰭にエボシフジツボが付着する。	10, 11



図1



図5



図2



図6



図3



図7



図4



図8



図9



図10



図11

熊野灘で漁獲されたネズミザメ

高村直人

鳥羽水族館

A record of the Salmon shark, *Lamna ditropis* from Kumano Sea

Naoto Takamura

Toba Aquarium

ABSTRACT

Salmon shark *Lamna ditropis* was recorded in Kumano sea, Mie Prefecture. There has been no report about any sighting or capturing of salmon shark in Kumano sea. The total length 248.0 cm, the shark was pregnant with 4 pups. The total length of all pups were approximately 110 cm. This capture was thought to be a renewed southernmost record of Japan.

ネズミザメ *Lamna ditropis* はネズミザメ目ネズミザメ科に属するサメで、日本では北海道沿岸、青森県から九州北岸の日本海沿岸、および青森県から相模湾の太平洋沿岸に生息する (吉野ほか, 2013)。北海道、東北地方ではモウカザメ、カドザメとも呼ばれ、練製品などの原料になっている。

2016年3月22日三重県南伊勢町見江島沖で巻き網により、全長248.0cm、メスのネズミザメが漁獲された。本個体から4個体のメス胎児が確認され、その全長は110.0cm、体重は8.0kgであった。

これまで熊野灘における本種の目撃例や漁獲例はなく、今回の個体が太平洋側での南限記録と思われる。

謝 辞

中村和人氏には、水揚げされたネズミザメの情報をいち早くご連絡いただいた。三重大学大学院生物資源学科研究科水産実験所の木村清志氏には、三重県におけるネズミザメについての記録や情報を教え

ていただき、本稿をまとめるにあたり多くの助言もいただいた。ここに深謝の意を表します。

引用文献

吉野哲夫・青沼佳方・柳下直巳・山口敦子. 2013. ネズミザメ科. 中坊徹次 (編), 160. 日本産魚類検索全種の同定, 第三版, 東海大学出版会, 秦野.



図1 南伊勢町で漁獲されたメスのネズミザメ



図2 確認された4個体のメス胎児

11. 研究発表一覧

開催年月日	参加会議・研究会	開催園館	参加者 (○は発表者)	発表演題
2015年				
1月29日～30日	第59回水族館技術者研究会	海遊館	若井 嘉人 森滝 丈也	
6月3日～4日	第19回西日本両生類爬虫類会議	安佐動物公園	○田中 侑弥 三谷 伸也	新施設におけるカメレオン類の飼育について
6月22日～23日	第81回近畿ブロック水族館飼育係研修会	志摩マリンランド	○高村 直人 ○中西 孝宗 ○大北 涼介	鳥羽水族館に持ち込まれた変異個体について 新ゾーンにおけるリクガメ類のふれあいと飼育について ハシキンメの初期発生について
10月7日～8日	第41回海獣技術者研究会	小樽水族館	○笠松 雅彦 ○磯原 玖美	スナメリの卵巣嚢腫の治療例 ミナミアフリカオットセイにおける妊娠モニタリング
11月18日～19日	第27回 全国動物園水族館両生類爬虫類会議	わんぱくこうち アニマルランド	○三谷 伸也 ○宮本 真美	鳥羽水族館における温室リニューアルについて コープネコゴエガエル <i>Physalaemus biligonigerus</i> の繁殖について
2016年				
1月28日～29日	第60回水族館技術者研究会	名古屋港水族館	○辻 晴仁 田中 侑弥	水槽内におけるアカウミサボテン属の一種の伸縮リズム
2月25日	第2回コツメカワウソ計画推進会議	海遊館	○長谷川一宏 村上 龍	糖尿病が疑われたコツメカワウソに対するインスリンラゲンの投与例
6月15日～17日	第20回西日本両生類爬虫類会議	沖縄こどもの国	○三谷 伸也	台湾のカエルについて
7月6日	第12回スナメリ研究会	名古屋港水族館	○若林 郁夫 若井 嘉人	鳥羽水族館におけるスナメリの人工哺育2例
7月7日～8日	第82回近畿ブロック水族館飼育係研修会	京都水族館	○高村 直人 ○竹居 桃香	鳥羽水族館における希少海産魚種の記録とその飼育について 新施設「奇跡の森」におけるスナドリネコの飼育について
10月12～13日	第42回海獣技術者研究会	越前松島水族館	若林 郁夫 村上 龍	宿題調査報告—飼育下スナメリ個体群の維持に向けて
12月19日～20日	第28回 全国動物園水族館両生類爬虫類会議	野毛山動物園	○伊藤 実穂 三谷 伸也	痛風が疑われたケヅメリクガメの治療例について

新施設におけるカメレオン類の 飼育について

田中侑弥
鳥羽水族館

「鳥羽水族館開館60周年」に合わせ、2015年3月21日、既存の「森の水辺」ゾーンを「奇跡の森」としてリニューアルオープンした。このゾーンでは約60種、700以上に及ぶ生物を展示している。

かつての「森の水辺」ゾーンでは主に、水生の両生類、爬虫類を展示していたが、「奇跡の森」ではカメレオンやゾウガメなどの陸生爬虫類、スナドリネコ、ユーラシアワシミミズクなどといった当館初展示のものも多い。本発表ではその中の一つであるカメレオン類の飼育について着目した。

カメレオン展示水槽は幅1500×奥行1000×高さ1900mmで、前面はガラス張り、両側面と天井は格子状になっている。飲み水として滴下させている水は水生ガメの飼育水を使用しており、水温は常に28℃前後に保たれている。また、ホットスポットは二カ所に設置し、UVBを発する蛍光灯を7時～18時頃まで点灯している。餌は主にフタホシコロギやヨーロッパイエコロギ、デュビアを与えた。

業者より購入したのはメラーカメレオンとパンサーカメレオン（各雄雌計4頭）で、メラーカメレオンは展示へ、パンサーカメレオンはキーパーヤードで飼育していた。しかし、飼育を開始してから約一カ月以内に、全頭死亡した。その後、エボシカメレオン（♂）二頭、パンサーカメレオン（♀）一頭を飼育し、現在に至っている。

本発表では、生体が死亡するまでの経緯や展示環境の見直し、及び改善を行った結果を述べる。

【第19回西日本両生類爬虫類会議（2015年）（公社日本動物園水族館協会後援）口頭発表要旨】

鳥羽水族館に持ち込まれた 変異個体について

高村直人
鳥羽水族館

水族館に持ち込まれる色彩や形態が通常とは異なる変異個体は、その色や姿形の奇妙さや珍しさからマスコミや入館者の関心をひきやすい。

ただ、こういった生物の希少性の程度は判断が難しいことや、生物種の正確な情報や過去の事例資料をまとめたものはないことなどから、各園館でトピック的に紹介されているのが現状である。

本報告では当館の過去の資料から該当する事例をまとめ、その結果を報告する。

2014年1月から2015年5月までに、鳥羽水族館に持ち込まれた変異個体（主に色彩変異）は、14件8種になった。生物種は、イシガレイ、イセエビ、マナマコ、アマガエル、トノサマガエルなどの色彩変異個体があった。

また、過去25年間（1990年～2015年5月）で、本報告に該当する生物をまとめてみると、海水生物が大半を占め、無脊椎動物、魚類、両生類の順になった。生物種でみると、マナマコが一番多かった。変異は①色彩変異（白色個体・黄色個体が主）、②形態変異に分けられた。生物は、漁業者や養殖業者からの持ち込みが大半を占めた。

今後はさらに開館当時まで記録をさかのぼり、資料をまとめていきたい。

【第81回公社日本動物園水族館協会近畿ブロック水族館飼育係研修会（2015）口頭発表要旨】

新ゾーンにおけるリクガメ類の ふれあいについて

中西孝宗・伊藤実穂
鳥羽水族館

鳥羽水族館では、平成27年3月21日に新ゾーン「奇跡の森」がオープンした。ゾーン内ではケヅメリクガメ1頭、アルダブラゾウガメ2頭、アカアシガメ4頭、インドホシガメ10頭、ヒョウモンリクガメ3頭の5種20頭を飼育している。

リクガメ類の展示場は約3.0m×3.9mの扇型をしており、床材には軽石を約10cmの深さで敷いて防虫ネットをかけ、その上に約20cmの深さで赤玉土を敷いている。照明は1000Wのメタルハイドランプ3灯と100Wのホットスポット2灯を8時～18時まで点灯させている。

新ゾーンでは毎日11:45～12:00に動物とのふれあい体験を実施している。使用する動物はボールパイソン、フトアゴヒゲトカゲ、ハリスホーク、ユーラシアワシミミズク、リクガメ類である。リクガメ類は担当者が一人に対応し、お客様にふれあいと給餌を体験してもらっている。体験の内容としてはカメの食べやすい大きさに切った小松菜、リンゴ、ニンジン等をお客様にトングを使って与えてもらい、その後、カメの甲羅に直接接触してもらっている。当初は個体ごとに餌の好き嫌いがあがり、日によって反応にムラがあったが、現在では飼育環境に慣れたこともあり、どの餌でも活発に寄ってくるようになった。

本発表では新ゾーンの紹介と共に、リクガメ類を使用したふれあい体験の問題点などを検証したい。

【第81回公社日本動物園水族館協会近畿ブロック水族館飼育係研修会 (2015) 口頭発表要旨】

ハシキンメの初期発生について

大北涼介・辻 晴仁
鳥羽水族館

鳥羽水族館では、ハシキンメ *Gephyroberyx darwinii* を含む数種の魚類を展示している水槽で2014年より魚種不明の放卵された卵を確認した。卵は2014年2月14日、2月16日、2015年1月6日、1月19日、2月14日の計5回確認できたが、それらにおいていずれも腹部が肥大したハシキンメを水槽内で飼育していた為、これを親個体と推測し、ふ化および仔魚の育成を観察と写真撮影にて記録した。

放卵された水槽はW3.29×H1.43×D1.55m、水量7.27t、水温13.5℃、水槽内のハシキンメの個体数は9個体で、産卵行動は確認できなかった。

5回目に放卵された卵を水温18～20℃のクライゼル水槽W68×H68×D18.5cmに收容し、観察を開始した。卵径は約1.45mm (n=10) で無色透明の分離浮性卵であった。收容後1日目に卵の沈性が始まったため、水流により卵の浮遊を促した。3日目にふ化を確認した。

仔魚の卵黄はふ化後4日目でほとんど吸収され、5日目に開口を確認した。初期餌料としてキートセロス・グラシリス (ヤンマー (株)) で栄養強化したS型ワムシを使用し、20日目に口の大きさに合わせて同様の栄養強化を行ったブラインシュリンプに変更した。しかし、仔魚は35日目にすべて斃死した。

魚体を【沖山宗雄編 (2014)「日本産稚魚図鑑 第二版」東海大学出版会】と照らし合わせた結果、ハシキンメの屈曲期仔魚の形態と酷似していることから、ハシキンメと同定した。

【第81回公社日本動物園水族館協会近畿ブロック水族館飼育係研修会 (2015) 口頭発表要旨】

スナメリの卵巣嚢腫の治療例

笠松雅彦・長谷川一宏
鳥羽水族館

繁殖障害は、繁殖が一時的または永続的に停止あるいは障害されている状態である。本研究では、繁殖障害を伴い卵巣嚢腫を疑ったスナメリの治療例について報告する。

対象個体は、スナメリ *Neophocaena asiaorientalis*, 3頭 (A, 29歳; B, 推定15歳; C, 推定17歳) であり, AおよびBは症例, Cは対照個体とした。各個体の空胎期間は, Aが11年, Bが5年であり, Cは前年に出産していた。各個体について, 2週間から1ヶ月間隔で内分泌学的検査(血清プロゲステロン(P)濃度およびエストラジオール(E2)濃度)ならびに超音波診断(SonoSite社製, M-Turbo)を行った。卵巣嚢腫の治療は, メドロキシプロゲステロン酢酸エステル(3.75mg/頭/日)を用いた。

スナメリAにおける血清E2濃度は持続的な軽度上昇(8.0±5.0pg/ml)を認め, 周期性のない血清P濃度の軽度上昇を4月および5月に認めた。スナメリBについては, 血清E2濃度の持続的な軽度上昇(4.5±4.2pg/ml)を認めたが, 血清P濃度の上昇は認めなかった。超音波診断により, スナメリAの両側およびBの左側卵巣に直径8~10mmの嚢腫を認めた。卵巣嚢腫の治療は, メドロキシプロゲステロン酢酸エステルを1ヶ月間投薬したが, 投薬中の血清P濃度の上昇は認められなかった。休薬後AおよびBは妊娠し, Aは2014年6月2日にBは2014年8月6日に正常分娩した。

本研究において繁殖障害が生じていたスナメリは卵巣嚢腫を有していたと推察され, その治療におけるメドロキシプロゲステロン酢酸エステルの有効性が示唆された。

【第41回公社日本動物園水族館協会海獣技術者研究会(2015年)発表要旨。動水誌, 57, 99-100. から転載】

ミナミアフリカオットセイにおける 妊娠期モニタリング

磯原玖美・笠松雅彦・北浦惇貴・小川真美・
肥田章利・長谷川一宏
鳥羽水族館

妊娠期間中の血液学的, 超音波診断学的手法を用いた母獣および胎子の状態把握は最も標準的な評価方法である。本研究では, オットセイの血液学および超音波診断学的検査を用いた母獣および胎子の妊娠期モニタリングを実施した。

対象個体は, 推定8歳のミナミアフリカオットセイ *Arctocephalus pusillus* (2007年入館, 野生個体)を用いた。2014年6月8日に雌雄を同居し, その2日後交尾を確認しすぐに2頭を分離した後, 受診動作訓練を開始した。受診動作下で採血ならびに超音波診断装置(SonoSite社製, M-Turbo)を用いて胎子の成長を記録した。超音波診断における音響結合剤は, イソプロピルアルコールとエコーゼリーを併用した。

受診動作可能となるまでの期間は, 採血が61日間, 超音波診断が85日間を要した。血液検査により, 血中プロゲステロン濃度は交尾後182日から321日(分娩24日前)まで平均17.0ng/mlで推移した。交尾206日後の胎子の頭大横径は4.4cmであり, その後0.85cm/月で成長した。交尾後336日(分娩10日前)および339日(分娩7日前)の血中プロゲステロン濃度は低値を示した(0.5ng/ml)。新生子は体重4.0kgの雌であり, 超音波診断で測定した分娩前日の胸部直径(12.0cm)より算出した胎子の胸部周囲長と新生子の胸部周囲長(37.5cm)は近似した。

以上の結果より, オットセイの超音波診断における音響結合剤としてイソプロピルアルコールは有用であり, 血中プロゲステロン濃度の推移と, 超音波診断による頭大横径および胸部直径のデータを集積し, 成長曲線を得ることによって, 出産日を推定することができる可能性が示唆された。

【第41回公社日本動物園水族館協会海獣技術者研究会(2015年)口頭発表要旨。動水誌, 57, 106. から転載】

鳥羽水族館における 温室リニューアルについて

三谷伸也
鳥羽水族館

鳥羽水族館では1970年より水生カメ類などを展示していたが、1986年に「テラリウム」、1988年には「カエルの仲間のコーナー」を併設し、両生類・爬虫類の展示の充実を図ってきた。1990年には新鳥羽水族館が完成し、その最上階にガラス張りの温室「森の水辺ゾーン」を造り、それらの仲間を引き続き展示してきた。

2015年は鳥羽水族館開館60周年に当たり、それを記念して森の水辺ゾーンのリニューアルを行った。2014年9月より工事を開始し、翌年3月に新名称「奇跡の森」としてリニューアルオープンした。奇跡の森には従来の両生類や水生の爬虫類に加えて、ケヅメリクガメやフトアゴヒゲトカゲ、カメレオンといった陸生の爬虫類、さらにスナドリネコ、ユーラシアワシミミズクなどの哺乳類や鳥類も展示している。また、それらの生物を使ったふれ合いタイム(11:45~12:00)を設け、ゾウガメの餌やり体験などを行っている。

本発表では施設、展示生物の紹介とともに、リニューアルによって改善された点や問題点などを述べる。

【第27回全国動物園水族館両生類爬虫類会議(2015年)(公社日本動物園水族館協会後援)口頭発表要旨】

コープネコゴエガエル *Physalaemus biligonigerus* の繁殖について

宮本真美・三谷伸也
鳥羽水族館

コープネコゴエガエル *Physalaemus biligonigerus* はアルゼンチン、ブラジル、ウルグアイ、パラグアイに分布する体長3cmほどのユビナガガエル科のカエルである。

鳥羽水族館では、2014年3月にパラグアイより本種を24個体輸入し、バックヤードにて飼育を開始した。飼育にはヤシガラマットを敷いたプラスチックケースを用い、時々散水することで乾期の状態を保った。2015年3月17日新ゾーンのプレスリリースに合わせ10個体を展示水槽へ移した。展示水槽は幅70cm、奥行き60cm、高さ90cmで水深3cmほどの水場と陸場にわかれている。ここでは1日2回8:30-8:32 17:30-17:32に降雨装置にて雨期を再現したところ、3月19日に泡巣を発見した。

3月20日に泡巣内でふ化を確認し、21日に展示水槽から泡巣ごとバックヤードのプラスチックケース(43×34×23cm)に移した。水深は約14cmとし、底にパネルヒーターを入れ、水温は約26~30℃を保った。ふ化時のオタマジャクシは3.3mm(n=2)であった。ふ化個体数が多かったため同サイズのプラスチックケースに加えて89×44×32cmのガラス水槽に分けて飼育を開始した。このガラス水槽の水深は約5cmとした。オタマジャクシにはセラミックロンパウダーフードを与えた。4月11日には2820尾のオタマジャクシが生存し、後肢をもつ個体散見された。4月14日には1個体目が上陸した。その後、順次上陸が見られ、7月31日に全てが幼蛙となった。その総数は1745個体であった。

上陸した幼蛙は順次43×34×23cmのプラスチックケースに収容したが6月14日には6ケースとなり現在に至っている。ケース内はヤシガラマットを床材とし、流木、水入れ等を設置した。幼蛙には成長に合わせてカルシウムを塗布した1~3令のフタホシコオロギとヨーロッパイエコオロギを2~3日に1回与えており、現在約300個体が生存中である。

【第27回全国動物園水族館両生類爬虫類会議(2015年)(公社日本動物園水族館協会後援)口頭発表要旨】

水槽内におけるアカウミサボテン属の 一種の伸縮リズム

辻 晴仁
鳥羽水族館

2015年3月29日鳥羽沖水深80mより、エビ刺し網にてアカウミサボテン属の一種 *Veretillum* sp.が1個体採取された。鳥羽水族館では2013年より昼夜逆転照明を用いてウミサボテン *Cavernularia obesa* を展示しており、今回はこの水槽を用いて本種を飼育した場合、どのような伸縮のリズムを取るのか調べた。飼育水槽は、長さ120cm、幅60cm、高さ80cmのガラス製である。底床として、粒径約1.0mmのサンゴ砂を深さ約15cmに敷いた。側面には遮光シートを貼り、上部は黒色の塩化ビニール製の板で覆った。また、水槽上部から7.1wのLED白色電球を18:00~7:00で照射した。なお、水槽内照度は点灯中350lx、消灯中50lxであった。以上の条件下で本種の観察を行うため、伸縮リズムの観察法は、対象個体を水槽に投入して1、3、6ヶ月後のそれぞれ連続4日間を、デジタルカメラで1時間おきに収録した。時間毎における冠部の出現率を求めると、1ヶ月目で照射中55.8%、消灯中73.9%となった。3ヶ月目では照射中25.0%、消灯中100.0%、さらに6ヶ月目では照射中36.5%、消灯中56.8%であった。伸張を開始する時間は、1ヶ月目では照明点灯開始から平均10.0時間後、3ヶ月目では11.3時間後、6ヶ月目では10.0時間後であった。伸張状態の持続時間は、1ヶ月目では平均28.0時間、3ヶ月目では14.0時間、6ヶ月目では12.3時間であった。これらの結果より、本種は暗条件下で伸張する傾向があり、暗条件に適応するのに3ヶ月を要する可能性が示唆された。今後は明期と暗期の細かい設定条件下で追加観察を行い、本種における概日性の有無を確かめたい。

【第60回公社日本動物園水族館協会水族館技術者研究会(2016)発表要旨。動水誌Vol.58, No. 1, 2掲載予定】

糖尿病が疑われたコツメカワウソに 対するインスリングルルギンの投与例

長谷川一宏・川口直樹・北 美香・
村上 龍・遠藤志穂・笠松雅彦
鳥羽水族館

2003年生まれのメスのコツメカワウソ *Aonyx cinerea* (国内血統番号: 295, 愛称: ウメ) が、2014年12月25日に血糖値361mg/dlを示し2015年1月19日には体重が3.9kgに減り(2014年11月30日には4.7kg)、糖尿病を疑った。受診動作下でインスリングルルギンを皮下投与し、ポータブル型機器ニプロTRUE pico®で血糖を測定できるようにトレーニングを行った。週に1回体重を測り、2回以上空腹時血糖を測定してインスリンの効果を検討した。さらに血液を採取するにあたって穿刺部位に対する軟膏の塗布が、測定成功率を高めるかどうか試した。

ウメは元々吻タッチと握手ができたが、トレーニング開始27日後の2015年1月22日に自発的にケージに入り、格子のすきまから出した本個体の前肢にインスリングルルギンを皮下投与できた。用量を変えて投与後4-7時間の血糖値を比較し、最終的な投与量を1日1回1.36Uに決定した。

2月20日から上記の量を投与し、体重は10月11日には4.9kgに増加したが、投与開始後2015年中の空腹時血糖値は116-195mg/dl(平均149mg/dl, n=96)であった。また5月27日に測定した尿糖は260mg/dlと著しく高かった。今後血糖のコントロールが不十分と判断した場合には、投与量あるいは回数の変更が必要だと思われた。なお穿刺部位の指に軟膏を塗布しない場合の血糖測定の成功率が65%であったのに対し、塗布時には99%で明瞭な差が認められた。

【第2回公社日本動物園水族館協会コツメカワウソ計画推進会議(2016)口頭発表要旨】

台湾のカエルについて

三谷伸也
鳥羽水族館

鳥羽水族館では2007年6月9日～12日にかけて台湾中部の南投縣埔里鎮桃米里で両生類の生息調査を行った。目的は子犬のような鳴き声のイヌガエル *Hylarana guentheri* の入手の可能性を探るというもので、同行者は台中市の獣医師である鄭尊義氏であった。桃米里は埔里鎮の南西約5kmに位置し、面積17km²、標高400m以上の丘陵地で周囲を高い山に囲まれている。台湾では外来種を含め32種類のカエルが知られているが、ここでは23種を記録している。調査期間中、15種を観察することができた。

2007年当時はイヌガエルが保護種ということもあり、当館への導入は難しかった。しかし、その後、本種が保護種から外れた。また、2013年に遠雄海洋公園（花蓮）と鳥羽水族館が姉妹間提携を結んだのを機に本種の入手を再度試みた。その結果、友好の証として9個体を得ることができた。これらの調査採集は2013年7月29日～8月1日に新北市にて行った。この時期はカエル類の繁殖期から外れており、観察したカエルは4種のみであった。なお、同行者は前述の鄭尊義氏、新北市の獣医師の蔡長壽氏であった。

本発表ではこれら2回の台湾調査の様子とカエルの他に観察された爬虫類についても紹介したい。

【第20回西日本両生類爬虫類会議（2016年）口頭発表要旨】

鳥羽水族館におけるスナメリの人工哺育2例

若林郁夫・笠松雅彦・半田由佳理・
世古篤史・長谷川一宏・若井嘉人
鳥羽水族館

鳥羽水族館では2004年に伊勢湾で特別採捕したメスのスナメリ（国内血統登録番号71）の第4仔および第5仔に対して人工哺育を実施し、いずれも完全離乳するに至った。2頭の人工哺育の経過について、その概要を報告する。

<人工哺育に至った経緯>

2013年5月2日に出生した第4仔は順調に授乳していたが4日齢時に突然母獣が育仔拒否したため、4日間の予備的な人工授乳の後、8日齢時から完全な人工哺育を開始した。一方、2014年7月3日に出生した第5仔も順調に授乳が始まったが、4日齢から授乳がなくなったため、3日間の予備的な人工授乳の後、7日齢時から完全な人工哺育を開始した。

<人工哺育の経過>

2頭の人工哺育は展示プールに隣接した予備プール（直径5m、水深1m、水量22t）で実施した。過去の母子観察から授乳は頻繁に行うことが望ましいと考え、24時間態勢、90分間隔のペースで、カテーテルにより人工乳を胃内にシリンジで注入する方法で実施した。人工乳には犬用エスビラックおよび魚肉ペーストを使用し、生クリームやサーモンオイルを添加し成分調整した。また人工乳の増量は1日に2回実施する体重測定により判断した。人工哺育期間中はできるだけ頻繁に採血を実施して血液性状の動向を注視し、対処した。2頭に共通した症状として低蛋白血症が認められ、これについてはアミノ酸補給薬を直接人工乳に添加することにより改善することができた。これまでの飼育経験から魚の摂餌は約3ヵ月齢で可能と考えられたため、第4仔に対しては88日齢、第5仔に対しては83日齢から小魚の強制給餌を開始し、魚の増量とともに人工乳の量を減少させた。第4仔については135日齢で、第5仔については131日齢で人工乳を終了し、完全離乳に至った。

人工哺育された2頭はその後当館にて生育中で、母獣に育てられた個体とほぼ同様の成長を続けており、人工哺育による成長障害等は認められていない。今後は自然界の迷子個体などに、今回の人工哺育の技術を応用し、野生個体の保護にも取り組みたいと考えている。

【第12回スナメリ研究会（2016年）口頭発表要旨】

鳥羽水族館における希少海産魚種の 記録とその飼育について

高村直人
鳥羽水族館

三重県は、内湾性の伊勢湾や太平洋に面する熊野灘がある南北に長い海岸線をもち、環境は変化に富んでいて、多くの魚種を確認することができる。

本報告では、2015年1月1日から現在までにおいて、鳥羽水族館に持ち込まれた海産魚種のうち、三重県海域で出現がまれなものについて注目してその記録をまとめてみた。

この期間で確認された魚種は、ミズウオ *Alepisaurus ferox*, ネズミザメ *Lamna ditropis*, ノコギリザメ *Pristiophorus japonicus*, フリソデウオ *Desmodema polystictum*, ワニグチツノザメ *Trigonognathus kabeyai*の5種であった。

ミズウオは、表層を漂っているところを捕獲されているが、他の4種は底曳き網での混獲であった。

生きた状態で水族館に搬入されたノコギリザメ、フリソデウオは、設定水温11.0℃の水槽に収容したが、それぞれ10日、2日で死亡した。それらの飼育結果により、生きた状態で搬入された場合についての問題点や今後の課題について検討する。

【第82回公社日本動物園水族館協会近畿ブロック水族館飼育係研修会 (2016年) 口頭発表要旨】

新施設「奇跡の森」における スナドリネコの飼育について

竹居桃香・田中侑弥・三谷伸也
鳥羽水族館

鳥羽水族館では2015年の温室リニューアルに合わせて、2014年10月よりスナドリネコ2頭(♂1, ♀1)の飼育を開始した。スナドリネコは東南アジアなどの沼地やマングローブ林に生息し、魚や甲殻類を主食としている小型のヤマネコである。なお、本種は動物愛護法の危険動物に当たるため、あらかじめ飼養許可を得ている。

2014年10月15日から温室のリニューアルが完了する2015年3月15日までは、予備室内にある幅2m×奥行4m×高さ2mの鉄製のケージで飼育した。予備室の気温は17.0℃~29.0℃であった。ケージ内には高さ1.2mの台の上にバリケンネルを2個置き、寝室とした。また、水飲み場、トイレとして縦0.4m×横0.5m×高さ0.2mのコンテナボックスを2つずつ設置した。餌は鶏肉を週4回、ウズラ肉を週1回与え、絶食日を週2回設けた。

2015年3月16日からは新展示施設での飼育を始めた。展示施設は幅5.4m×奥行2m×高さ2.3mで前面が強化ガラスとなっている。天井部はステンレス製のネットを用いた。また、展示施設に水深15cmほどの水路を設け、魚を捕獲する光景を観覧者に見せている。バックヤードには幅0.8m×奥行0.8m×高さ3mの寝室を2つ設けており、展示場とはステンレス製の扉で仕切られている。餌は予備施設で飼育していた時と同様であるが、鶏肉とウズラ肉にはネコ科用ペレットを加えている。またトイレも同様に設置した。バックヤードには二重扉を用い、万が一脱出してしまった際に使用する捕獲網も完備している。

本発表では、飼育を開始してから現在までの経過と問題点、今後の課題について述べる。

【第82回公社日本動物園水族館協会近畿ブロック水族館飼育係研修会 (2016年) 口頭発表要旨】

痛風が疑われたケヅメリクガメの 治療例について

伊藤実穂・中西孝宗・三谷伸也
鳥羽水族館

ケヅメリクガメは、アフリカ大陸中央部に生息する大型のリクガメである。

当館では2015年3月21日の新ゾーン「奇跡の森」のオープンに伴い、2015年2月3日にわんぱーくこうちアニマルランドより成体のケヅメリクガメを譲渡して頂いた。現在はこのケヅメリクガメを含めた9頭のリクガメを展示している。展示場は約3.0m×3.9mの扇型をしており、床材には赤玉土を用いている。照明は1000Wのメタルハライドランプ3灯と100Wの保温球2灯を8時～18時まで点灯させている。気温は最高値が28～37℃、最低値が18～25℃で推移していた。餌は牧草をメインに、小松菜、リンゴ、ニンジン、カボチャなどを一日約1kg与えている。

2015年11月中旬に右後肢が腫れる異常がみられ、歩行に支障をきたしていた。発情期のマウンティングによる骨折を疑い、レントゲン検査を行ったが、骨に異常は認められなかった。しかし関節周囲に細菌感染や痛風が疑われる白い影を確認したため、投薬による治療を12月12日より開始した。最初の7日間は、細菌感染の疑いからオフロキサシン錠100mgを一日4錠与えた。しかし、回復が見られなかったのでアロプリノール錠100mgに切り替え、2016年1月8日から5月18日まで投与した。最初の2ヶ月間は一日14錠を与え、症状に改善が見られた。そのためその後の投薬は、獣医師の指示により2日に一度に減らした。治療中は、投薬のほかに脱水症状の改善と尿酸の排出を促すため、小松菜やチンゲン菜など水分を多く含む葉物を積極的に与えた。現在は通常通りの歩行が可能になり、回復したと思われる。

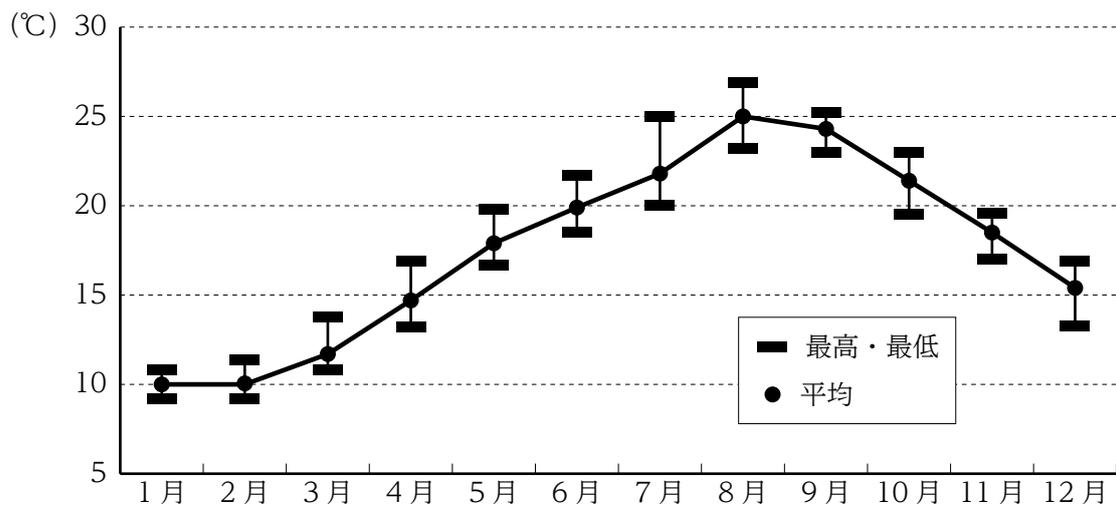
【第28回全国動物園水族館両生類爬虫類会議(2016年)(公社日本動物園水族館協会後援)口頭発表要旨】

13. 取水海水温

【2015年】

(°C)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高	10.8	11.4	13.8	16.9	19.8	21.7	25	26.9	25.2	23	19.6	16.9
最低	9.2	9.2	10.8	13.2	16.7	18.5	20	23.2	23	19.5	17	13.3
平均	10	10	11.7	14.7	17.9	19.9	21.8	25	24.3	21.4	18.5	15.4



【2016年】

(°C)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高	13.5	11	13.2	17.2	20.4	22.8	24.7	27.1	26.4	24.8	20.5	17.1
最低	10.1	9.9	10.2	13.3	16.8	19.8	20.3	23.5	21.1	20.6	16.7	13
平均	12.1	10.4	12.1	15.4	18.5	21.1	22.3	25.3	25.2	22.7	18.4	14.7

